

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨
及び平成29年台風第3号に係る
関係省庁災害対策会議（第8回）

議 事 次 第

日時：平成29年7月19日（水）17：45～
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 松本内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. これまでの気象状況と、今後の気象の見通し
3. 被害状況及び各省庁の対応状況
4. その他

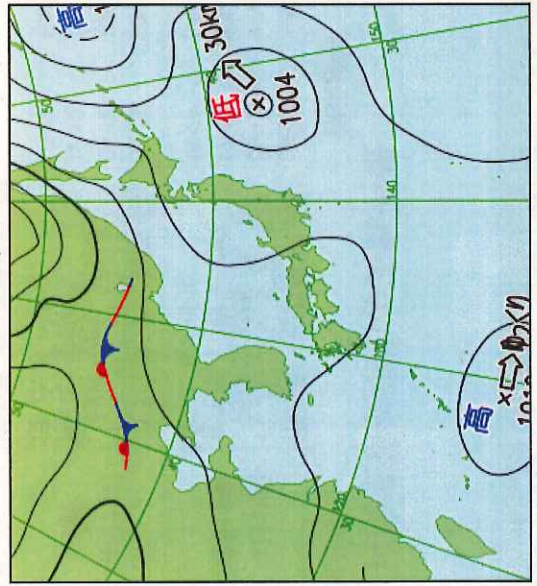
平成29年7月19日16時現在

【天気の概況と見通し】

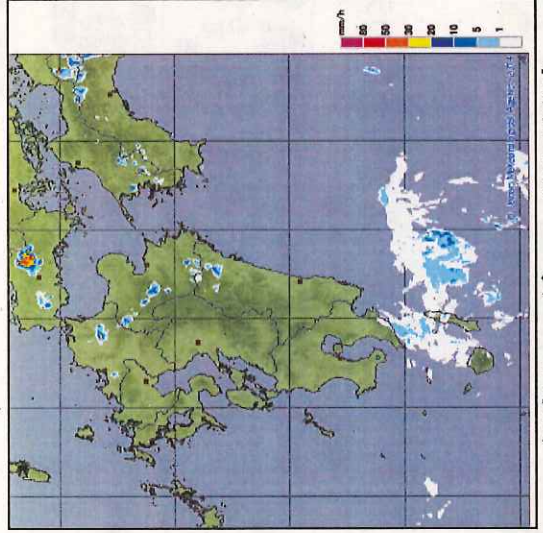
- 九州北部地方は、晴れている所もあるが、湿った空の影響により、概ね曇りで雨の降っている所がある。
- 今日19日夜は晴れるが、局地的に雷を伴い激しく降る所がある見込み。明日20日は、高気圧に覆われ概ね晴れるが、日射や湿った空の影響により昼過ぎから局地的に雨や雷雨の所がある見込み。明日20日18時までの24時間雨量(多い所)は、福岡県筑後地方40ミリ、大分県西部50ミリの見込み。
- 向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いが、期間の終わりは気圧の谷や湿った空の影響で雲が広がりやすい見込み。
- 竜巻などの激しい突風や急な強い雨、落雷に注意。すでに災害が発生している地域では、少しの雨でも危険な状況となるおそれがあることに留意。
- 九州北部地方では、気温の高い日が続いている。明日20日も高温が予想されるため、熱中症など健康管理に注意。

【気象庁の対応】

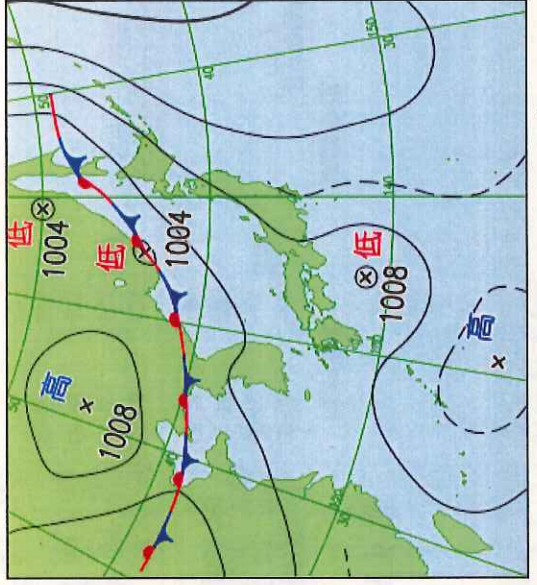
- 平成29年7月5日から6日に九州北部地方で発生した豪雨について、「平成29年7月九州北部豪雨」と命名した。
- 救助・復旧活動を支援するため、福岡県朝倉市に4名、大分県日田市に2名の気象台職員を駐在させ、詳細な気象解説を実施している。また、朝倉市駐在職員は、毎日、東峰村に向いて気象解説を実施している。
- 九州北部地方の大雨に関するポータルサイトを気象庁ホームページに開設。応急対応や被災者生活を支援するため、市町村単位で天気の変化などを掲載した気象支援資料を、毎日5時、11時、17時に掲載している。



実況天気図 19日12時



気象レーダー 19日16時



予想天気図 21日09時

福岡県・大分県の天気の見込み (19日11時発表)

福岡県筑後地方の天気予報

筑後地方		降水確率	気温予報
今日19日	南の風、くもり時々晴れ、所により夕方から夜のほじめ頃雨で雷を伴い、激しく降る波 0.5メートル	00-06 1% 06-12 1% 12-18 20% 18-24 10%	日中の最高 33度 久留米
明日20日	南東の風、後、南西の風、晴れ、夕方から夜のほじめ頃雨で雷を伴う波 0.5メートル	00-06 10% 06-12 10% 12-18 20% 18-24 10%	朝の最低 26度 日中の最高 35度 久留米
明後日21日	南の風、後、南西の風、晴れ時々くもり波 0.5メートル		

大分県西部の天気予報

西部		降水確率	気温予報
今日19日	西の風、後、北の風、くもり時々晴れ、所により夕方から夜のほじめ頃雨で雷を伴い、激しく降る	00-06 1% 06-12 1% 12-18 20% 18-24 10%	日中の最高 32度 日田
明日20日	北東の風、後、北の風、晴れ時々くもり、所により急過ぎから夕方雨で雷を伴い、激しく降る	00-06 10% 06-12 10% 12-18 40% 18-24 20%	朝の最低 24度 日中の最高 34度 日田
明後日21日	北の風、晴れ時々くもり		

福岡県の週間天気予報

7月19日11時 福岡県の週間天気予報

日付	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水
福岡県	晴	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴
降水確率(%)	10/10/20/10	20	10	10	20	30	30
信頼度	/	/	B	A	B	C	B
最高(°C)	34 (34~37)	35 (34~37)	35 (33~36)	35 (33~37)	35 (33~37)	34 (32~36)	35 (32~36)
最低(°C)	27 (25~28)	27 (25~28)	27 (26~29)	28 (26~29)	28 (26~29)	27 (25~29)	27 (25~30)
平年値	降水量の合計		最高最低気温		最高最低気温		最高最低気温
福岡	平年並 8 - 40mm		最低気温 25.0 °C		最高気温 31.8 °C		

大分県の週間天気予報

7月19日11時 大分県の週間天気予報

日付	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水
大分県	晴	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴
降水確率(%)	0/0/10/0	20	20	10	20	30	30
信頼度	/	/	B	B	B	C	C
最高(°C)	33 (31~35)	33 (31~35)	33 (32~35)	35 (33~37)	36 (35~38)	35 (30~38)	34 (31~38)
最低(°C)	25 (23~26)	24 (23~26)	25 (24~27)	26 (24~27)	26 (25~28)	27 (26~29)	26 (25~28)
平年値	降水量の合計		最高最低気温		最高最低気温		最高最低気温
大分	平年並 6 - 41mm		最低気温 23.8 °C		最高気温 31.5 °C		

降水確率(%)：明日の予報までは、6時間毎に「00時から06時/06時から12時/12時から18時/18時から24時」の順に表示しています。

信頼度(ABC)：3日目以降の降水の有無の予報について「予報が適中しやすい」と「予報が変わりにくい」ことを表す情報で、予報の確度が高い順にA、B、Cの3段階で表します。

報道発表資料

平成29年7月19日

気象庁

平成29年7月5日から6日に九州北部地方で発生した豪雨の
命名について

気象庁は、平成29年7月5日から6日に九州北部地方で発生した豪雨について、「平成29年7月九州北部豪雨」と命名しました。

本件に関する問い合わせ先：

予報部業務課気象防災情報調整室 03-3212-8341（内線3105）

平成 29 年 7 月九州北部豪雨について

●概要

7月5日から6日にかけて、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となった。

九州北部地方では、7月5日から6日までの総降水量が多いところで500ミリを超え、7月の月降水量平年値を超える大雨となったところがあった。また、福岡県朝倉市や大分県日田市等で24時間降水量の値が観測史上1位の値を更新するなど、これまでの観測記録を更新する大雨となった。

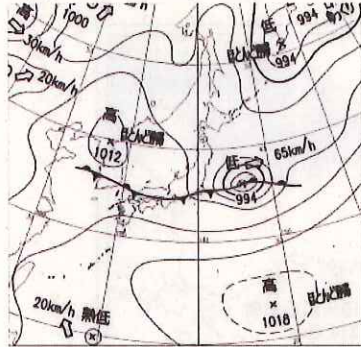
●天気図・衛星画像・解析雨量

天気図

衛星赤外画像

日降水量 (解析雨量※)

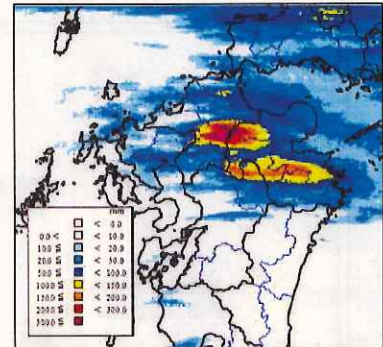
7月5日 09時



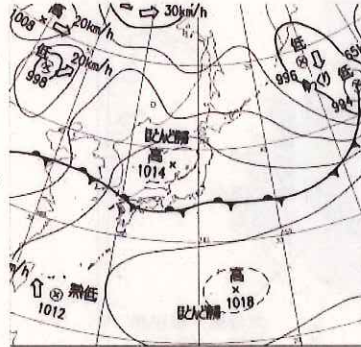
7月5日 09時



7月5日



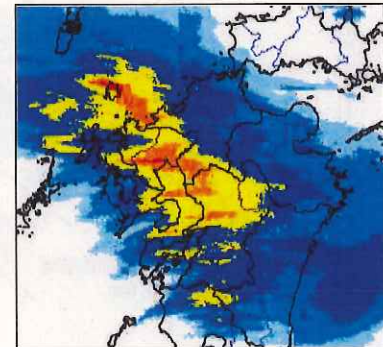
7月6日 09時



7月6日 09時



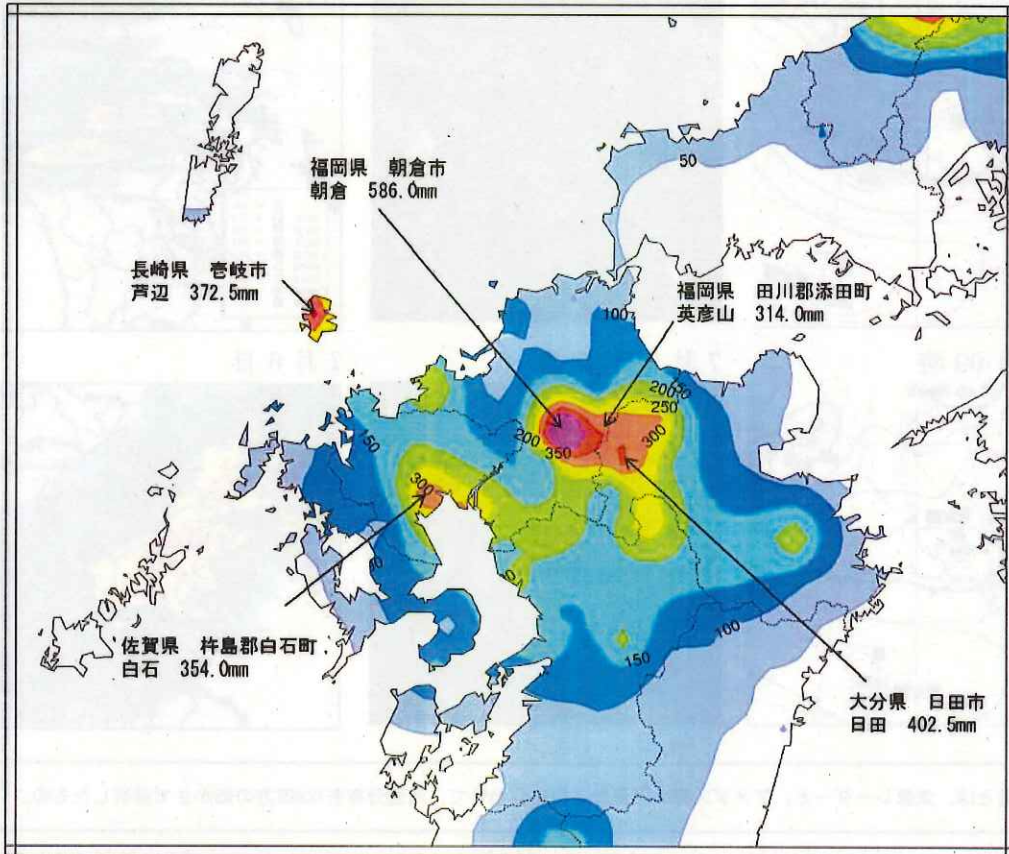
7月6日



※解析雨量とは、気象レーダーと、アメダス等の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km四方の細かさで解析したもの。

●参考：7月5日0時～7月6日24時の観測データ（九州北部地方）

・期間降水量分布図（7月5日0時～7月6日24時）



※上位5地点については地点名・値を記載

・ 降水量の多い地点 (7月5日0時~7月6日24時)

1 時間降水量の多い方から 20 位 (7月5日0時~7月6日24時)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	福岡県	朝倉市	朝倉(アサクラ)	129.5	7/05	15:38
2	長崎県	壱岐市	芦辺(アシヘ)	90.0	7/06	02:44
3	大分県	日田市	日田(ヒタ)	87.5	7/05	18:44
4	長崎県	南島原市	口之津(クチノツ)	82.0	7/06	06:35
5	熊本県	山鹿市	鹿北(カホク)	72.0	7/06	03:10
5	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	72.0	7/06	05:07
7	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山(アソサン)	71.5	7/06	04:22
8	熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫(アソオトヒメ)	70.0	7/06	03:50
9	長崎県	佐世保市	佐世保(サセホ)	69.0	7/06	19:42
10	熊本県	玉名市	岱明(タイメイ)	68.5	7/06	03:48
11	熊本県	菊池市	菊池(キクチ)	64.5	7/06	03:56
12	熊本県	上益城郡甲佐町	甲佐(カウサ)	61.5	7/06	05:16
13	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	南阿蘇(ミナミアソ)	60.5	7/06	04:32
14	熊本県	上益城郡益城町	益城(マシキ)	58.5	7/06	04:09
15	福岡県	田川郡添田町	英彦山(ヒコサン)	58.0	7/05	17:07
16	長崎県	壱岐市	石田(イシダ)	*54.0	7/06	02:29
16	佐賀県	佐賀市	川副(カワソエ)	54.0	7/06	00:06
18	佐賀県	杵島郡白石町	白石(シロイシ)	53.5	7/06	03:35
19	福岡県	糸島市	前原(マエハル)	53.0	7/06	02:11
19	長崎県	松浦市	松浦(マツウラ)	53.0	7/06	03:31
19	長崎県	島原市	島原(シマハラ)	53.0	7/06	04:42

* : 欠測が期間内に含まれます

3時間降水量の多い方から20位（7月5日0時～7月6日24時）

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	福岡県	朝倉市	朝倉(アサクラ)	261.0	7/05	15:40
2	長崎県	壱岐市	芦辺(アシヘ)	191.0	7/06	03:20
3	大分県	日田市	日田(ヒタ)	186.0	7/05	20:20
4	佐賀県	杵島郡白石町	白石(シロイシ)	124.5	7/06	05:40
5	福岡県	田川郡添田町	英彦山(ヒコサン)	120.0	7/05	17:50
6	熊本県	山鹿市	鹿北(カホク)	116.5	7/06	03:30
7	長崎県	壱岐市	石田(イシダ)	*112.5	7/06	03:00
8	長崎県	南島原市	口之津(クチヅ)	108.5	7/06	08:10
9	大分県	中津市	耶馬溪(ヤハケイ)	104.5	7/05	20:20
10	熊本県	玉名市	岱明(タイメイ)	96.0	7/06	05:40
11	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山(アソサン)	94.5	7/06	06:10
12	佐賀県	佐賀市	川副(カワソエ)	93.0	7/06	08:20
13	大分県	豊後大野市	犬飼(イヌカイ)	91.5	7/05	19:40
14	長崎県	島原市	島原(シマハラ)	89.0	7/06	06:40
15	福岡県	糸島市	前原(マエバル)	88.5	7/06	04:00
16	長崎県	佐世保市	佐世保(サセホ)	86.5	7/06	21:30
16	熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫(アソオトヒメ)	86.5	7/06	04:40
18	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	85.5	7/06	07:00
19	熊本県	宇土市	宇土(ウト)	80.5	7/06	07:00
20	熊本県	上益城郡益城町	益城(マシキ)	80.0	7/06	05:50

*: 欠測が期間内に含まれます

24 時間降水量の多い方から 20 位 (7 月 5 日 0 時~7 月 6 日 24 時)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	福岡県	朝倉市	朝倉(アサクラ)	545.5	7/06	11:40
2	大分県	日田市	日田(ヒタ)	370.0	7/06	10:50
3	長崎県	壱岐市	芦辺(アシヘ)	362.5	7/06	24:00
4	佐賀県	杵島郡白石町	白石(シロイシ)	328.5	7/06	22:30
5	大分県	中津市	耶馬溪(ヤハケイ)	292.5	7/06	08:40
6	佐賀県	佐賀市	川副(カワソエ)	290.5	7/06	22:50
7	福岡県	田川郡添田町	英彦山(ヒコサン)	288.0	7/06	08:00
8	熊本県	阿蘇郡南小国町	南小国(ミナミオクニ)	272.5	7/06	09:10
9	大分県	豊後大野市	犬飼(イヌカイ)	268.0	7/06	11:50
10	福岡県	柳川市	柳川(ヤナガワ)	256.5	7/06	23:00
11	福岡県	糸島市	前原(マエハル)	247.5	7/06	23:30
12	長崎県	壱岐市	石田(イシダ)	*247.0	7/06	23:50
13	熊本県	玉名市	岱明(タイメイ)	219.0	7/06	24:00
14	熊本県	山鹿市	鹿北(カキ)	217.5	7/06	24:00
15	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	210.0	7/06	24:00
16	佐賀県	佐賀市	佐賀(サカ)	195.5	7/06	22:40
17	熊本県	宇土市	宇土(ウト)	185.0	7/06	24:00
18	長崎県	南島原市	口之津(クチヅ)	184.5	7/06	24:00
19	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山(アソサン)	175.0	7/06	22:20
20	大分県	竹田市	竹田(タケタ)	169.5	7/06	11:30

*: 欠測が期間内に含まれます

期間内の総降水量の多い方から 20 位 (7月5日0時～7月6日24時)

順位	都道府県	市町村	地点名(よみ)	降水量 (mm)
1	福岡県	朝倉市	朝倉(アサクラ)	586.0
2	大分県	日田市	日田(ヒタ)	402.5
3	長崎県	壱岐市	芦辺(アシヘ)	372.5
4	佐賀県	杵島郡白石町	白石(シロイシ)	354.0
5	福岡県	田川郡添田町	英彦山(ヒコサン)	314.0
6	佐賀県	佐賀市	川副(カワソエ)	308.5
7	大分県	中津市	耶馬溪(ヤバケイ)	305.5
8	熊本県	阿蘇郡南小国町	南小国(ミナミオクニ)	302.5
9	大分県	豊後大野市	犬飼(イヌカイ)	273.0
10	福岡県	柳川市	柳川(ヤナガワ)	271.0
11	福岡県	糸島市	前原(マエバル)	253.5
12	熊本県	山鹿市	鹿北(カホク)	250.5
13	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	225.5
14	長崎県	壱岐市	石田(イシダ)	225.0
15	熊本県	玉名市	岱明(タイメイ)	222.0
16	佐賀県	佐賀市	佐賀(サカ)	207.5
17	熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山(アソサン)	198.5
18	熊本県	宇土市	宇土(ウト)	195.0
19	長崎県	南島原市	口之津(クチノツ)	184.5
20	熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫(アソオトヒメ)	182.5

福岡県・大分県の大雨についての対応状況（7月19日）

平成29年7月19日（水）13時00分
消 防 庁 災 害 対 策 本 部

1 消防機関等の活動体制

約2,500名が活動、ヘリ4機（福岡3機、大分1機）が活動

2 消防機関等の活動

[19日の活動内容]

【福岡県】

- ・緊急消防援助隊の陸上隊（広島県、山口県、佐賀県、長崎県及び熊本県）及び福岡県内応援隊が、朝倉市各地区にて検索救助活動を実施
- ・高知県、北九州市及び福岡市の消防ヘリが、朝倉市上空にて救助活動等を実施予定

【大分県】

- ・大分県消防ヘリが、日田市上空にて情報収集活動等を実施予定

3 被害状況（7月19日13時00分現在）

(1) 人的被害

【福岡県】 死者31名、行方不明者7名、負傷者10名

【大分県】 死者 3名、負傷者 6名

(2) 住家被害

【福岡県】 全壊87棟（朝倉市72棟、東峰村14棟、他1棟）
半壊23棟

【大分県】 全壊15棟（日田市12棟、他3棟）
半壊11棟

※調査が進むにつれて、増えていくことが見込まれる。

4 避難指示等の状況（7月19日12時00分現在発令中のもの）

都道府県名	市区町村名	避難指示(緊急)		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	朝倉市			21,256	54,412
	小計			21,256	54,412
大分県	中津市			4	7
	小計			4	7
合 計				21,260	54,419

5 避難所の状況

【福岡県】 11箇所 791名（7月19日9時00分現在）

【大分県】 6箇所 91名（7月19日9時00分現在）

平成29年6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号の被害状況及び消防機関等の対応状況等について（第45報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

平成29年7月19日（水）13時00分

消防庁災害対策本部

※下線部は前回からの変更点

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・ 梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった
- ・ 九州北部地方では、7月5日昼頃から積乱雲が次々と発生し連なる状況（線状降水帯）となり、6日昼前までの24時間に福岡県朝倉市で545.5ミリ、大分県日田市で370ミリを観測（いずれも観測史上1位、7月一ヶ月間の平年雨量を超える）するなど、記録的な大雨となった

2 被害状況

(1) 人的・物的被害

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福島県									1		
茨城県									7		
千葉県									3		
新潟県			1	1			2	3	51		
富山県								2	15		
石川県							1		13		
長野県							1				
岐阜県							3	1	23		
静岡県				2							
愛知県							2	4	6		
和歌山県				1							
島根県				1		1	2	9	55		1
広島県	2						1	4	21		
愛媛県				1							
福岡県	31	7	2	8	87	23	41	48	165		8
佐賀県							1	1	71		
長崎県									6		
熊本県				5			7	6	25		
大分県	3		2	4	15	11	24	99	160		13
合計	36	7	5	23	102	35	85	177	622		22

《死者の状況》

【広島県】（7月4日から5日の大雨による被害）

- ・ 1名（広島市：90歳代男性を鈴張川で発見し、死亡を確認（7月5日））
- ・ 1名（北広島町：60歳代男性。7月12日に土師ダムで発見された男性の身元が判明）

【福岡県】

〈朝倉市〉

- ・ 1名（杷木林田：60歳代男性を発見し、死亡を確認（7月6日））
- ・ 2名（山田：80歳代男性及び80歳代女性を発見し、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（宮野：70歳代男性を発見し、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（杷木星丸：20歳代男性を発見し、死亡を確認（7月7日））
- ・ 3名（黒川：60歳代女性、20歳代女性、男児を消防隊が発見し、死亡を確認（7月7日））

- ・ 1名(杷木林田：50歳代女性を消防団員が発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 1名(杷木林田：30歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 1名(杷木松末：90歳代女性を消防隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(杷木松末：80歳代女性を消防隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(杷木池田：60歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(中：60歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月9日))
- ・ 1名(山田：80歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月9日))
- ・ 1名(杷木松末：70歳代男性を消防隊及び自衛隊が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(有明海：70歳代男性。有明海で発見された男性の身元が判明(7月10日))
- ・ 1名(杷木久喜宮：90歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(杷木志波：60歳代男性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(杷木久喜宮：80歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木志波：70歳代男性を発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木松末：70歳代女性を発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木志波：70歳代男性を市民が発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(有明海：60歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月13日))
- ・ 1名(有明海：80歳代男性。有明海で発見された男性の身元が判明(7月14日))
- ・ 1名(古毛：80歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月14日))
- ・ 1名(有明海：70歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月17日))
- ・ 1名(有明海：50歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月17日))

〈東峰村〉

- ・ 2名(80歳代男性及び80歳代女性を岩屋地区付近捜索中の警察及び自衛隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(宝珠山：60歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月12日))

【大分県】

〈日田市〉

- ・ 1名(40歳代男性が崩土に巻き込まれ、その後、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(70歳代男性を君迫川で発見、その後、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(70歳代女性を田代川で発見、その後、死亡を確認(7月7日))

《行方不明者の状況》

【福岡県】

- ・ 7名(朝倉市)

《連絡が取れない者の状況》

【福岡県】

- ・ 0名(行方不明者として計上されたため)

《重傷者の状況》

【新潟県】

- ・ 1名(糸魚川市：60歳代男性が用水路に転落し骨折(7月1日))

【福岡県】

- ・ 2名(東峰村：40～50歳代女性と10歳代男性の親子が家屋に入ってきた土砂により受傷(7月6日))

【大分県】

- ・ 1名(佐伯市：70歳代女性が風にあおられ転倒し右腕骨折疑い(7月4日))
- ・ 1名(日田市：60歳代女性が崩土に巻き込まれ負傷(7月6日))

3 避難指示等の状況（7月19日 12時00分 現在発令中のもの）

都道府県名	市区町村名	避難指示(緊急)		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	朝倉市			21,256	54,412
	小計			21,256	54,412
大分県	中津市			4	7
	小計			4	7
合 計				21,260	54,419

4 避難所の状況

【福岡県】

・ 11箇所 791名（7月19日 9時00分 現在）

【大分県】

・ 6箇所 91名（7月19日 9時00分 現在）

都道府県名	市区町村名	避難所数	避難者数
福岡県	朝倉市	7	753
	東峰村	4	38
	計	11	791
大分県	日田市	6	91
	計	6	91
合 計		17	882

5 都道府県における災害対策本部の設置状況

【福岡県】 7月 5日 15時30分 災害対策本部設置

6 消防機関等の活動体制

《7月19日の活動予定》

【福岡県】

地元消防本部 約700名
 地元消防団 約1000名
 県内消防応援等及び緊急消防援助隊 613名（ヘリ3機）7時20分現在

【大分県】

地元消防本部 約100名
 地元消防団 約100名
 大分県ヘリ 6名（ヘリ1機）7時20分現在

7 消防機関等の対応

(1) 島根県

ア 地元消防機関による活動等

被災地では消防機関（消防吏員・消防団員）により救助等の活動を実施

イ 相互応援協定による活動等

7月5日 9時04分 島根県益田市において、相互応援協定に基づき、鳥取県防災ヘリコプターが孤立者4名を救出

ウ 広域航空消防応援による活動等

7月5日 15時30分 島根県知事の要請に基づき、消防庁長官から鳥取県知事及び山口県知事に対し、広域航空消防応援によるヘリコプターの出動を要請し、鳥取県防災ヘリコプターが孤立者3名を救出

(2) 福岡県及び大分県

ア 地元消防機関による活動等

被災地では消防機関（消防吏員・消防団員）により救助等の活動を実施

福岡市及び北九州市消防ヘリコプターにより情報収集活動を実施

※日田市において巡回活動中の消防団員（40歳代男性）が崩土に巻き込まれ死亡（7月6日）

イ 緊急消防援助隊の活動等

【7月5日】

<福岡県関係>

《消防庁の対応》

- ・消防庁から大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県及び長崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（23時20分）

<大分県関係>

《消防庁の対応》

- ・消防庁から福岡県、佐賀県、熊本県及び宮崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（19時55分）
- ・消防庁から愛知県に対し、緊急消防援助隊（全地形対応車を含む部隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（20時00分）
- ・消防庁から山口県、愛媛県、高知県及び長崎県に対し、緊急消防援助隊（航空小隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（20時25分）
- ・大分県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請（21時12分）
- ・消防庁長官から愛知県知事、福岡県知事、佐賀県知事及び熊本県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（21時20分）
- ・消防庁長官から宮崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（21時25分）
- ・消防庁長官から山口県知事、愛媛県知事、高知県知事及び長崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（航空小隊）（22時30分）

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁に向け出動（21時45分）
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部に向け出動（22時00分）
- ・北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部に向け出動（22時50分）

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、大分県に向け出動（22時20分）

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、大分県に向け出動（23時32分）

【7月6日】

<福岡県関係>

《消防庁の対応》

- ・福岡県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請（0時00分）
- ・消防庁長官から岡山県知事及び広島県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（0時20分）
- ・消防庁長官から長崎県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（0時30分）

- ・ 消防庁長官から広島県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（1時15分）
- ・ 消防庁長官から大阪府知事、兵庫県知事、岡山県知事及び香川県知事に対し、緊急消防援助隊（航空小隊）の福岡県への出動を求め（1時30分）
- ・ 消防庁長官から山口県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（1時40分）
- ・ 消防庁長官から奈良県知事に対し、緊急消防援助隊（航空小隊）の出動を求め（19時00分）

《指揮支援隊》

- ・ 岡山市消防局の指揮支援隊が、甘木・朝倉消防本部に向け出動（1時05分）
 - 岡山市消防局の指揮支援隊が、行き先を変更し朝倉市役所に到着（8時09分）
- ・ 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁に向け出動（1時20分）
 - 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁に到着（6時00分）

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、福岡県に向け出動（3時25分）
 - 広島県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（9時30分）
- ・ 朝倉市内の孤立地区に対応するため、進出拠点（筑紫野市）から指揮隊1隊、救急隊8隊、救助隊1隊出動（16時35分）

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（6時06分）
- ・ 東峰村小石原地区へ検索救助活動を実施するため移動開始（10時15分）
 - 同地区へ到着、検索救助活動を実施（12時30分～16時20分）

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（5時37分）
- ・ 東峰村小石原地区へ検索救助活動を実施するため移動開始（10時15分）
 - 同地区へ到着、検索救助活動を実施（12時30分～16時20分）

《消防ヘリ》

- ・ 大阪市消防ヘリが、岩尾キャンプ場にて傷病者2名を救急搬送（13時00分～15時10分）
- ・ 兵庫県消防ヘリが、北九州空港に到着
 - 朝倉市の孤立者を救助に向かうも天候不良のため引揚げ（14時15分～14時45分）
- ・ 岡山県消防ヘリが、福岡空港に到着（16時26分）
 - 引き続き、高木地区にて1名の救助・救急活動を実施（16時56分～18時15分）
- ・ 香川県消防ヘリが、北九州空港に到着（13時43分）

<大分県関係>

《消防庁の対応》

- ・ 大分県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の追加応援要請（11時41分）
- ・ 消防庁長官から宮崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への追加出動を求め（航空小隊に係る後方支援小隊）（12時15分）

《指揮支援隊》

- ・ 福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁に到着（0時20分）
- ・ 北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部に到着（1時13分）
- ・ 熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部に到着（1時58分）

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（3時39分）
- ・ 日田市内北西側において警察・自衛隊とともに検索救助活動開始（8時10分）
 - ※救急隊は日田市内の土砂災害現場で活動を実施

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（5時00分）
- ・日田市内北西側において警察・自衛隊とともに検索救助活動開始（8時10分）
※救急隊は日田市内の土砂災害現場で活動を実施

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（中津市）に到着（5時43分）
- ・中津市内を6区画に分け検索活動を実施
※5区画検索実施、残り1区画は明朝より再検索実施予定
- ・宮崎県大隊（航空小隊に係る後方支援小隊）が、大分県中央空港に向け出動（15時50分）

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（18時40分）

《消防ヘリ》

- ・高知県消防ヘリが、日田市上空にて情報収集活動を実施（9時55分～11時35分）
→ 引き続き、東峰村上空にて情報収集活動を実施（14時02分～15時37分）
- ・山口県消防ヘリが、日田市にて救助・救急活動を実施、2名救出（10時50分～13時02分）
→ 日田市の孤立したデイサービスセンターで4名救出（16時49分～17時51分）
- ・愛媛県消防ヘリが、日田市の孤立したデイサービスセンターの情報収集活動を実施
（13時13分～14時05分）
→ 天候回復を待って、同デイサービスセンターの要救助者12名を救出
（15時51分～17時35分）

【7月7日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、東峰村の南側の検索活動を実施するため移動（5時00分）
→ 東峰地区南側から東峰村役場まで進行、岩屋地区の検索活動を実施、80歳代女性1名を避難所で発見し搬送

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、東峰村の北側の検索活動を実施するため移動（5時00分）
→ 東峰地区から今道集会場まで進行し、村外から避難している30名と接触（11時10分）
→ 30名は自衛隊の車両にて移動完了

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市の検索活動を実施
→ 東峰村に移動し、検索活動を実施
※うち救助隊2隊は自衛隊のヘリにて移動し、朝倉市高木地区元の目にて検索活動を実施
→ 朝倉市高木地区元の目にて、3名救出（14時47分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市上空から情報収集活動を実施（5時40分～5時43分）
→ 救助活動へ移行、朝倉市松末地区乙石にて9名の救助救急活動を実施
（5時43分～9時21分）
→ 朝倉市高木地区元の目にて救助隊員8名の現場投入を実施（14時29分～18時15分）

- ・岡山県消防ヘリが、朝倉市松末地区乙石にて10名の救助救急活動を実施
(6時35分～8時15分)
- ・岡山県消防ヘリが、朝倉市高木地区元のみ及び荒田にて4名の救助救急活動を実施
(15時28分～16時40分)
- ・奈良県消防ヘリが、福岡空港へ到着(15時47分)
- ・奈良県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田牟田にて4名の救助救急活動を実施
(18時30分～20時13分)
- ・大阪市ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて救助隊員3名の現場投入を実施
(18時00分～19時50分)
- ・北九州市消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて2名の救助救急活動を実施
(18時52分～19時57分)
- ・香川県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて3名の救助救急活動を実施
(18時53分～20時19分)
- ・兵庫県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田牟田にて2名の救助救急活動を実施
(19時02分～20時02分)

《ドローン》

- ・内閣府と連携し、東峰村役場付近においてドローンによる上空からの情報収集活動を実施
→ 広島県大隊の無線中継車により、消防庁等へ画像伝送を実施(17時15分)

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊(部隊長)が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部にて指揮支援活動を実施
→ 中津市における緊急消防援助隊の活動終了に伴い、引き揚げ(18時30分)
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊(陸上部隊)が、日田市鶴城町及び上宮町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊(陸上部隊)が、日田市鶴城町及び上宮町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊(陸上部隊)が、中津市6区画のうち、未検索地区1区画の検索活動を実施
→ 中津市における緊急消防援助隊の活動終了に伴い、日田市へ部隊移動(18時30分)

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊(全地形対応車を含む陸上部隊)が、日田市鶴城町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《消防ヘリ(※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む)》

- ・長崎県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動を実施(14時36分～16時01分)
- ・高知県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動を実施(15時45分～17時16分)
→ 再度、日田市上空から情報収集活動を実施(17時54分～19時03分)
- ・大分県消防ヘリが、日田市古田地区にて2名の救助救急活動を実施
(18時03分～19時04分)

【7月8日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、東峰村の岩屋地区で検索救助活動を実施（7時00分～7時20分）
→ 東峰村の岩屋地区へ転進し検索救助活動を実施（10時20分～15時47分）

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、東峰村の竹地区で検索救助活動を実施（7時00分～15時47分）

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、東峰村の栗松地区で検索活動を実施（7時00分～7時20分）
→ 朝倉市松末中村地区へ転進し検索救助活動を実施（7時20分～15時47分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・ 香川県消防ヘリが、朝倉市高木地区元のみで救助隊員の現場投入活動を実施
(6時00分～7時20分)
- ・ 福岡市消防ヘリが、朝倉市高木地区元のみで救助隊員の現場投入活動を実施
(7時13分～7時58分)
- ・ 奈良県消防ヘリが、朝倉市高木地区荒田で救助隊員の現場投入活動を実施
(6時11分～7時28分)
→ 帰投後、再度、朝倉市高木地区荒田で現場投入活動を実施（9時10分～10時35分）
- ・ 広島市消防ヘリが、北九州空港に到着（6時50分）
- ・ 大阪市消防ヘリは、帰投（12時40分）

《ドローン》

- ・ 内閣府と連携し、ドローンによる東峰村上空からの情報収集活動を実施
(13時30分～14時30分)
→ 消防庁へ撮影動画を伝送

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～17時30分）

《熊本県大隊》

- ・ 熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～17時50分）

《宮崎県大隊》

- ・ 宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～15時20分）

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施
(7時20分～9時30分)
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施(9時30分～14時00分)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・大分県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動等を実施(11時05分～13時01分)
- ・高知県消防ヘリが、朝倉市杷木地区白木及び日田市上空で情報収集活動を実施
(11時10分～12時55分)
- ・熊本県消防ヘリが、日田市小野源栄町で医師搬送を実施(12時56分～13時56分)
- ・愛媛県消防ヘリが、日田市小野源栄町で救助救急活動を実施(15時13分～16時11分)
- ・山口県消防ヘリが、日田市小野源栄町で医師搬送を実施(15時54分～17時14分)

【7月9日】

《消防庁の対応》

- ・消防庁長官が、福岡県知事の要請に基づき、大分県知事及び日田市長の意見を踏まえ、佐賀県知事及び愛知県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県から福岡県への部隊移動を求め(12時35分)

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区白木及び杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸及び東峰村岩屋地区で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・広島市消防ヘリが、朝倉市及び東峰村上空から情報収集活動を実施(13時19分～14時59分)
- ・兵庫県消防ヘリが、朝倉市松末地区上空から情報収集活動を実施(16時50分～18時25分)
- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市松末地区上空から情報収集活動を実施(16時49分～17時46分)

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市大鶴町で警戒活動を実施（13時00分～17時00分）
- ・熊本県大隊（救急隊）が、避難所の傷病者1名を救急搬送（11時57分）

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市大鶴町で警戒活動を実施（8時00分～12時00分）
→ 日田市の警戒活動に備え、拠点にて待機

【7月10日】

《消防庁の対応》

- ・消防庁長官が、福岡県知事の要請に基づき、大分県知事及び日田市長の意見を踏まえ、高知県知事及び熊本県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県から福岡県への部隊移動を求め
(17時00分)

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～18時02分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～17時33分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～17時16分)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・広島市消防ヘリが、朝倉市上空から筑後川支流の情報収集活動を実施
(10時40分～12時12分)
- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市杷木地区で救助隊員5名の現場投入活動を実施
(13時38分～14時38分)
- ・奈良県、岡山県及び香川県の消防ヘリが、帰投（15時30分）

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
→ 大分県での緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、引き揚げ（17時00分）
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施
→ 大分県での緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、大分県から福岡県（朝倉市）への
転進に向け調整（17時00分）

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市小野地区で警戒活動を実施（8時55分～15時00分）
→ 大分県での緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整（17時00分）

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市小野地区で警戒活動を実施（8時30分～15時00分）
→ 大分県での緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、引き揚げ（17時00分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・山口県及び長崎県の消防ヘリは、帰投（17時00分）
- ・高知県及び熊本県の消防ヘリは、大分県での緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整（17時00分）

【7月11日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～15時00分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～17時12分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～18時07分)

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸及び松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～16時37分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(14時42分～18時30分)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・広島市消防ヘリが、朝倉市上空からの情報収集活動を実施（15時29分～16時50分）
- ・兵庫県、熊本県及び広島市の消防ヘリは、帰投（21時00分）

<大分県関係>

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・大分県消防ヘリが、日田市上空からの情報収集活動を実施（9時05分～12時15分）
- ・愛媛県消防ヘリは、帰投（21時00分）

【7月12日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時20分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～16時55分)

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）は、全地形対応車の活用による緊急消防援助隊としての活動終了に伴い、引き揚げ（13時00分）

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～18時30分)

<大分県関係>

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・大分県消防ヘリが、日田市上空からの情報収集活動を実施（13時09分～14時45分）

【7月13日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～16時50分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～16時45分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時10分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～17時02分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時00分～16時30分)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市上空からの情報収集活動を実施（15時28分～16時43分）

【7月14日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～15時05分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～17時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～17時30分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～17時15分)

【7月15日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～16時30分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～16時30分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時10分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～17時00分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～17時00分)

【7月16日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施
(9時30分～17時00分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸及び松末小学校付近で検索救助活動を実施
(9時30分～17時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(9時30分～17時00分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰及び松末小学校付近で検索救助活動を実施
(9時30分～17時00分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰及び松末小学校付近で検索救助活動を実施
(9時30分～17時00分)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・福岡市消防ヘリが、筑後川周辺上空からの情報収集活動を実施（9時32分～11時27分）

【7月17日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田及び杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～14時45分)

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～13時55分)

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～15時20分)

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～13時40分)

《熊本県大隊》

- ・ 熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施
(6時30分～17時30分)

【7月18日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～13時35分)

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～13時30分)

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～13時30分)

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区で検索救助活動を実施
(6時30分～14時00分)

《熊本県大隊》

- ・ 熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区で検索救助活動を実施
(6時30分～14時30分)

【7月19日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 岡山市消防局及び熊本市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施（8時00分～）

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施（8時00分～）

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施（8時00分～）

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区で検索救助活動を実施（6時30分～）

《熊本県大隊》

- ・ 熊本県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区で検索救助活動を実施（6時25分～）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・ 高知県、北九州市及び福岡市の消防ヘリが、救助活動等を実施予定

＜大分県関係＞

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外のヘリを含む）》

- ・ 大分県消防ヘリが、情報収集活動等を実施予定

ウ 救助実績

＜福岡県関係＞

227人（うち、消防ヘリによる救助41人）※7月11日6時20分現在

＜大分県関係＞

56人（うち、消防ヘリによる救助22人）※7月11日6時20分現在

8 消防庁の対応

7月 3日	12時30分	関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
	15時08分	全都道府県に対し「梅雨前線及び台風による大雨警戒情報」を发出
7月 4日	6時30分	応急対策室にて情報収集体制を強化
7月 5日	5時55分	応急対策室長を長とする災害対策室設置（第1次応急体制）
	11時30分	関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席
	17時51分	国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部へ改組（第2次応急体制）
7月 6日	5時25分	現地活動支援及び現地広報のため、消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名を派遣
	7時30分	関係省庁災害対策会議に消防庁次長が出席
	8時00分	消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部へ改組（第3次応急体制）
	9時00分	関係閣僚会議に総務大臣が出席
	16時30分	関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席
	17時00分	政府調査団として、地域防災室長を福岡県に派遣
7月 7日	10時00分	関係閣僚会議に総務大臣が出席
	16時00分	関係省庁災害対策会議に総務課長が出席
7月 9日	9時30分	政府調査団として、震災対策専門官を大分県に派遣
	11時30分	関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席
7月10日	16時00分	関係省庁災害対策会議に総務課長が出席
7月11日	15時50分	関係閣僚会議に総務大臣が出席
7月12日		総務大臣と消防庁長官が、福岡県、大分県の現地を視察
7月13日	16時00分	関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

問い合わせ先
消防庁災害対策本部
TEL 03-5253-7513
FAX 03-5253-7553

7月19日 大雨に伴う緊急消防援助隊等の活動予定

平成29年7月19日
12時20分現在

福岡県

緊急消防援助隊

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動予定
指揮支援	広島市(部隊長)	1	5	福岡県庁消防応援活動調整本部にて指揮支援活動を実施 朝倉市役所にて指揮支援活動を実施
	岡山市	1	4	
	熊本市	1	5	
陸上	広島県	39	122	朝倉市杷木地区古賀にて検索救助活動を実施
	山口県	26	99	
	長崎県	24	78	
	佐賀県	16	58	
	熊本県	29	99	
	小計	137	470	
航空	高知県	1	7	朝倉市松末地区にて検索救助活動を実施 自隊待機
		1	7	
	合計	138	477	

県内応援隊等

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動予定
陸上	県内各消防本部	34	126	朝倉市内にて検索救助活動を実施
	北九州市	1	5	
航空	福岡市	1	5	ヘリベース待機
	合計	36	136	

大分県

自県ヘリ

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動予定
航空	大分県	1	6	ヘリベース待機
	合計	1	6	

海上保安庁対応状況

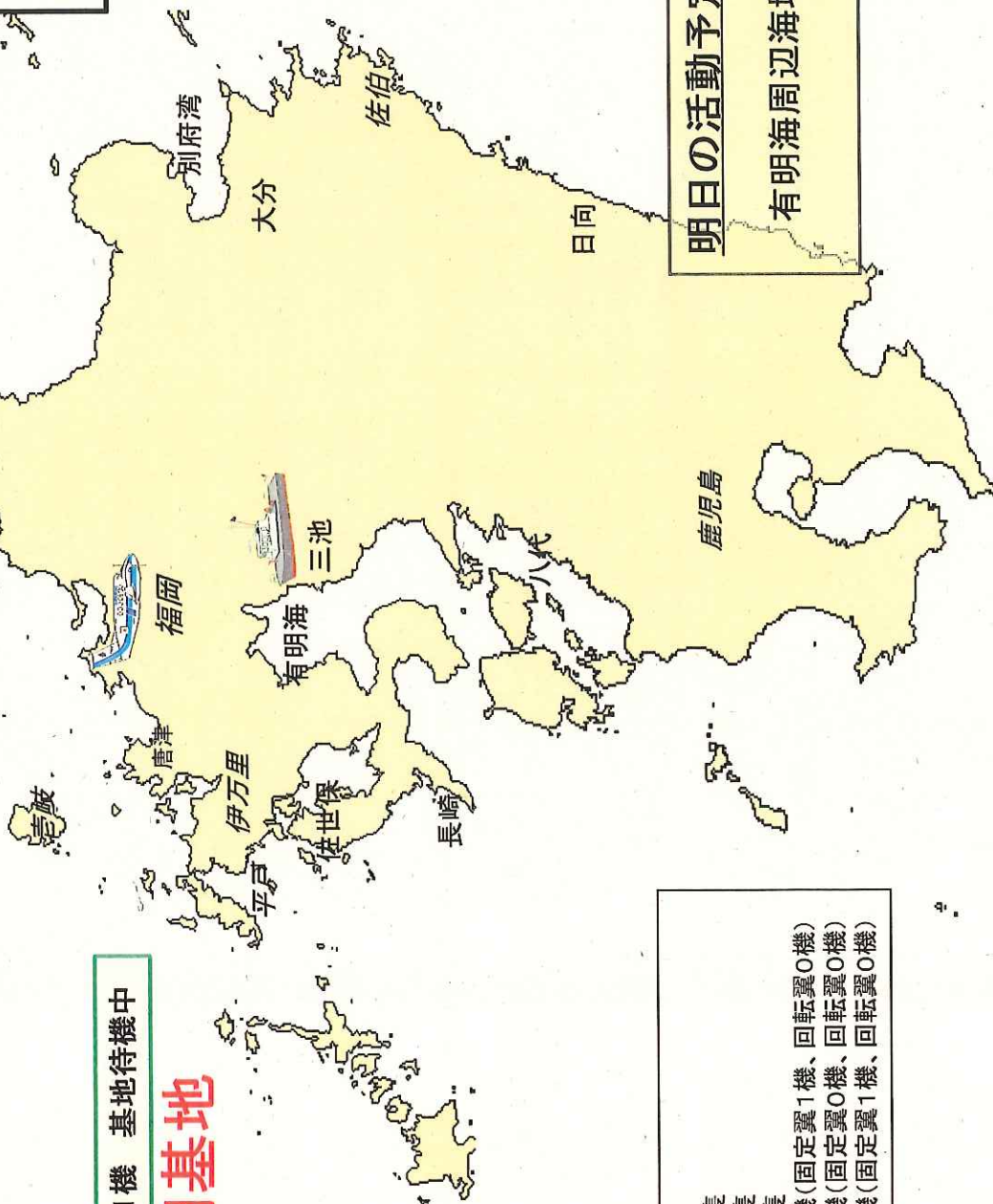
(19日16時00分現在)

- 5日 1941 海上保安庁対策本部設置
- 5日 1941 第七管区海上保安本部対策本部へ改組

救助者数
 7月6日 12名
 7月7日 28名
 計 40名

固定翼機1機 基地待機中

福岡基地



対応勢力

- ・巡視艇 1隻
- 対応中 0隻
- 準備中 1隻
- ・航空機 1機(固定翼1機、回転翼0機)
- 対応中 0機(固定翼0機、回転翼0機)
- 準備中 1機(固定翼1機、回転翼0機)

明日の活動予定

有明海周辺海域等の被害状況調査

総務省の対応等について（概要）

1 情報通信（7月19日07時30分現在）

(1) 通信

【固定】復旧済み。

※NTT 通信ビルまで。NTT 通信ビルから加入者までの間は、個別の加入者宅の復旧工事等が必要。

【携帯】福岡県朝倉市及び大分県日田市の一部で不通

※計7局停波。

→停波局は、道路開通後順次現地入りし、復旧対応実施予定。

※役場及び住民居住地区については、サービスに支障なし。

（朝倉市1地区1世帯への衛星携帯電話設置措置を含む。）

【支援】[機器等貸出し]（総務省）衛星携帯電話16台、簡易無線4台
移動電源車1台

（事業者）衛星携帯電話192台、携帯電話825台

[避難所向け]（事業者）Wi-Fi101台、携帯充電器97台

(2) 放送 【地上テレビ・ラジオ】通常運用中

→「臨時災害放送局」（FM放送）の開設に向けて、総務省所有の機器を送信所予定場所（朝倉市杷木池田（ゆうらく館））に設置し、準備中。

2 地方自治（7月19日07時30分現在）

(1) 職員派遣の状況 福岡県内：要請101名／派遣101名

大分県内：要請19名／派遣19名

（いずれも、県及び県内市町村職員が派遣されている。）

(2) 普通交付税の繰上げ交付 13日(木)に災害救助法の適用を受けた福岡県内3市町村及び大分県内2市に対する普通交付税（9月定例交付分）の一部（23.8億円）の繰上げ交付を決定。

※7月14日(金)に現金交付

(これまでの主な取組)

7月6日(木) 総務大臣出席により、総務省災害関係局長級会議（第1回）を開催 →7月7日(金)に第2回、12日(水)に第3回開催

福岡県災害対策本部へリエゾンを派遣（※政府現地連絡調整室にも登録）

7月7日(金) 福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加

7月9日(日) 大分県・福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加

7月12日(水) 総務大臣が福岡県、大分県を訪問

厚生労働省
平成29年07月19日
07時30分現在

福岡県・大分県等の大雨について（第39報）

1 厚生労働省における対応

- 7/6 07:00 厚生労働省災害対策本部設置
- 10:20 厚生労働省災害対策本部第1回会合開催
- 7/7 18:00 省内課長級会議開催

- 塩崎厚生労働大臣の被災地視察
 - ・ 7/12、福岡県朝倉市と東峰村を訪問して、避難所、特養、浄水場を視察。福岡県知事、福岡県議会議長、東峰村村長と意見交換。

- 馬場大臣政務官の政府調査団派遣
 - ・ 7/7、内閣府松本副大臣を長とする政府調査団（福岡県）に馬場大臣政務官、九州厚生局長ほか1名を派遣。

- 職員の現地等への派遣状況
 - ・ 7月6日から、医療・福祉・水道等の被災状況を確認するため、政府調査団、政府現地連絡調整室、県庁等に対して、厚生労働省及び現地の厚生局、労働局職員を3名派遣中。（累計41人）

2 医療関係

(1) 医療施設（精神科病院を除く）の被害状況

① 病院、有床診療所

- ・ 福岡県・・避難指示又は避難勧告が出た9市町村に所在する全ての医療施設（病院64、診療所86）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。（朝倉市の1透析診療所が断水しており、近隣施設で対応中。）
- 7月7日6時30分以降、新たに避難指示又は避難勧告が出た2市1町に所在する全ての医療施設（病院103、診療所115）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

7月10日12時50分に、朝倉市の溜め池に決壊のおそれがあるとして、朝倉市内の一部地域に新たに避難指示が出たが、当該区域に病院、有床診療所は所在しない。（無床診療所が1箇所所在するが、断水のため診療は既に中止中。）

- ・大分県・ 避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての医療施設（病院41、診療所56）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・ 避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての医療施設（病院34、診療所42）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・山口県・ 避難指示又は避難勧告が出た2市に所在する全ての医療施設（病院44、診療所50）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・佐賀県・ 避難勧告の出た1町に所在する全ての医療施設（病院3、診療所2）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

② 無床診療所 各県と連携して引き続き情報収集に努める。

- ・福岡県・ 断水 2箇所（朝倉市）。診療不可だったが、うち1箇所は応急給水により診療を再開。
床上浸水 1箇所（朝倉市）。医療機器損傷で診療不可。
床下浸水 1箇所（朝倉市）。泥の堆積のため診療を中止していたが、診療を再開。
避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての診療所（1,410施設）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では上記を除き診療不可となる被害報告は無し。
- ・大分県・ 避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての診療所（104施設）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・ 避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての診療所（158施設）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では診療不可となる被害報告は無し。
- ・佐賀県・ 避難勧告が出た1町に所在する全ての診療所（9施設）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

(2) DMATの状況

① 福岡県

- ・ 7月8日までDMAT計10隊が医療活動を実施していたが、病院搬送などが必要な急性期の医療ニーズが減少したことに伴い7月9日より体制を見直し。7月9日以降、病院搬送が必要な患者が発生した場合には、通常の医療体制の中で対応。
- ・ 7月9日までは福岡県内のDMATが福岡県災害対策本部（DMAT調整本部）で活動していたが、7月10日からはDMAT調整本部の活動を中断し、当面通常の体制で対応。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉市災害対策本部に派遣していたが7月8日をもって終了。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉市甘木公園に派遣していたが7月8日をもって終了。避難させる住民のうち治療の必要がある住民を朝倉医師会病院へ搬送させる活動に従事。7月8日20時までに14名を搬送。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉医師会病院支援のために派遣していたが7月8日をもって終了。

② 大分県

- ・ 7月8日に日田市小野地区の住民の医療ニーズの把握のためDMAT1隊を派遣。病院搬送などが必要な医療ニーズがないことを確認し、終了。

3 心のケア・精神科病院関係・障害児者支援関係

(1) 精神科病院等の被害状況

① 福岡県

現時点で被害報告なし。引き続き情報収集に努める。

② 大分県

現時点で被害報告なし。引き続き情報収集に努める。

(2) DPATの状況

① 福岡県

7月10日は福岡DPAT1隊が朝倉市で活動。11日は東峰村で活動。その際、精神科医療ニーズがなかったことから12日以降は待機。18日は朝倉市で1隊が活動。19日は東峰村で活動予定。

③ 大分県

7月9日から大分県DPAT1隊が大分県西部保健所（日田市・九重町・玖珠町を所管）を拠点として活動。11日は引き継ぎも含めてDPAT2隊が活動。12日以降は1隊が活動。医療が必要なケースはすべて医療機関につないだため、18日で活動終了。

4 生活衛生・食品安全関係

(1) 水道の被害状況

福岡県、大分県内の市町村に対し水道の被害状況について情報収集を実施。また、日本水道協会に対し、被害情報について情報共有を図ることとし、それに基づいた応急給水・応急復旧の支援を行うよう依頼。

① 断水の状況（7/19 7:30現在）

○ 福岡県2市村で1,721戸が断水。（前回報告比±0戸）

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【福岡県】 朝倉市 （あさくらし）	1,663戸	1,663戸	7/6～	杷木（はき）浄水場の浸水被害により断水 鬼ヶ城（おにがじょう）簡易水道の浄水場の被災により断水
東峰村 （とうほうむら）	689戸	58戸	7/6～	浄水場に土砂流入及び管路破損により断水
小計	2,519戸	1,721戸		
合計	3,071戸	1,721戸		

※ 大分県玖珠町、熊本県南阿蘇村・南小国町については7月6日、福岡県添田町については7月7日、大分県日田市については7月10日に、それぞれ断水解消。なお、表中の最大断水戸数はこれらの市町村での断水戸数を含む値である。

② 応急給水の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、給水車8台が応急給水対応中（北九州市2台、福岡市2台、久留米市1台及び自衛隊3台）。
- ・東峰村は、自衛隊の給水車4台が応急給水対応中（千代丸（ちよまる）地区に2台、竹（たけ）地区に2台）。

③ 応急復旧の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、杷木（はき）浄水場内にかれき（土砂や流木）が堆積しており、早期に撤去する必要があるが、河川の流れが変わってしまったことで場内に進入できない状況のため、福岡県・国交省・自衛隊など関係機関にかれき撤去及び進入路の確保を要請。

7月15日に朝倉市が着手していた浄水場への仮設道路が完成。朝倉市は、市からの応援要請を受けて日本水道協会から派遣された北九州市とともに、7月18日に仮設ろ過設備の設置を完了し、配水池へ送水中。配水池に充水完了後、7月19日から試験通水と漏水試験を行いながら、断水戸数を減らしつつ、今月末を目処に仮復旧を目指す。

また、鬼ヶ城（おにがじょう）簡易水道については、7月12日に現地確認した結果、浄水場が被災していることを確認し、朝倉市において仮復旧方法について住民と調整中。

- ・東峰村は、福岡県を通じ応援要請を受けて日本水道協会から派遣された北九州市とともに、被災した4地区（千代丸地区、鶴地区、鼓地区、竹地区）について応急復旧中。千代丸地区については、7月11日に仮復旧済み（その後4戸について管路破損が確認されたため7月22日を目途に修繕予定）。鶴地区、鼓地区については、7月13日に仮復旧済み。竹地区については、生活用水の早期確保のため、搬入した仮設水槽に井戸水を取水し、7月16日から飲用不可での試験通水と漏水試験を行いながら、断水戸数を減らしつつ、7月22日を目途に仮復旧を目指す。

5 社会福祉施設等関係

- 厚生労働省本省より直接連絡をとるなどにより確認。引き続き情報収集に努める。

(1) 高齢者関係施設の被害状況

福岡県東峰村の特別養護老人ホーム2施設（宝珠の郷・清和園）については、一時孤立していたが、6日朝に自衛隊が到着し、支援活動を実施。物的・人的被害はなし。清和園については、電力・ガス・水道が復旧し、通常のサービスが提供できている。宝珠の郷については、電力・ガスは復旧し、断水は継続していたが、14日（金）から水道が復旧し、通常のサービスが提供できている。

福岡県朝倉市において、山崩れのおそれのため、9日の午後、避難指示が発令され、有料老人ホームわかいちに入居する12名が福岡県小郡市（5名）及び佐賀県基山町（7名）のグループホームにそれぞれ避難していたが、11日（火）に避難指示が解除され、12日（水）に全員が有料老人ホームわかいちに戻った。

福岡県北九州市の介護老人保健施設1施設において、床下浸水によりエレベータが故障したが、11日（火）に復旧済み。人的被害はなし。

大分県日田市の有料老人ホーム1施設において、一時床上浸水したが既に復旧済み。人的被害はなし。日田市の2施設（デイサービスセンター鳩友園、小野地区老人憩いの家）については、一時孤立していたが、自衛隊等ヘリにより避難所等へ全員搬送済。

その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(2) 障害児・者関係施設の被害状況

大分県日田市で2施設において床下浸水の被害があったが、復旧済み。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(3) 児童関係施設等の被害状況

大分県日田市の保育所等4施設、中津市の保育所1施設で床上や床下浸水などの被害があったが、このうち、日田市の3施設及び中津市の1施設については、復旧済み。福岡県朝倉市の保育所1施設で給食室に土砂流入の被害あり。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより施設に確認を行い、被害報告無し。

(4) 関係団体への協力要請

一般社団法人日本介護支援専門員協会及び公益社団法人日本介護福祉士会に対し、避難所での活動等について協力を要請。

6 職業能力開発施設関係

(1) 職業能力開発施設の被害状況

福岡県、大分県内の公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設について、被害報告無し。訓練も通常どおり実施。

7 保健・衛生関係

(1) 人工透析

福岡県朝倉市の1透析医療施設で断水しており、給水量の関係で、同施設の外来患者の一部は近隣医療施設で透析を受療。引き続き情報収集に努める。
(各県の透析医療施設数は、福岡県に215、大分県に73)

(2) 被災者の健康管理

① 保健師等の活動

<福岡県>

○ 朝倉市（常勤保健師数15人）

- ・ 7月24日（月）までは、県保健師及び市保健師合計6人で支援を継続する予定。

7月9日（日）（県保健師9人）

7月10日（月）（県保健師7人、福岡市保健師2人）

7月11日（火）～14日（金）（県保健師5人、福岡市保健師2人、久留米市保健師2人）

7月15日（土）以降は、県保健師及び他市（福岡市、久留米市、北九州市、大牟田市）保健師あわせて6人が支援に入る予定。

7月7日（金）から、避難所運営管理のため、福岡市職員10名が支援を実施。

- ・ 避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行うほか、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症予防のために、冷却効果のあるタオルを配布している。

○ 東峰村（常勤保健師数2人）

- ・ 7月24日（月）までは、県保健師及び市保健師合計4人で支援を継続する予定。

7月7日（金）～10日（月）2人、7月11日（火）3人、

7月12日（水）～13日（木）6人、14日（金）8人

7月15日（土）以降は、県保健師4人が支援に入る予定。

- ・ 避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行うほか、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症予防の啓発を防災無線により実施。

○ 福岡県北筑後保健福祉環境事務所

- ・ 朝倉市、東峰村を所管する福岡県北筑後保健福祉環境事務所支援のために、7月7日（金）より県内医師を毎日1名派遣。

<大分県>

- 中津市（常勤保健師数25人）
 - ・ 7月6日（木）から県保健師が支援に入り、7月9日（日）は1名が避難所を巡回し健康相談を実施。
 - ・ 7月11日（火）から要支援者の自宅訪問を実施。
 - ・ 7月11日（火）以降、家屋の消毒等にボランティアが参加するため、県保健師が健康指導（熱中症予防等）を実施。
 - ・ 地域を巡回する保健師より、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防の啓発及びチラシの配布を行っている。

- 日田市（常勤保健師数23人）
 - ・ 7月6日（木）から県保健師が支援に入り、避難所を巡回し健康相談を実施。
 - ・ 7月11日（火）から県保健師に加え、他市町村保健師2～3名が支援に入り、3班6名体制で避難所を巡回し健康相談を実施。
 - ・ 避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行っている。

- 大分県西部保健所
 - ・ 日田市を所管する大分県西部保健所支援のために、7月8日（土）から同月14日（金）まで、医師、保健師、獣医師を派遣。

- ② 7月6日（木）に「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を福岡県及び大分県にメールで送付。

- ③ 7月10日（月）に事務連絡「避難生活を過ごされる方々の深部静脈血栓症／肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防について」において、注意喚起のチラシを別添として、福岡県及び大分県にメールで送付。

- ④ 7月10日（月）に事務連絡「被災住民等の熱中症対策について」において、注意喚起のチラシを別添として、福岡県及び大分県にメールで送付。

- ⑤ 大規模な感染症発生を防ぐため、国立感染症研究所の専門家及び厚生労働省の職員が、福岡県の職員と共に、7月11日（火）に朝倉市及び東峰村の避難所の感染症対策の状況を確認した。衛生環境は概ね良好であるが、アルコール消毒などの手指衛生が十分に行われていない状況も見られたことから、手指衛生の周知を徹底するよう助言を行った。あわせて、がれき撤去時などに起こりうる粉塵等に関しても、マスク・手袋の着用を徹底するよう助言した。

(3) その他

① 保健衛生施設の被害状況

<熊本県>

市町村保健センターにおいて、雨漏り被害の報告が4件あり。復旧済み。

<福岡県・大分県>

現時点で被害報告無し。

② 感染症指定医療機関、病原体管理施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

8 医薬品・医療機器関係

(1) 医薬品卸売販売業・医療機器販売業関係

業界団体に確認したところ、現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害はない。

(2) 輸血用血液製剤

日本赤十字社に確認したところ、現時点では輸血用血液製剤の安定供給等に係る被害はない。

(3) 薬局・薬剤師

【福岡県】

- ・ 床下浸水等の報告が9件（朝倉市8件、大牟田市1件）あり。うち1件（朝倉市）は営業できていない。
- ・ チラシの配布等により、いつも服用している薬が手元になく、薬のことで困っている場合は、医師、薬剤師、保健師等に相談するよう周知を実施中。

- ・福岡県薬剤師会の薬剤師が避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、13日をもって終了。

【大分県】

- ・現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。
- ・大分県薬剤師会の薬剤師が日田市内の避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、9日をもって終了。

(4) 毒物劇物製造（輸入）業における毒物劇物取扱施設関係

- ・現時点で毒物劇物の流出等の被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

9 労働関係

(1) 労働災害発生状況等

- ・現時点で労働災害発生の情報なし（福岡局、大分局）。
- ・災害復旧工事等に当たる労働者等の安全衛生確保のため、防じんマスク、熱中症防止飴等の保安用品について、企業からの無償提供を受けて配布。

(2) 事業場の被災状況

- ・災害救助法の適用となる地域の事業場に対して、被害状況の聞き取り調査を実施中。現時点で休業等の可能性のある事業場は8件。引き続き情報収集すると共に必要な支援を実施。

(3) 労災保険関係

- ・7月6日付 今回の大雨による被害により、労災保険給付請求書における事業主証明や医療機関の証明が受けられなくとも請求書を受理するよう、都道府県労働局に指示。
- ・7月11日付 今回の大雨による被害により、健康管理手帳を提示できない場合でもアフターケアの受診ができる旨の周知を行うこと等を都道府県労働局に指示。
- ・7月13日付 労災給付の振込先金融機関の通帳・キャッシュカードを紛失した場合の取り扱い弾力化につき、厚労省HP内災害特設ページに掲載。

- ・ 7月13日付 労災年金の年金証書を紛失した場合は、再交付申請書の提出で再発行を受けることができる旨、厚労省HP内災害特設ページに掲載。

(4) 福岡労働局の対応状況について

- ・ 福岡労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日（月）から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。現時点の相談件数は115件（雇用保険関係44件、雇用調整助成金24件、休業手当関係14件等）。7月15～7月17日にも相談実施。
- ・ 大雨に伴う事業主及び労働者向けの特例などをまとめたリーフレットを作成し、周知に活用。
- ・ 災害復旧工事の発注機関等に対し労働災害防止対策や熱中症防止対策の徹底を要請（7月11日）。
- ・ 熱中症防止用飴について、配布予定。

(5) 大分労働局の対応状況について

- ・ 大分労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日（月）から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。現時点の相談件数は15件（雇用保険関係3件、労働保険適用等関係2件、雇用調整助成金関係2件等）。7月15～7月17日にも相談実施。
- ・ 大雨に伴う事業主及び労働者向けの特例などをまとめたリーフレットを作成し、周知に活用。
- ・ 災害復旧工事の発注機関等に対し労働災害防止対策や熱中症防止対策の徹底を要請（7月11日）。
- ・ 熱中症防止用飴について、ボランティアセンター、建設業協会、森林組合等を通じて配布（7月14日）。

10 雇用関係

(1) 雇用保険

① 特例的な失業給付の支給

7月5日の災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付（基本手当）を支給する特別措置を実施。

1.1 医療保険関係

- 7月6日付 各都道府県等に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知
※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

- 7月6日付 被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡

1.2 介護保険関係

- 被災した要介護高齢者等への対応について

7月6日付で、福岡県（管内市町村も含む。）及び大分県（管内市町村も含む。）に対して、今般の大雨により被災した要介護高齢者等について、特別な対応（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、介護保険施設等で災害等による定員超過利用が認められていることなど）について周知し、特段の配慮を要請。また、福岡県及び大分県宛発出文書について、各都道府県に対して、周知。

- 7月7日付で、福岡県及び大分県に対して、今般の大雨による災害により、被災した認知症高齢者等及びその家族に対する避難所等における健康管理や生活不活発発病の予防のためのチラシ、家族支援ガイドなどを避難所等へ周知するよう依頼。

- 7月11日付で、各都道府県に対し、被災に伴い被災者が被保険者証等を提示できない場合においても、介護サービスの利用が可能である旨を周知。

- 7月11日付で、各都道府県に対し、避難を要する要介護者等が別の地域の地域密着型サービスを利用する手続きを事後的に行う等柔軟に取り扱うことが可能である旨を周知。

1.3 障害者福祉関係

- 7月6日付で、福岡県及び大分県に対して、被災した要援護障害者等について、市町村より特段の配慮（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いするとともに、被災した視聴覚障害者等への避難所等における情報・コミュニケーション支援について、具体的な方法や配慮等の例を周知。

- 7月7日付で、避難所等で生活する障害児者への配慮事項等について都道府県に周知。

14 児童福祉関係

- 7月7日付で、福岡県、大分県、福岡市及び北九州市に対して、被災した子どもやその家族への支援について、児童相談所においても、関係機関と連携して支援を実施するよう要請。また、災害時における具体的な支援の方法等についても周知。
- 7月7日付で、各都道府県等に対して、保健師・助産師等が避難所等で生活する妊産婦及び乳幼児等を支援する際のポイントについて周知。
- 7月12日付で、各都道府県等に対して、母子健康手帳の交付及び妊産婦、乳幼児に対する健康診査等の各種母子保健サービスについて、被災者から申し出があった場合に、住民票の有無にかかわらず、避難先である自治体において適切に受けられるよう配慮を依頼。
- 7月12日付で、各都道府県等に対して、児童福祉法による助産の実施について、付近に助産施設がない場合等やむを得ない事由があるときは助産施設以外で助産の実施を行っても差し支えないことなどを周知。
- 7月12日付で、公益財団法人母子衛生研究会に対して、避難所等での生活を余儀なくされている被災した妊産婦及び乳幼児に、ミルクなどの必要な支援物資が行き届くよう支援物資の供給について協力を依頼。
- 7月13日付で、各都道府県等に対して、今般の大雨により被災した保育園等の利用世帯について、保育料の減免が可能なこと、また、通常、利用していた保育園等の利用が困難な場合に、他の保育園等において利用定員を超えた受け入れが可能であることを周知するとともに、管内市町村への周知、助言等を依頼。

15 年金関係

- 7月6日付で、各市町村等に対して、災害により被災した被保険者に係る国民年金保険料の免除を行うことができる旨を周知。

16 消費生活協同組合関係

- 7月7日付で、共済事業を行う消費生活協同組合等に対し、被災した共済契約者について、掛金の払込期間の延長や共済金の請求手続きの簡素化等の取扱いが可能な旨を周知。

17 災害ボランティア関係

(1) 福岡県

福岡県社会福祉協議会が災害救援本部を設置（7月5日）。

朝倉市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月7日）。

- ・ボランティア募集開始：7月9日

- ・7月17日までの活動延べ人数：7,041名

添田町社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月10日）。

- ・ボランティア募集開始：7月11日

- ・7月17日までの活動延べ人数：635名

東峰村社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月14日）。

- ・ボランティア募集開始：7月14日

- ・7月17日までの活動延べ人数：1,914名

※人数は速報値であり変動の可能性あり

(2) 大分県

大分県社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月7日）。

日田市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月7日）。

- ・ボランティア募集開始：7月8日

- ・7月17日までの活動延べ人数：2,969名

※人数は速報値であり変動の可能性あり

(3) 厚生労働省及び全国社会福祉協議会

7月6日、福岡県及び大分県に職員を派遣し、県社会福祉協議会と被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置及び運営を支援。

18 関係団体への協力要請

(1) 勤労者退職金共済機構

災害救助法が適用された地域の共済契約者及び被共済者に対し、一般の中小企業退職金共済制度の掛金納付期限の延長手続や、特定業種退職金共済制度の共済手帳等の再発行手続を実施。

事業主等を通じて財形持家融資を受け、災害により返済が困難となった勤労者に対し、その返済負担を軽減するための措置を実施（7月6日）。

(2) 九州労働金庫（九州ろうきん）

預金通帳・証書・届出印を紛失した場合でも本人確認をした上で支払いを行う、被災した勤労者に対する災害復旧資金の融資を取扱う等の対応を実施。

今回の被災の影響により、住宅ローン等の返済が困難となった方に対する相談の実施（7月6日）。

以上

平成29年7月19日7:30

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号による被害と 国土交通省の対応状況（九州）

1. 本省における対応

- 非常体制（平成28年の台風以降、非常体制を継続中）
- 5日18:00 大臣指示、第1回災害対策本部会議
- 7日10:30 大臣指示、第2回災害対策本部会議
- 9日 石井国土交通大臣による現地視察（福岡県、大分県）
- 10日9:30 大臣指示、第3回災害対策本部会議

2. 人命救助・救援活動等

- 海上保安庁による救助・救援活動
 - ・朝倉市、日田市において計40人を救助
 - ・リエゾン等のべ35人・日派遣（3県：福岡県庁、大分県庁、熊本県庁）
 - ・本日、巡視艇・航空機による有明海周辺海域等の被害状況調査実施予定
- 道路啓開等
 - ・東峰村内の県道52号について、福岡県からの要請を受け道路啓開に着手（15日～）。
- 道路の通行可否情報を示した「通れるマップ」を随時作成・公表し、リエゾンを通じて関係機関に周知

3. 被害の全容把握

- リエゾン：2県5市町村15人予定（7/5～のべ254人・日）
- TEC-FORCE：215人が河川、道路等の被災状況調査、道路啓開、土砂災害危険箇所の緊急点検等を実施予定（7/6～のべ2,597人・日）
 - ・福岡県朝倉市、東峰村、添田町、大分県日田市の河川、道路等の約1,100箇所で被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援
 - ・調査結果を朝倉市長（7/10）、東峰村長（7/11、7/16）、日田市長（7/12、7/18）、添田町長（7/13）へ中間報告。添田町の調査が終了し、添田町長へ報告（7/18）
- 災害対策用機械：63台
（排水ポンプ車6、照明車22、散水車16、路面清掃車6、衛星通信車等13）
- 早期の復旧支援、災害復旧の迅速化、技術支援のため本省災害査定官（のべ29人・日）を派遣（7/9～）
- 測量用航空機、UAV（ドローン）等により被害状況を撮影・公表するとともに、調査結果を関係機関へ情報提供
 - ・小野川河道閉塞箇所（7/7）、JR久大線 花月川 橋梁流出箇所（大分県日田市）（7/7）朝倉市内（7/7、7/8、7/11～7/14）、東峰村内（7/8、7/11～7/14）
- 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室、朝倉市、日田市に気象庁職員を派遣して、詳細な気象解説を実施

4. 早期復旧

1) 道路

【補助国道】

○4 路線 4 区間で通行止め

(うち福岡県内の 2 路線 2 区間については緊急車両通行可)

【都道府県道】

○福岡県と大分県内の 24 区間で通行止め (うち福岡県と大分県内の 5 区間については緊急車両通行可)

2) 鉄道

JR 九州の 4 区間 (日田彦山線、久大線) が運転休止中。日田彦山線については、被災状況の調査を実施中。久大線については、花月川橋りょうの復旧方法を検討中

○JR九州 日田彦山線

・運転休止区間：添田駅～夜明駅 (29.2 km)

※彦山駅～筑前岩屋駅間：釈迦岳トンネル土砂流入

大行司駅～宝珠山駅間：大行司駅駅舎倒壊、福井橋りょう盛土・軌道流失

宝珠山駅～大鶴駅間：盛土流失

○JR九州 久大線

・運転休止区間：光岡駅～日田駅 (2.4 km)

※光岡駅～日田駅間：花月川橋りょう流失

バスによる代行輸送 (光岡駅～日田駅) を実施 (7/18～)

花月川橋りょうの流失により運休中の特急「ゆふいんの森」は、経由する路線を変更して臨時運行 (7/15～)

3) 河川

○国管理河川

・3 水系 4 河川 25 カ所で溢水等が発生 (浸水は全て解消)

・4 水系 7 河川 40 カ所で堤防洗掘、護岸損壊等が発生。被災規模が大きい 4 カ所全てについて、7 月 14 日迄に緊急復旧完了

○県管理河川

・福岡県、大分県等管理の 3 水系 27 河川で堤防決壊、溢水等が発生

・10 水系 63 河川で堤防決壊、護岸損壊等が発生。福岡県管理の 3 河川で緊急復旧に着手、そのうち 2 河川で完了

4) 土砂災害

○6 県で 122 件の土砂災害が発生

○福岡県、大分県の甚大な被害を受けた地域において、土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施中。土砂災害危険箇所等の約 1,300 箇所 (朝倉市、東峰村、日田市、中津市) の内、約 990 箇所現地調査完了

○大分県日田市小野地区

・7 月 6 日午前 10 時頃、地すべりによる河道閉塞が発生

平成 29 年 7 月 19 日 7:30

- ・大分県からの要請により、土砂災害、斜面に関する専門家を現地に派遣（7/6、7/8、7/13）
- ・専門家から大分県及び日田市長へ状況説明・技術的助言を実施。助言に基づき、監視カメラや伸縮計等による斜面の変動や、湛水池の水位等の監視を実施中（15日17時30分に避難指示を避難準備・高齢者等避難開始へ変更）
- 朝倉市、東峰村、日田市等へ専門家を派遣し、二次災害の危険性等について調査し、関係機関へ技術的助言を提供（7/6、7/8～）

5) 流木・土砂等への対応

- 福岡県知事からの要請を受け、土砂や流木の堆積が著しく、二次災害の恐れがある筑後川水系赤谷川等で、国土交通省が権限代行により緊急的に土砂・流木の除去を実施（7/18～）
- 本日19日、砂塵飛散対策のため散水車16台、路面清掃車6台を活動予定（7/14～）
- 国土交通省は、筑後川本川及び二次災害防止のため県管理河川等に堆積する流木等の除去に着手（7/14～）
 - ※ 県管理河川等実施箇所 筑後川水系赤谷川 朝倉市杷木林田地先
- 福岡県が査定前着工として県管理河川4箇所の流木除去を実施（7/7～）
- 早期の復旧支援、災害復旧の迅速化、技術支援のため本省災害査定官（のべ29人・日）を派遣（7/9～）【再掲】
- 関係自治体に対し、災害復旧事業の査定前着工として流木除去が可能であることを周知徹底（7/9、7/12）
- 国土交通省と福岡県が合同で赤谷川等の流木堆積状況を緊急調査（7/13）
- 国土地理院は、防災ヘリで撮影した写真から流木が堆積した箇所を判読した「流木堆積箇所判読図」を作成、公開及び関係機関へ提供（7/11）
- 九州地整を通じ、被災自治体に対し、宅地に堆積した土砂、流木等の運搬排除費用を補助する堆積土砂排除事業をあらためて周知（7/7、7/11）
- 海域における流木等漂流物の回収
 - ・有明海及び周防灘において海洋環境整備船3隻及び港湾業務艇・調査船3隻により漂流物を回収（流木868本、漂流物407m³）。現時点で船舶航行への支障無し（7/6～）
- 佐賀県において、有明海の東与賀海岸外2海岸（水管理・国土保全局所管）に漂着した流木等の回収処理作業を実施（7/14～）

5. 支援

- 避難所の状況（消防庁 7/19 8:00）
 - 福岡県 745名（朝倉市 710、東峰村 35）、大分県 81名（日田市）
- 二次的避難所の確保
 - ・福岡県と福岡県旅館ホテル生活衛生同業組合との協定に基づき、同組合員の旅館、ホテル等において、要配慮者への無料の宿泊提供開始（7/11～）

平成 29 年 7 月 19 日 7:30

○住まいに関する支援

- ・ 公営住宅等の空室提供について、福岡県及び大分県内の複数の自治体において、相談窓口設置や提供開始の報告あり。また、九州各県の他の自治体に対しても同様の対応を依頼済み
- ・ 民間賃貸住宅の空室提供について、福岡県から協力要請を受けた不動産業界団体において、被災者からの相談を受付。大分県においても、不動産業界団体に情報提供を依頼済み
- ・ 福岡県において、朝倉市及び東峰村からの要請を受け、応急仮設住宅を建設する方針を決定
- ・ (独)住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度により、低利な融資の受け付けを開始

○災害救助（救援物資輸送、ボランティアを含む）等に従事する車両（災害派遣等従事車両証明書を所持する車両）に対して、高速道路の無料通行措置を実施（7/7～）

○権利利益の保全のための支援

- ・ 福岡県及び大分県の一部地域に使用の本拠地を有する車両について、自動車検査証の有効期間を8月5日まで延長

※速報値であるため、今後変更等の可能性があります

- 九州、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局、国土地理院から派遣されたTEC-FORCE(7/6～のべ2,597人・日)が河川・道路の被害状況調査、道路啓開など、2県11市町村において活動。19日は、215人が活動予定。
- 18日までに福岡県朝倉市、東峰村、添田町、大分県日田市の河川、道路等の約1,100箇所ですり出し、ヘリ等を活用して被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援。
- 調査結果を朝倉市長(10日)、東峰村長(11日)、日田市長(12日)、添田町(13日)へ中間報告。
- 国道211号において4.5kmを道路啓開を実施し、14日13時に道路啓開が完了し、全線で緊急車両の通行が可能。
- 東峰村内の県道52号について、福岡県からの要請を受け道路啓開を実施。(15日～)

【TEC-FORCEの活動状況】

福岡県朝倉市(22班 91人 7/19)

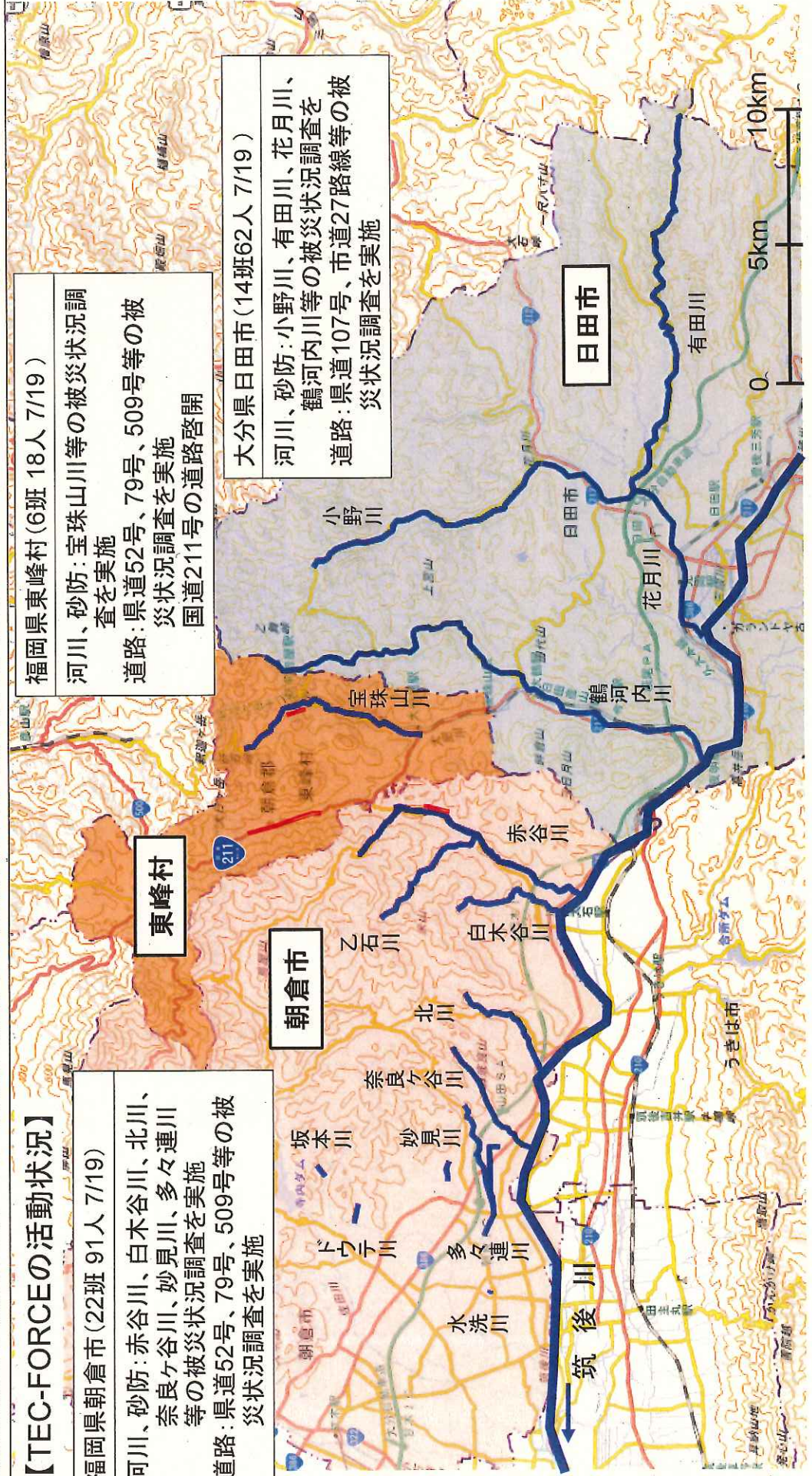
河川、砂防: 赤谷川、白木谷川、北川、奈良ヶ谷川、妙見川、多々連川等の被災状況調査を実施
道路: 県道52号、79号、509号等の被災状況調査を実施

福岡県東峰村(6班 18人 7/19)

河川、砂防: 宝珠山川等の被災状況調査を実施
道路: 県道52号、79号、509号等の被災状況調査を実施
国道211号の道路啓開

大分県日田市(14班62人 7/19)

河川、砂防: 小野川、有田川、花月川、鶴河内川等の被災状況調査を
道路: 県道107号、市道27路線等の被災状況調査を実施



福岡県朝倉市におけるテックフォースの活動状況

※速報値であるため、今後変更等の可能性があります。

福岡県朝倉市

○被災状況調査

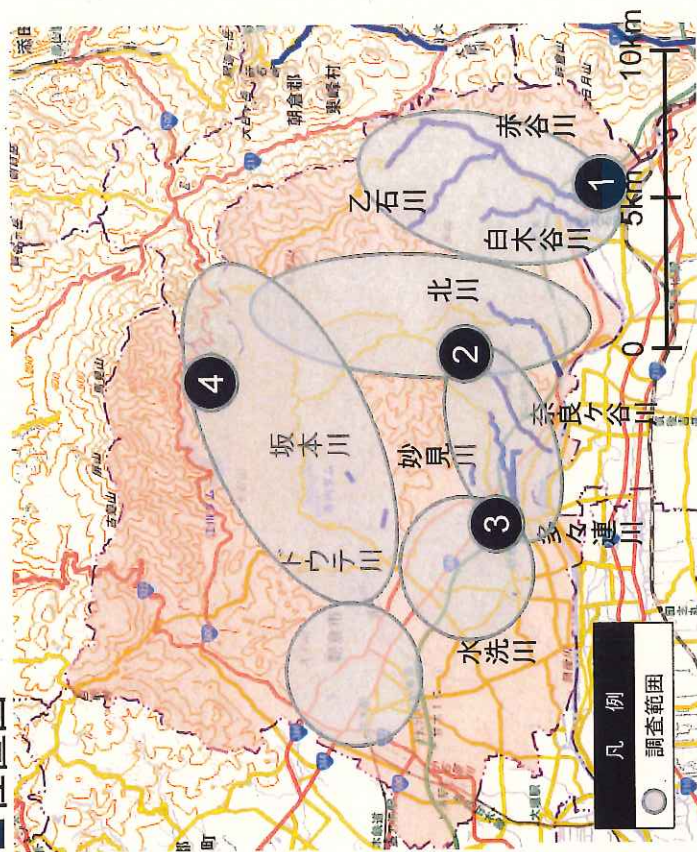
河川、砂防：赤谷川、白木谷川、北川、奈良ヶ谷川、妙見川、多々連川等
 道路：県道52号、79号、509号等

■調査結果(7月19日現在)

・福岡県朝倉市内の河川・溪流、県道・市道等において、法面崩壊、落橋、護岸損傷など、河川・道路等の約360箇所が被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援。

・市長に中間報告(10日)。

■位置図



1 流木堆積状況緊急調査(13日)



2 奈良ヶ谷川の被災(護岸・道路)状況(8日)



3 朝倉市北比良松中付近の被災状況(9日)



4 県道509号の被災状況(9日)



朝倉市長に調査結果を中間報告(10日)

福岡県東峰村におけるテックフォースの活動状況

※速報値であるため、今後変更等の可能性があります。

福岡県東峰村

○被災状況調査

河川、砂防：宝珠山川等
 道路：県道52号、79号、509号等
 ○道路啓開

国道211号の通行止めめの4.5kmなどを啓開完了。現在、県道52号を啓開中。

■調査結果(7月19日現在)

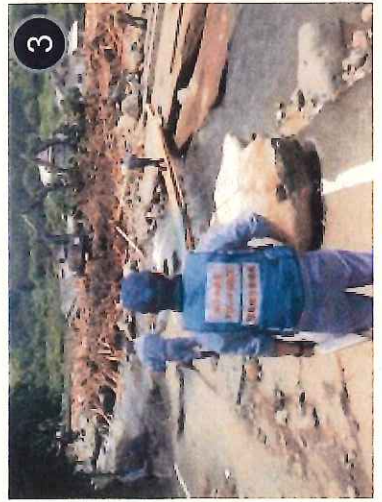
・福岡県東峰村内の河川・溪流、県道・村道等において、斜面崩落、橋梁の流失など、河川・道路等の約150箇所で被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援。
 ・村長に中間報告(11日)。

■被災状況



1

福井地区の被災状況(11日)



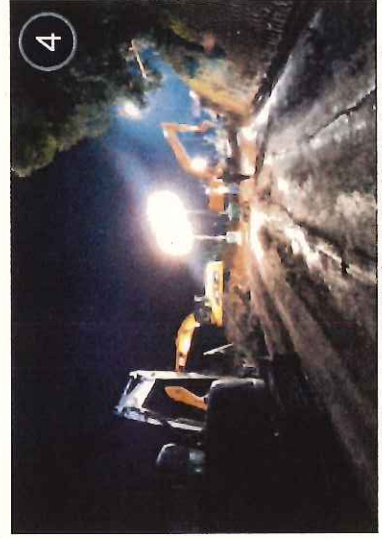
3

宝珠山地区の橋梁流失状況(11日)



2

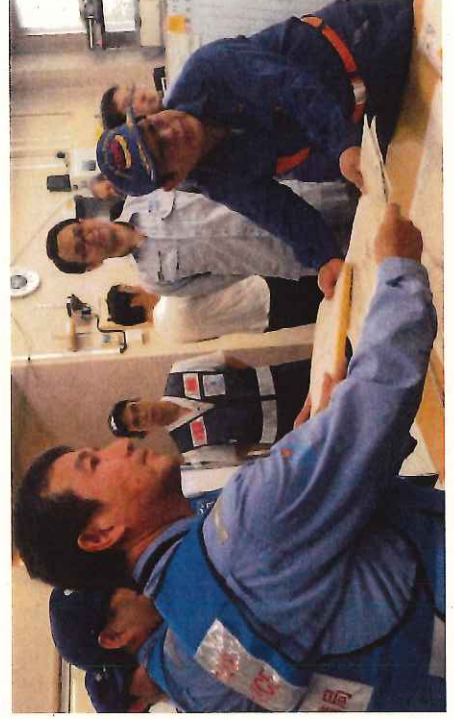
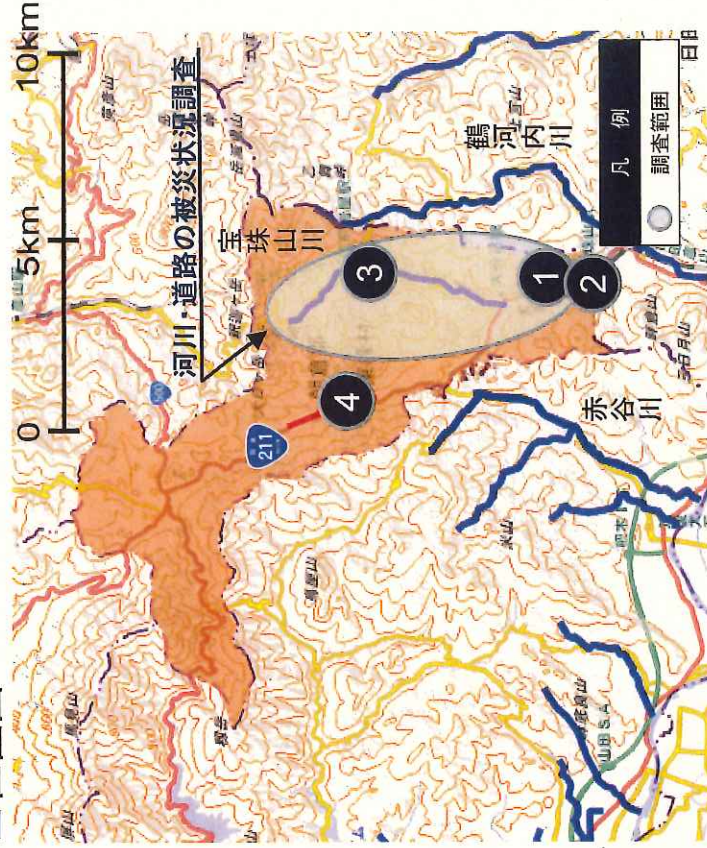
安倍総理、高市総務大臣へ活動報告(12日)



4

国道211号道路啓開状況(11日)

■位置図



東峰村長に調査結果を報告(11日)

大分県日田市におけるテックフォースの活動状況

※速報値であるため、今後変更等の可能性があります。

大分県日田市

○被災状況調査

河川、砂防：小野川、有田川、花月川、鶴河内川等
道路：県道107号、市道27路線等

■調査結果(7月19日現在)

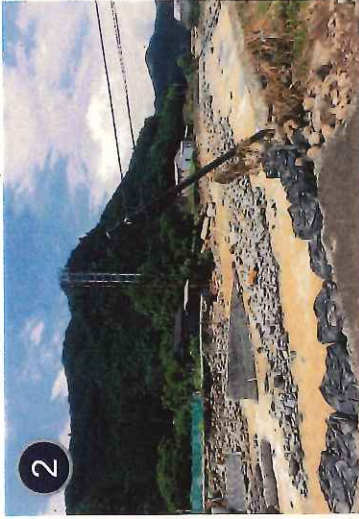
- ・日田市内の河川・溪流、県道・市道等において、橋梁の流失、護岸・法面崩落など、河川・道路等の約600箇所で被害状況調査を行い、災害復旧に向けたとりまとめを支援。
- ・市長に中間報告(12日)。

■被災状況



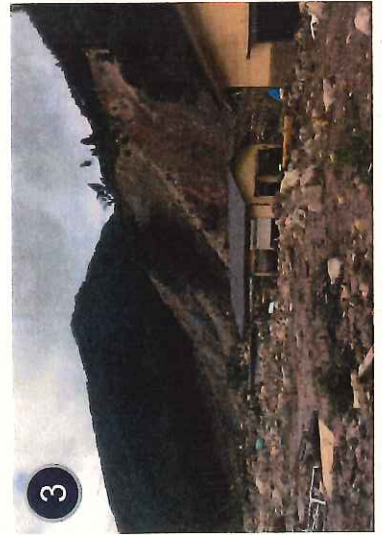
1

鶴河内川の被災(落橋)状況(9日)



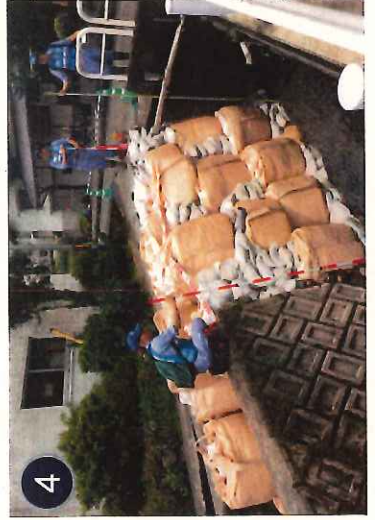
2

花月川の被災状況(11日)



3

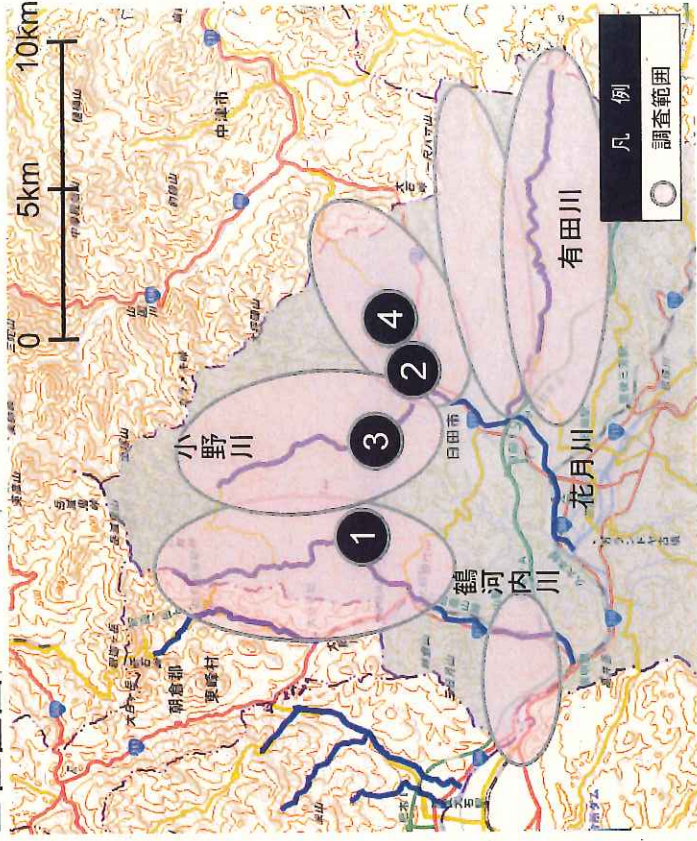
小野川の被災状況(10日)



4

花月川の被災状況(13日)

■位置図



日田市長に調査結果を報告(12日)

九州北部の豪雨におけるTEC-FORCE等の主な活動状況

※速報値であるため、今後変更等の可能性があります。



④国道211号の道路再開状況（東峰村）（7月8日）



⑥宝珠山川中尾橋の応急復旧検討（東峰村）（7月9日）



⑤奈長ヶ谷川の被害状況調査（朝倉市）（7月8日）



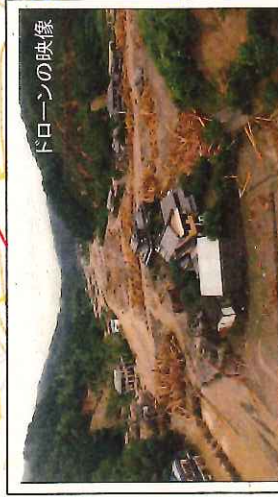
①東峰村岩屋地区の土砂災害の被害状況調査（7月8日）



⑦日田市小野地区の斜面崩壊状況調査（小野川で河道閉塞が発生）（7月7日）



③河川・道路の被害状況調査（朝倉市）（7月8日）※写真は県道62号



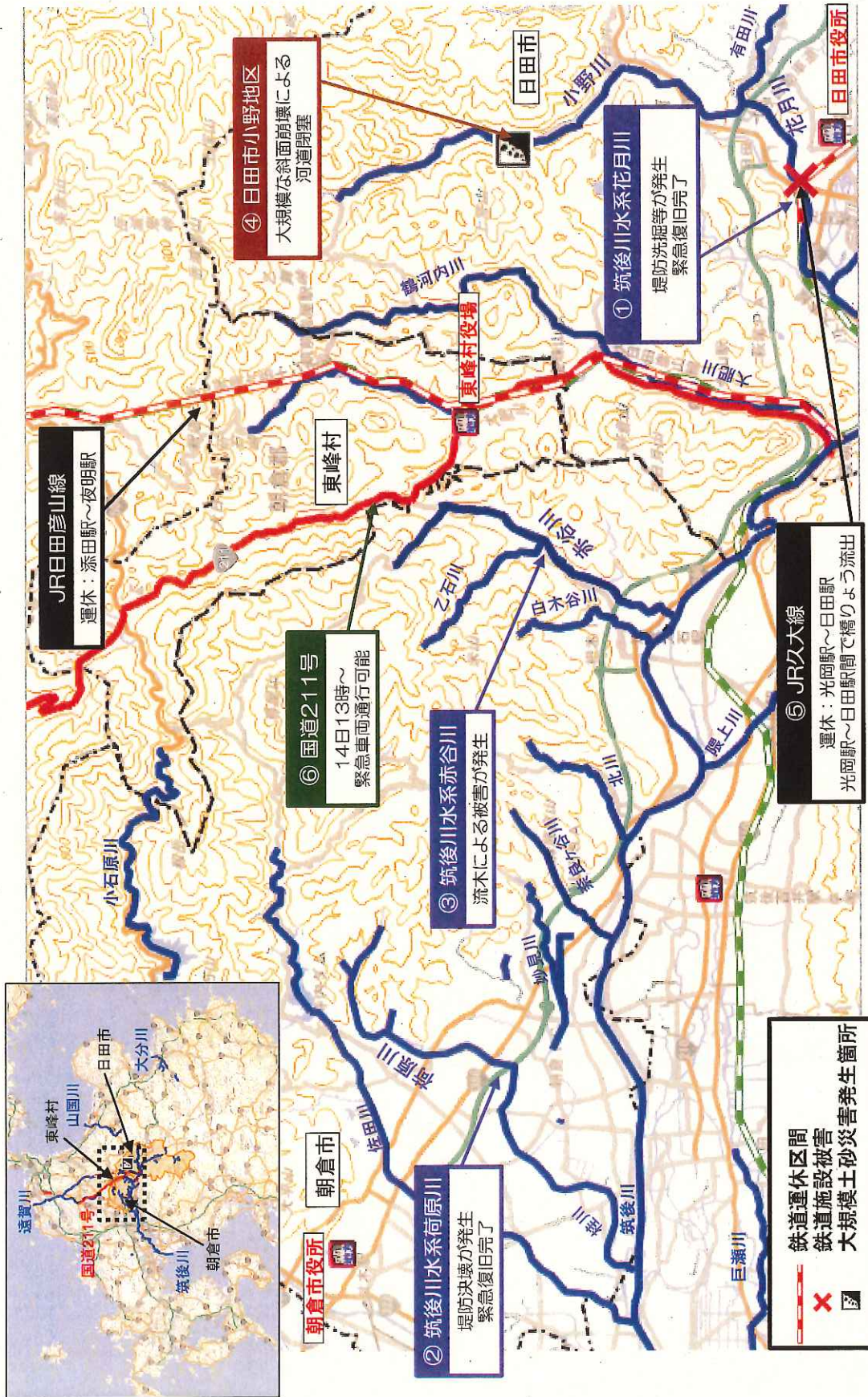
②赤谷川の被害状況をドローン調査（朝倉市）（7月7日）

■ TEC-FORCEの派遣状況（7月19日速報値）
東峰村、朝倉市、日田市 42班 171人

東峰村	被災状況調査班	6班	18人
	被災状況調査班	2班	8人
	応急対策班	2班	5人
	現地支援班等	2班	5人
朝倉市		22班	91人
	被災状況調査班	17班	74人
	応急対策班	2班	9人
	現地支援班等	3班	8人
日田市		14班	62人
	被災状況調査班	13班	59人
	応急対策班	0班	0人
	現地支援班等	1班	3人

福岡県・大分県等の大雨による被害状況等について

7/19 7:30作成



【河川】国管理：3水系4河川で溢水等が発生。4水系7河川で堤防洗掘、護岸損壊等が発生。県管理：福岡県、大分県等管理の3水系27河川で堤防決壊、溢水等が発生。10水系63河川で堤防決壊、護岸損壊等が発生。

【道路】補助国道：4路線4区間(国道211号、212号、496号、500号)で通行止め。県道：福岡県、大分県の24区間で通行止め。

【土砂災害】6県(福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、長崎県)で122件の土砂災害が発生。



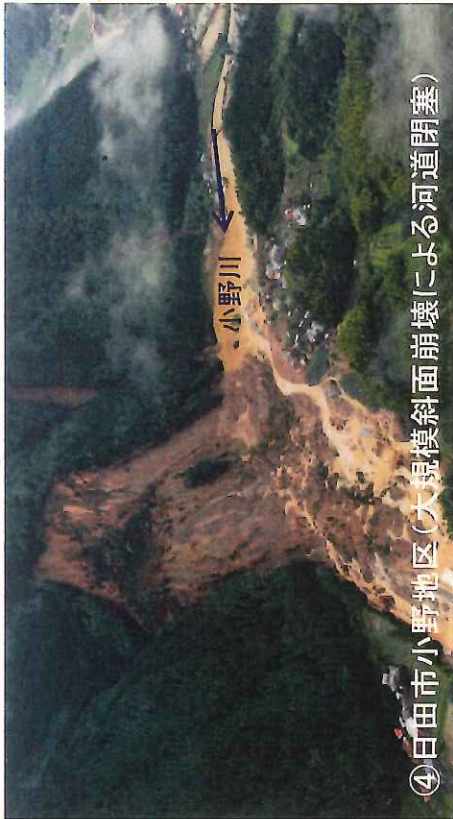
①花月川(堤防決壊箇所の緊急復旧(完了))



②荷原川(堤防決壊箇所の緊急復旧(完了))



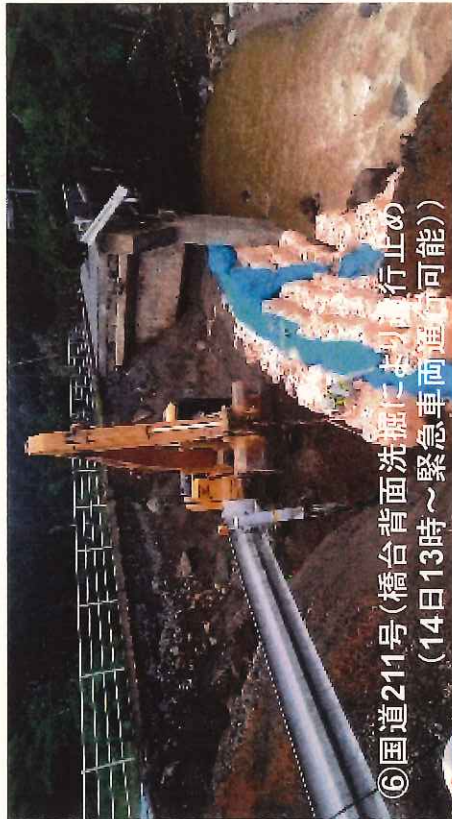
③赤谷川(流木による被害が発生)



④日田市小野地区(大規模斜面崩壊による河道閉塞)



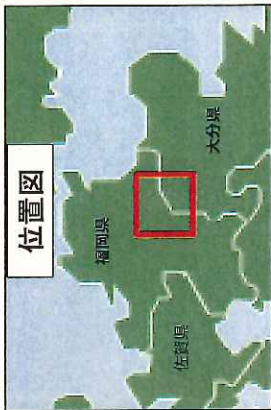
⑤JR久大線花月川橋梁(洪水により橋梁が流出)



⑥国道211号(橋台背面洗掘により通行止め(14日13時～緊急車両通行可能))

九州北部地方の豪雨による道路関係の被災等状況

○ 7月5日からの九州北部地方の豪雨により、最大117区間の国道・県道が被災し通行止が発生。
 特に福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市を通る補助国道や県道に被害が集中。
 ○ 現時点では、28区間（補助国道4区間、県道24区間）で通行止め。（7月19日6:00現在）
 このうち7区間（国道211号、国道500号、大分県道107号等）については緊急車両通行可。



位置図



県道590号 朝倉市佐田 土砂崩落 (撮影 7月12日)



国道211号 東峰村福井 鼓川橋 橋台背面洗掘(啓開済み) (撮影 7月9日)



県道52号 東峰村宝珠山 河川氾濫による道路損壊 (撮影 7月14日)

【凡例】

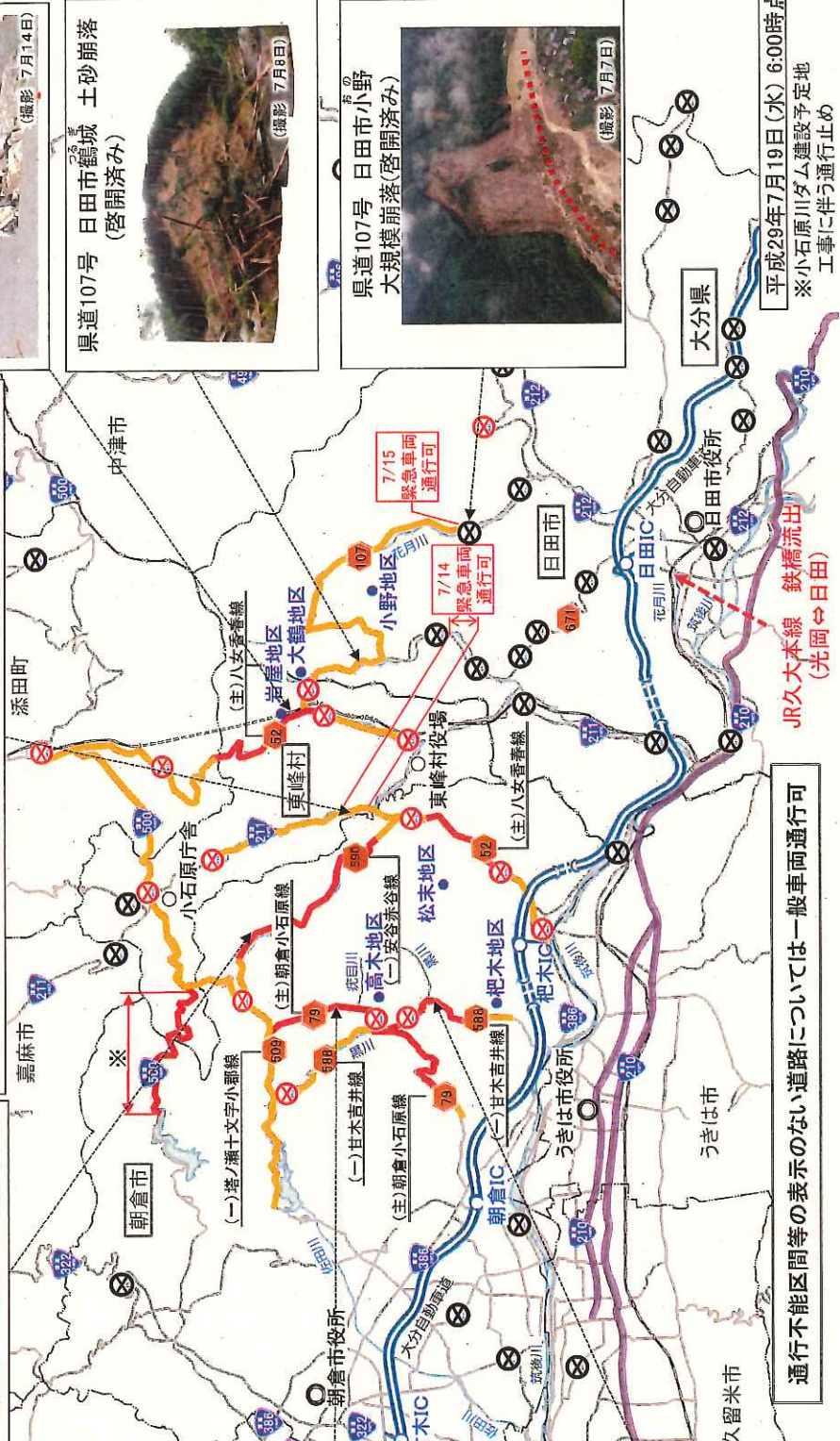
- 通行不能区間
- 緊急車両通行可能区間
- 全面通行止箇所
- 全面通行止解除箇所



県道79号 朝倉市黒川 被災状況調査 (撮影 7月13日)



県道588号 朝倉市杷木志波 被災状況調査 (撮影 7月12日)



平成29年7月19日(水) 6:00時点
 ※小石原川ダム建設予定地
 工事に伴う通行止め

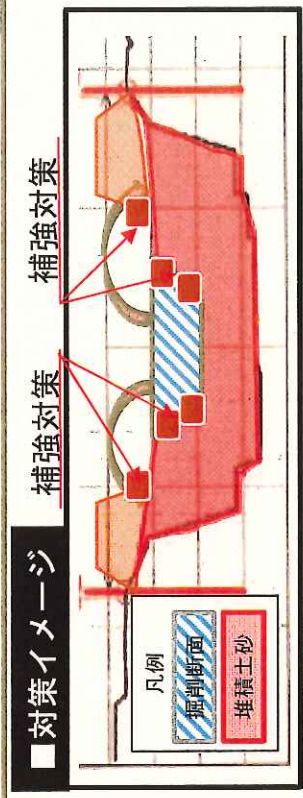
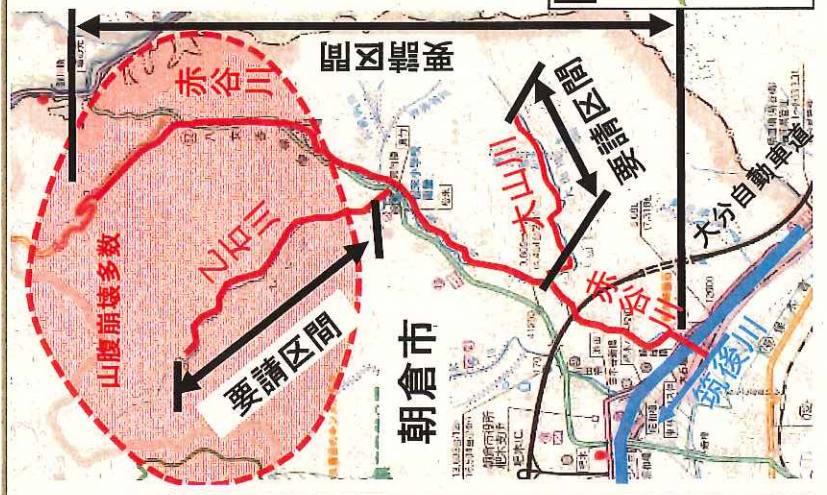
通行不能区間等の表示のない道路については一般車両通行可
 JR久大本線 鉄橋流出 (光岡⇄日田)

権限代行による福岡県管理河川の土砂・流木の除去について

あかたに おおやま おとしし
赤谷川、大山川及び乙石川では、大量の土砂や流木により河道が埋塞。

- ・二次災害が発生するおそれ極めて高い状況であり、通常の雨を安定して流せるような流路を緊急対応として確保。
- ・堆積土砂は流動性が高いため、雨天時における流路の変化を予測し家屋等に影響がないよう元の河道内へ導くなどの対応を図っていく必要があり、**国土交通省が有する高度な技術力が必要。**

7/14(金)知事から地整局長へ要請。7/18(火)大臣から実施する旨公表。



※対策は現地状況に応じて実施



海洋環境整備船による 流木等回収状況

海洋環境整備船「がんにりゅう」
(基地港:北九州港)



海洋環境整備船「海輝」
(基地港:熊本港)



海洋環境整備船「海煌」
(基地港:八代港)



「がんにりゅう」の多関節クレーンによる流木(最大約14m)の回収

九州地整「がんにりゅう」 中国地整「おんど2000」 四国地整「いしづち」

■流木等回収量
(7月6日から7月17日)
流木回収量 : 532本
草類等回収量: 208m3
(7月18日)
流木回収量 : 17本
草類等回収量: 0m3

九州地整「海輝」,「海煌」

■流木等回収量
(7月6日から7月17日)
流木回収量 : 318本
草類等回収量: 199m3
(7月18日)
流木回収量 : 1本
草類等回収量: 0m3



海洋環境整備船「おんど2000」
(基地港:呉港)
呉港で待機中



海洋環境整備船「いしづち」
(基地港:松山港)
松山港で待機中



- :「がんにりゅう」管轄区域(周防灘、響灘)
- :「海輝」・「海煌」管轄区域(有明海、八代海等)
- :「おんど2000」管轄区域(瀬戸内海)
- :「いしづち」管轄区域(瀬戸内海)

参考:「がんにりゅう」、「海輝」、「海煌」とも7月6日より回収実施
「おんど2000」は7月13～15日周防灘にて回収実施
「いしづち」は7月16日周防灘にて回収実施

台風第3号及び梅雨前線による大雨 における 災害廃棄物対策について

環境省環境再生・資源循環局
災害廃棄物対策室

環境省の災害廃棄物に関する取り組み状況（H29/7/19時点）

体制整備

- 環境省災害対策チームを設置（7月5日夜）
- 九州地方環境事務所に災害対策本部を設置（7月6日朝）

現地への人員派遣及び技術的助言

- 福岡県災害対策本部に九州地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の専門家を派遣（7月6日）
- 福岡県朝倉市（7月6日～）及び福岡県東峰村（7月10日～）に現地支援チームを常駐させ、福岡県と連携して被災状況の確認、仮置場の確保、災害廃棄物の分別、適正処理に関する支援を実施
- 朝倉市、東峰村で処理しきれない可燃物の広域処理の調整を行い、福岡市、北九州市及び久留米市に受入れ実施。

被災自治体	福岡市	北九州市	久留米市
朝倉市	7/13～	7/13～	-
東峰村	7/15～	-	7/17～

- 大分県中津市、日田市に九州地方環境事務所職員を派遣し、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施。（7月12日）

流木等の課題への対応

- 補助金の活用、仮置場設置を含めた災害廃棄物処理技術に関する情報を提供
- 被災市町村が仮置場を確保し、災害廃棄物の受入れを開始（大分県日田市は7日～、福岡県朝倉市・東峰村、大分県中津市は9日～）
- 流木等処理に関する関係省庁課長会議に本省担当課長が参画。現地では、流木等処理現地対策チームに環境省福岡事務所長が参画するとともに、環境省現地支援チームが流木に関して関係省と連携して支援を実施予定



現地支援チームによる福岡県朝倉市への技術的助言



災害廃棄物の仮置場設置状況（福岡県朝倉市 7月9日時点）

災害廃棄物の広域処理

(広域処理の必要性)

○朝倉市・東峰村は自力での処理が難しいと判断し、環境省および福岡県を通じ、福岡市・北九州市・久留米市に広域処理の応援を要請

環境省が調整を行った主な広域処理



朝倉市から福岡市へ災害廃棄物を運搬する車両への積み込み状況

○朝倉市の広域処理

福岡市：(日量最大100トン※、7/13～)
北九州市：(日量50トン程度、7/13～)

※東峰村と合わせて



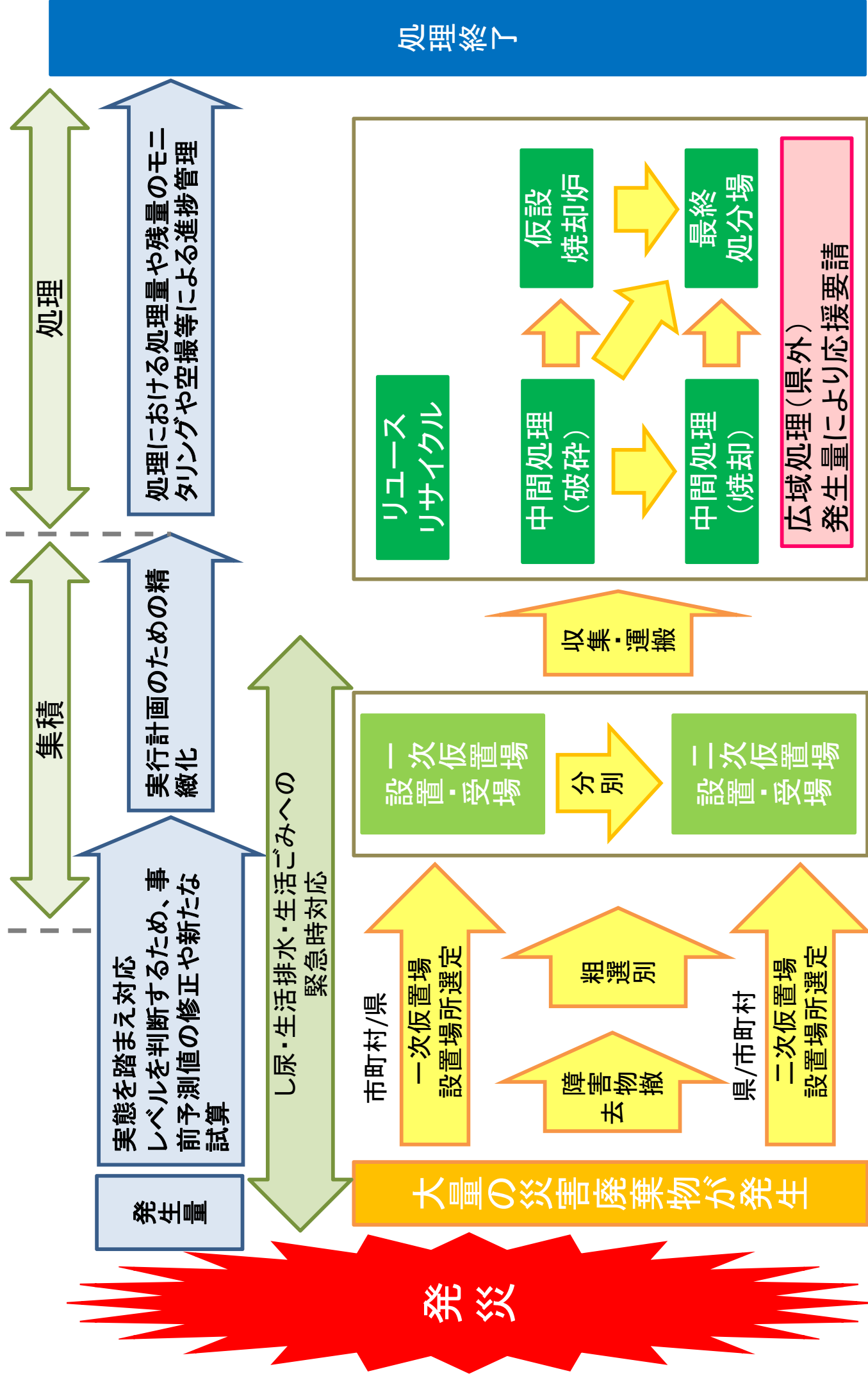
朝倉市から北九州市へ災害廃棄物を運搬する車両

○東峰村の広域処理

福岡市：(日量最大100トン※、7/15～)
久留米市：(日量16トン程度、7/17～)

※朝倉市と合わせて

災害廃棄物の処理フロー

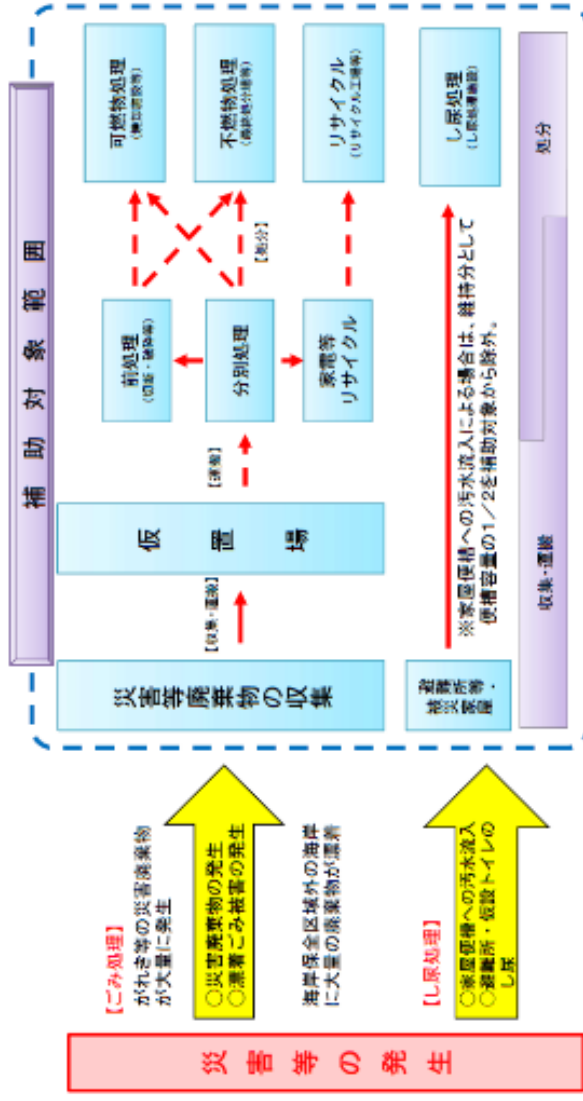


災害廃棄物処理事業の概要について

災害等廃棄物処理事業費補助金



- 災害のために実施した廃棄物の収集、運搬及び処分
- 災害に伴って便槽に流入した汚水の収集、運搬及び処分
- 仮設便所、集団避難所等から排出された、し尿の収集、運搬及び処分(災害救助法に基づく避難所の開設期間内に限る)



市町村(一部事務組合、広域連合、特別区を含む)

〔政令指定都市:事業費80万円以上
その他の市町村:事業費40万円以上〕

〔降雨:最大24時間雨量が80mm以上によるもの
暴風:最大風速(10分間の平均風速)15m/sec以上のもの
高潮:最大風速15m/sec以上の暴風によるもの〕

地震:異常な天然現象によるもの(震度基準なし)
積雪:過去10年間の最大積雪深平均値超且つ1m以上
その他:異常な天然現象によるもの等

1/2

- ＜通常災害時＞
 - 地方負担の80%について特別交付税措置
- ＜激甚災害時＞
 - 激甚災害による負担が一定の水準を超えた市町村にあっては、残りの20%について特別交付税措置とし、その元利償還金の57%について特別交付税措置

◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律
第22条 国は、政令で定めるところにより、市町村に対し、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部を補助することができる。

災害等廃棄物処理事業費補助金

災害等廃棄物処理事業は、市町村(一部事務組合・広域連合を含む)が災害その他の事由のために実施した廃棄物の収集・運搬及び処分に係る事業であり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定に基づき、市町村に対し国庫補助を行うものである。

	通常災害 (右記以外)	激甚災害
対象の 市町村	被災市町村	<u>激甚災害による負担が 一定の水準を超えた市町村</u>
国庫補助率	1/2	1/2
地方財政措置	地方負担分の80%について特別交付税措置	左記に加え、 さらに残りの20%について、 <u>災害対策債により対処 することとし、その元利償還金の57%について特別 交付税措置</u> ※起債充当率100%
	最大90%	最大95.7%

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨 及び平成29年台風第3号による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成29年7月19日
8時30分現在
内閣府

1 気象状況（気象庁情報：7月19日7:00現在）

(1) 気象の概況と見通し

【概況】

- 梅雨前線や台風第3号の影響により、九州北部地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り、大雨となった。特に、7月5日から6日にかけては、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響で、九州北部地方で記録的な大雨となった。
- これまでの1時間の最大雨量は、福岡県朝倉（あさくら）で129.5ミリ、長崎県芦辺（あしべ）で93.5ミリ、高知県大柵（おおどち）と大分県日田（ひた）で87.5ミリの1時間降水量を観測するなど猛烈な雨となったところがある。
- これまでの24時間の最大雨量は、福岡県朝倉で545.5ミリ、長崎県芦辺で432.5ミリ、大分県日田で370.0ミリとなるなど、九州北部地方では350ミリを超える記録的な大雨となっている地域がある。

【見通し】

- 九州北部地方は、今日19日は、湿った空気の影響により、概ね曇りで、雷を伴って非常に激しい雨の降る所がある見込み。
明日20日は、高気圧に覆われ概ね晴れるが、午後は日射や湿った空気の影響により曇りや雨となり、雷を伴って激しい雨の降る所がある見込み。
明日20日06時までの24時間雨量（多い所）は、福岡県筑後地方で50ミリ、大分県西部で40ミリの見込み。
- 向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いが、期間のはじめと終わりは気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすい見込み。
- 竜巻などの激しい突風や急な強い雨、落雷に注意。すでに災害が発生している地域では、少しの雨でも危険な状況となるおそれがあることに留意。
- 九州北部地方では、気温の高い日が続いている。今日19日も高温が予想されるため、熱中症など健康管理に注意。

(2) 大雨等の状況（6月30日0時～7月10日24時）

・主な1時間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	129.5ミリ	5日15時38分まで
長崎県	壱岐市	芦辺	93.5ミリ	30日0時02分まで
高知県	香美市	大柵	87.5ミリ	1日3時50分まで
大分県	日田市	日田	87.5ミリ	5日18時44分まで
静岡県	静岡市駿河区	静岡	84.5ミリ	4日21時42分まで

島根県	浜田市	波佐	82.0 ミリ	5日 2時 45分まで
長崎県	南島原市	口之津	82.0 ミリ	6日 6時 35分まで
熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫	81.5 ミリ	4日 10時 23分まで
鹿児島県	鹿児島郡十島村	平島	78.0 ミリ	5日 10時 22分まで
茨城県	常総市	常総	72.5 ミリ	4日 22時 14分まで

・主な24時間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	545.5 ミリ	6日 11時 40分まで
長崎県	壱岐市	芦辺	432.5 ミリ	30日 6時 20分まで
大分県	日田市	日田	370.0 ミリ	6日 10時 50分まで
島根県	浜田市	波佐	369.5 ミリ	5日 10時 50分まで
島根県	浜田市	弥栄	351.0 ミリ	5日 10時 50分まで
広島県	山県郡北広島町	八幡	329.0 ミリ	5日 10時 50分まで
佐賀県	杵島郡白石町	白石	328.5 ミリ	6日 22時 30分まで
熊本県	上益城郡山都町	山都	302.0 ミリ	7日 4時 00分まで
鹿児島県	鹿屋市	吉ヶ別府	295.0 ミリ	8日 12時 50分まで
大分県	中津市	耶馬溪	292.5 ミリ	6日 8時 40分まで

・主な期間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	660.0 ミリ
長崎県	壱岐市	芦辺	567.5 ミリ
熊本県	上益城郡山都町	山都	522.0 ミリ
大分県	日田市	日田	500.0 ミリ
熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫	489.5 ミリ
熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山	485.0 ミリ
佐賀県	杵島郡白石町	白石	480.0 ミリ
島根県	浜田市	波佐	476.5 ミリ
島根県	浜田市	弥栄	474.0 ミリ
長野県	北安曇郡白馬村	白馬	472.5 ミリ

(3) 強風の状況（6月30日0時～7月5日24時）

・主な風速（アメダス観測値）

高知県	室戸市	室戸岬	38.4m/s	(南西)	4日 14時 51分
東京都	三宅村	三宅坪田	29.1m/s	(南南西)	4日 22時 24分
長崎県	長崎市	野母崎	27.2m/s	(南東)	4日 7時 24分
東京都	神津島村	神津島	25.1m/s	(南西)	4日 22時 19分
沖縄県	石垣市	盛山	23.5m/s	(南)	3日 1時 50分
長崎県	雲仙市	雲仙岳	23.2m/s	(西北西)	4日 9時 15分
熊本県	宇城市	三角	23.1m/s	(南西)	4日 9時 02分
大分県	佐伯市	蒲江	22.8m/s	(南)	4日 11時 19分
沖縄県	石垣市	石垣島	22.2m/s	(南西)	3日 1時 58分
和歌山県	東牟婁郡串本町	潮岬	20.9m/s	(西南西)	4日 17時 30分

・主な瞬間風速（アメダス観測値）

高知県	室戸市	室戸岬	45.0m/s	（南西）	4日14時49分
長崎県	雲仙市	雲仙岳	42.1m/s	（西北西）	4日9時08分
長崎県	長崎市	野母崎	41.6m/s	（南東）	4日7時23分
熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山	41.1m/s	（南南西）	4日10時07分
東京都	三宅村	三宅坪田	37.0m/s	（南南西）	4日22時16分
大分県	佐伯市	蒲江	36.8m/s	（南）	4日11時13分
熊本県	宇城市	三角	36.0m/s	（南西）	4日8時59分
東京都	神津島村	神津島	34.5m/s	（南西）	4日22時14分
熊本県	天草市	本渡	32.7m/s	（南）	4日8時18分
和歌山県	東牟婁郡串本町	潮岬	32.5m/s	（西南西）	4日17時26分

2 人的・物的被害の状況（消防庁情報：7月19日8:00現在）

(1) 人的・物的被害

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者 人	行方不明者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	公共建物 棟	その他 棟
			重傷 人	軽傷 人							
福島県									1		
茨城県									7		
千葉県									3		
新潟県			1	1			2	3	51		
富山県								2	15		
石川県							1		13		
長野県							1				
岐阜県							3	1	23		
静岡県				2							
愛知県							2	4	6		
和歌山県				1							
鳥根県				1		1	2	9	55		1
広島県	2						1	4	21		
愛媛県				1							
福岡県	31		2	8	87	23	41	48	165		8
佐賀県							1	1	71		
長崎県									6		
熊本県				5			7	6	25		
大分県	3		2	4	15	11	24	99	160		13
合計	36		5	23	102	35	85	177	622		22

《死者の状況》

【広島県】（7月4日から5日の大雨による被害）

- ・1名（広島市：90歳代男性を鈴張川で発見し、死亡を確認（7月5日））
- ・1名（北広島町：60歳代男性。7月12日に土師ダムで発見された男性の身元が判明）

【福岡県】

〈朝倉市〉

- ・ 1名(杷木林田：60歳代男性を発見し、死亡を確認(7月6日))
- ・ 2名(山田：80歳代男性及び80歳代女性を発見し、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(宮野：70歳代男性を発見し、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(杷木星丸：20歳代男性を発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 3名(黒川：60歳代女性、20歳代女性、男児を消防隊が発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 1名(杷木林田：50歳代女性を消防団員が発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 1名(杷木林田：30歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月7日))
- ・ 1名(杷木松末：90歳代女性を消防隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(杷木松末：80歳代女性を消防隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(杷木池田：60歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(中：60歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月9日))
- ・ 1名(山田：80歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月9日))
- ・ 1名(杷木松末：70歳代男性を消防隊及び自衛隊が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(有明海：70歳代男性。有明海で発見された男性の身元が判明(7月10日))
- ・ 1名(杷木久喜宮：90歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(杷木志波：60歳代男性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月10日))
- ・ 1名(杷木久喜宮：80歳代女性を市民が発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木志波：70歳代男性を発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木松末：70歳代女性を発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(杷木志波：70歳代男性を市民が発見し、死亡を確認(7月12日))
- ・ 1名(有明海：60歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月13日))
- ・ 1名(有明海：80歳代男性。有明海で発見された男性の身元が判明(7月14日))
- ・ 1名(古毛：80歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月14日))
- ・ 1名(有明海：70歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月17日))
- ・ 1名(有明海：50歳代女性。有明海で発見された女性の身元が判明(7月17日))

〈東峰村〉

- ・ 2名(80歳代男性及び80歳代女性を岩屋地区付近捜索中の警察及び自衛隊が発見し、死亡を確認(7月8日))
- ・ 1名(宝珠山：60歳代女性を自衛隊が発見し、死亡を確認(7月12日))

【大分県】

- ・ 1名(40歳代男性が崩土に巻き込まれ、その後、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(70歳代男性を君迫川で発見、その後、死亡を確認(7月6日))
- ・ 1名(70歳代女性を田代川で発見、その後、死亡を確認(7月7日))

《連絡が取れない者の状況》

【福岡県】

- ・ 7名(朝倉市：詳細確認中)

《重傷者の状況》

【新潟県】

- ・ 1名（糸魚川市：60歳代男性が用水路に転落し骨折（7月1日））
- 【福岡県】
- ・ 2名（東峰村：40～50歳代女性と10歳代男性の親子が家屋に入ってきた土砂により受傷（7月6日））
- 【大分県】
- ・ 1名（佐伯市で70歳代女性が風にあおられ転倒し右腕骨折疑い（7月4日））
 - ・ 1名（日田市：60歳代女性が崩土に巻き込まれ負傷（7月6日））

3 避難指示等の状況（消防庁情報：7月19日7:30現在発令中のもの）

都道府県名	市区町村名	避難指示(緊急)		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	朝倉市			21,256	54,412
	小計			21,256	54,412
大分県	中津市			4	7
	小計			4	7
合 計				21,260	54,419

4 避難所の状況（消防庁情報：7月19日8:00現在）

【福岡県】

- ・ 11箇所 745名（7月18日 15時00分現在）

【大分県】

- ・ 6箇所 81名（7月18日 16時00分現在）

都道府県名	市区町村名	避難所数	避難者数
福岡県	朝倉市	7	710
	東峰村	4	35
	計	11	745
大分県	日田市	6	81
	計	6	81
合 計		17	826

5 流木、土砂、災害廃棄物対応の状況（7月19日8:30現在）

(1) 仮置場の確保状況（7月19日8:30現在）

		災害廃棄物		流木・土砂	
		箇所	面積	箇所	面積
福岡県	朝倉市	3カ所	約2,500m ²	流木用：	調査中

			約 2,400m ² 約 11,600m ²	3カ所 土砂用： 3カ所	
	東峰村	3カ所	約 5,000m ² 約 300m ² 約 400m ²	流木用： 1カ所	調査中
大分県	日田市	2カ所	約 5,600m ² 約 3,100m ²	設置なし	—
	中津市	1カ所	調査中	設置なし	—

- ・国土交通省において、流木・土砂の仮置き場約 6,000m² を確保し、河川内に堆積した流木を搬入中。
- ・福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市、中津市では仮置場を設置し、災害廃棄物の受入れを開始。

(2) 各省庁等の対応（詳細は「7 政府の主な対応」に記載）

- ・東峰村分室へ職員を派遣し（7/12）、既設の仮置場の状況を確認。必要な仮置場確保に向けた検討を実施。【国土交通省、環境省】
- ・福岡県知事からの要請を受け、土砂や流木の堆積が著しく、二次災害の恐れがある筑後川水系赤谷川等で、権限代行により緊急的に土砂・流木の除去を実施（7/18～）【国土交通省】
- ・筑後川本川での二次災害防止のため、県管理河川等に堆積する流木等の除去に着手（7/14～）【国土交通省】
- ・査定前着工として4箇所、流木除去を実施中（7/7～）【福岡県】
- ・早期の復旧支援、災害復旧の迅速化、技術支援のため本省災害査定官（のべ29人・日）を派遣（7/9～）【国土交通省】。
- ・国土交通省（本省災害査定官、九州地整 TEC-FORCE（ドローンチーム））と福岡県合同チームにより、赤谷川等の流木堆積状況を緊急調査（7/13）【国土交通省・福岡県】。
- ・有明海及び周防灘において海洋環境整備船3隻及び港湾業務艇・調査船3隻により漂流物を回収（流木868本、漂流物407m³）。現時点で船舶航行への支障無し（7/6～）【国土交通省】。
- ・佐賀県において、有明海の東与賀海岸外2海岸（水管理・国土保全局所管）に漂着した流木等の回収処理作業を実施（7/14～）【国土交通省】
- ・福岡県朝倉市（7/6～）及び福岡県東峰村（7/10～）に現地支援チームを常駐させ、福岡県と連携して被災状況の確認、仮置場の確保、災害廃棄物の分別、適正処理に関する支援を実施。また、大分県日田市等についても現地調査を実施。さらに、福岡県及び大分県に対し、災害廃棄物処理に関する補助金制度についても周知。【環境省】
- ・災害復旧事業の査定前着工制度について関係地方公共団体への周知を図り、流木等が堆積した漁港において、福岡県等が流木等の回収に着工（6/30～）。【農林水産省、福岡県、佐賀県、長崎県】
- ・福岡県、佐賀県へ職員を派遣し、災害査定に向けて技術的な助言を実施（7/14）。【農林水産省】

6 その他の状況

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：7月19日8:15現在）

○九州電力

停電状況

福岡県：約670戸（朝倉市：約670戸、東峰村：数戸。道路進入ができず、現時点で復旧作業を進めることが不可能な区域。現在住民がおられる区域（進入可能な区域）については、復旧完了。）

- ・電源車のうち、稼働していた1台は、復旧が進んだため稼働を終了。その他の電源車を8台甘木配電事務所に配備（なお、九電のみで59台の電源車を保持。）。
- ・九州電力が、朝倉市、東峰村の避難所に対し、スポットクーラー（業務用の送風機）を無償で提供。

イ 一般ガス（経済産業省情報：7月19日8:15現在）

- ・現時点で被害情報なし

ウ 水道（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

①断水の状況

- ・福岡県2市村で1,721戸が断水。（前回報告比±0戸）

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【福岡県】 朝倉市 (あさくらし)	1,663戸	1,663戸	7/6～	杷木（はき）浄水場の浸水被害により断水 鬼ヶ城（おにがじょう）簡易水道の浄水場の被災により断水
東峰村 (とうほうむら)	689戸	58戸	7/6～	浄水場に土砂流入及び管路破損により断水
小計	2,519戸	1,721戸		
合計	3,071戸	1,721戸		

- ・大分県玖珠町、熊本県南阿蘇村・南小国町については、7月6日、福岡県添田町については、7月7日、大分県日田市については7月10日に、それぞれ断水解消。
なお、表中の最大断水戸数はこれらの市町村での断水戸数を含む値である。

②応急給水の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、給水車8台が応急給水対応中（北九州市2台、福岡市2台及び久留米市1台及び自衛隊3台）。
- ・東峰村は、自衛隊の給水車4台が応急給水対応中（千代丸（ちよまる）地区に2台、竹（たけ）地区に2台）。

③応急復旧の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、杷木（はき）浄水場内にかれき（土砂や流木）が堆積しており、早期に撤去する必要があるが、河川の流れが変わってしまったことで場内に進入できない状況のため、福岡県・国交省・自衛隊など関係機関にかれき撤去及び進入路の確保を要請。

7月15日に朝倉市が着手していた浄水場への仮設道路が完成。朝倉市は、市からの応援要請を受けて日本水道協会から派遣された北九州市とともに、7月18日に仮設ろ過設備の設置を完了し、配水池へ送水中。配水池に充水完了後、7月19日から試験通水と漏水試験を行いながら、断水戸数を減らしつつ、今月末を目処に仮復旧を目指す。

また、鬼ヶ城（おにがじょう）簡易水道については、7月12日に現地確認した結果、浄水場が被災していることを確認し、朝倉市において仮復旧方法について住民と調整中。

- ・東峰村は、福岡県を通じ応援要請を受けて日本水道協会から派遣された北九州市とともに、被災した4地区（千代丸地区、鶴地区、鼓地区、竹地区）について応急復旧中。千代丸地区については、7月11日に仮復旧済み（その後4戸について管路破損が確認されたため7月22日を目途に修繕予定）。鶴地区、鼓地区については、7月13日に仮復旧済み。竹地区については、生活用水の早期確保のため、搬入した仮設水槽に井戸水を取水し、7月16日から飲用不可での試験通水と漏水試験を行いながら、断水戸数を減らしつつ、7月22日を目途に仮復旧を目指す。

エ 通信関係（総務省情報：7月19日7:30現在）

	事業者（サービス名）	被害状況等	最大被害数（注4）
固定 (注1)	NTT西日本	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県：復旧済み ・大分県：復旧済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県で約1,220回線が使用できない状態（朝倉市、朝倉郡東峰村の一部） （電話等約790回線、フレッツ光等約400回線、専用線等約30回線） ・大分県で約245回線が使用できない状態（日田市の一部） （電話等約240回線、専用線等3回線）
	NTTコミュニケーションズ	・被害無し。	・被害無し。
	KDDI	・被害無し。	・被害無し。
	ソフトバンク	・被害無し。	・被害無し。
(注2・3) 携帯電話等	NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> ・6局停波 （福岡県朝倉市の一部で5局、大分県日田市の一部で1局） 	<ul style="list-style-type: none"> ・42局停波 （福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村の一部で17局、佐賀県：3局、長崎県：6局、熊

		<p>・朝倉市の停波中の2局については、徒歩による入局が可能だが、いずれも道路が寸断しており復旧困難なため、周辺局による、エリア補完実施し、エリアカバー済。3局については、現地に入れられない状況であるが、黒川地区の1局にはヘリにより可搬型基地局を運搬し設営済。その他の2局については道路開通後に順次現地入りし復旧対応実施予定。</p> <p>日田市の停波中の基地局について、可搬型基地局により一部の地域でエリアカバー済。復旧対応実施予定。</p> <p>※福岡県朝倉市大分県日田市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。</p> <p>※役場エリアについてはサービス影響なし。</p>	<p>本県：1局、大分県15局)</p> <p>・孤立地域である東峰村宝珠山地区について、基地局停波のためカバーできていない。</p> <p>→通行止めにより現地に立入りできない状況。</p> <p>※福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村、田川郡添田町、佐賀県武雄市、唐津市、三養基郡みやき町、長崎県杵岐市、熊本県阿蘇郡小国町、大分県大分市、日田市、中津市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。東峰村役場においてエリアカバーされていないことを確認。それ以外の役場エリアについてはサービス影響なし。</p>
KDDI (au)		<p>・復旧済み。</p>	<p>・27局停波</p> <p>福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村で11局並びに大分県杵築市、豊後大野市の一部で8局</p> <p>※佐賀県：2局、長崎県：4局、熊本県：3局が停波し大分県中津市、日田市の一部において、エリアカバーされていないことを確認</p> <p>※朝倉郡東峰村役場がエリアカバーされていない状況。それ以外の役場エリアについてはサービス影響なし。</p>
ソフトバンク		<p>・1局停波 (福岡県朝倉市：1局)</p>	<p>・51局停波 (福岡県朝倉市及び東峰村の一</p>

		※可搬型基地局によりエリアカバー済み。	部で26局、佐賀県：3局、長崎県で7局、熊本県で3局、大分県で14局) ※大分県中津市、日田市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。朝倉郡東峰村役場がエリアカバーされていない状況。 ※佐賀県、長崎県、熊本県においては周辺局でカバーされており、サービスエリアに影響なし。
--	--	---------------------	--

○主な原因は停電及び伝送路断

- (注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載
(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない
(注3) 携帯電話については、一部役場エリアでカバーされていないところあり。
(注4) 総務省への報告値の中で最大のもの(被害局数の最大値と県ごとの被害局数の最大値)を記載

オ 高圧ガス・火薬類関係 (経済産業省情報：7月19日8:15現在)

現時点で被害情報なし

カ 石油(製油所・油槽所、備蓄基地)関係 (経済産業省情報：7月19日8:15現在)

現時点で被害情報なし

キ 石油(SS)関係 (経済産業省情報：7月19日8:15現在)

- ・浸水等の影響により営業を停止していた福岡県朝倉市内の2SSが営業を再開。これにより、福岡県内全てのSS(全978SS)の営業を確認。
- ・被災地から燃料不足等による相談、報告はなし。

ク LPガス供給関連施設関係 (経済産業省情報：7月19日8:15現在)

○需要側設備

- ・現時点、LPガスの使用が可能なエリアの需要家において、ガスの途絶等の被害情報はなし。
- ・現在、事業者では、水害の大きな地域を対象に、念のための安全確認の巡回を実施中(8日まで)
- ・家屋崩壊等によりLP容器が流出したとの情報があるが特段の問題は生じていない(福岡県添田町1件、東峰村4件)。
- ・市町村を通じて、発見時の対処について、注意喚起を実施。(7日17:06)
- ・流出した容器は、立入禁止エリアに所在していると推定されることから、立入可能となり次第、速やかに容器の搜索、回収作業を開始予定。

ケ 放送関係 (総務省情報：7月19日7:30現在)

<ケーブルテレビ>

【大分県】

○日田市

・小野地区で、幹線障害により 265 世帯に障害。→幹線障害は仮復旧済み。引込み線は確認中。

○中津市

・山国地区で、土砂災害により 2 世帯に障害。家屋、電柱倒壊のため、復旧困難。

【福岡県】

○東峰村

・幹線が 3 ヶ所で断線。→仮復旧済み。(宝珠山センターと小石原サブセンターの間の幹線断線については、サブセンターへの受信アンテナ設置により対応済み。) そのほか断線箇所あり。支線、引込み線を含め確認中。

(2) 原子力施設関係の状況 (原子力規制庁調べ : 7 月 19 日 8:00 現在)

・被害情報なし

(3) 土砂災害 (国土交通省情報 : 7 月 19 日 7:30 現在)

ア 土石流等

都道府県名	市町村名	件数	人的被害			建物被害				公共被害状況等
			死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	非住家	
新潟県	十日町市	1件	-	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	柏崎市	2件	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	魚津市	2件	-	-	-	-	-	-	-	村道へ土砂流出
	氷見市	3件	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	長野市	1件	-	-	-	-	-	-	-	町道に土砂流出
	小川村	1件	-	-	-	-	-	-	1戸	
石川県	能登町	1件	-	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	金沢市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	白山市	1件	-	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	高山市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	恵那市	1件	-	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	飛騨市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	益田市	11件	-	-	-	-	-	-	-	県道等に土砂流出
	東峰村	13件	2名	-	-	2戸	-	-	-	
福岡県	朝倉市	37件	-	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	南小国町	1件	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	南小国町	1件	-	-	-	-	-	-	-	町道に土砂流出
大分県	中津市	1件	-	-	-	3戸	-	1戸	-	市道に土砂流出
	日田市	3件	-	-	-	-	-	-	-	
合計	82件		2名	名	名	5戸	戸	1戸	1戸	

※なお、大分県日田市小野地区において、山腹崩壊による河道閉塞が発生。大量の崩土や浸水により被害が生じており、現在調査中

イ 地すべり

都道府県名	市町村名	件数	人的被害			建物被害				公共被害状況等
			死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	非住家	
新潟県	糸魚川市	6件	-	-	-	-	-	-	-	被災戸数については調査中
	妙高市	2件	-	-	-	-	-	-	-	
	上越市	1件	-	-	-	-	-	-	1戸	
	長岡市	2件	-	-	-	-	-	-	-	
	柏崎市	2件	-	-	-	-	-	-	-	
	阿賀町	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	十日町市	2件	-	-	-	-	-	-	-	
	出雲崎町	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	魚沼市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	小千谷市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	高岡市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	小矢部市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	氷見市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	金沢市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	輪島市	1件	-	-	-	-	-	-	-	
	日田市	1件	1名	-	2名	-	-	7戸	-	
合計	25件	1名	名	2名	戸	戸	7戸	1戸		

ウ かけ崩れ

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害				公共被害状況等	
		死者	行方不明者	負傷者	人家			非住家		
					全壊	半壊	一部損壊			
新潟県	25件	三条市	6件	-	-	-	-	1戸	-	
		上越市	3件	-	-	-	-	-	-	
		柏崎市	7件	-	-	-	-	3戸	1戸	
		出雲崎町	1件	-	-	-	-	-	-	
		五泉市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
		魚沼市	1件	-	-	-	-	-	-	
		佐渡市	1件	-	-	-	-	-	1戸	
富山県	1件	長岡市	5件	-	-	-	-	-	-	
		黒部市	1件	-	-	-	-	-	-	
石川県	10件	七尾市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
		羽咋市	3件	-	-	-	-	-	-	
		かほく市	1件	-	-	-	-	-	-	
		志賀町	1件	-	-	-	-	-	-	
		宝達志水町	2件	-	-	-	-	-	-	
		能登町	1件	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	5件	金沢市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
		恵那市	3件	-	-	-	-	1戸	-	
		瑞浪市	1件	-	-	-	-	-	-	
和歌山	2件	土岐市	1件	-	-	-	-	-	-	
		那智勝浦町	1件	-	-	-	-	1戸	-	
島根県	20件	田辺市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
		益田市	19件	-	-	-	-	7戸	6戸	
広島県	10件	浜田市	1件	-	-	-	-	-	-	
		広島市	2件	-	-	-	-	-	-	
		東広島市	1件	-	-	-	-	-	-	
		三原市	1件	-	-	-	-	-	-	
		北広島町	3件	-	-	-	-	-	-	
山口県	1件	福山市	2件	-	-	-	-	-	-	
		呉市	1件	-	-	-	-	-	-	
高知県	3件	周南市	1件	-	-	-	-	-	-	
		佐川町	1件	-	-	-	-	-	-	
福岡県	28件	四万十町	2件	-	-	-	-	-	-	
		朝倉市	12件	-	-	-	2戸	-	-	
		東峰村	9件	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	1件	北九州市	7件	-	-	-	-	3戸	-	
		有田町	1件	-	-	-	-	1戸	-	JR佐世保線に土砂流入
熊本県	17件	南小国町	7件	-	-	-	-	3戸	-	
		宇土市	2件	-	-	-	-	-	-	
		上天草市	1件	-	-	-	-	-	-	
		大津町	1件	-	-	-	-	-	-	
		小国町	1件	-	-	-	-	-	-	
		天草市	1件	-	-	-	-	-	-	
		山鹿市	1件	-	-	-	-	-	-	
		玉名市	1件	-	-	-	-	-	-	
大分県	11件	南関町	1件	-	-	-	-	-	-	
		和水町	1件	-	-	-	-	-	-	
		日田市	4件	-	-	-	-	1戸	-	
		中津市	3件	-	-	-	-	1戸	-	
宮崎県	1件	大分市	1件	-	-	-	-	-	-	
		国東市	1件	-	-	-	-	-	-	
長崎県	24件	豊後大野市	2件	-	-	-	-	1戸	-	
		高千穂町	1件	-	-	-	-	-	1戸	
		壱岐市	16件	-	-	-	1戸	-	-	
		長崎市	2件	-	-	-	-	-	-	
合計	159件	大村市	2件	-	-	-	-	-	-	
		佐世保市	4件	-	-	-	-	-	-	
合計	159件	名	名	名	3戸	戸	27戸	9戸		

(4) 河川 (国土交通省情報 : 7月19日7:30現在)

ア 国管理河川

一般被害

整備局	水系	河川	市町村	浸水家屋数			家屋損壊数			田畑等浸水		被害状況
				原因	床上 (戸)	床下 (戸)	原因	全壊 (戸)	半壊 (戸)	原因	面積 (約ha)	
中国	ゴウノカワ 江の川	ゴウノカワ 江の川	ミヨシシ 三次市	溢水		1						
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		20				溢水	0.8	右岸23.85k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		1				溢水	1.1	左岸24.6k 町道冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		13				溢水	1.4	左岸25.8k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	3	9				溢水	1.4	左岸30.0k 県道52号冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	7					溢水	1.6	左岸31.0k、旧ドライブイン損壊
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	1	3				溢水	1.3	左岸31.5k 県道52号冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水						溢水	0.1	左岸32.6k 事業所1戸浸水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	2	2				溢水	0.6	右岸34.0k 廃屋1戸倒壊
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	1	2				溢水	0.3	右岸34.2k 旧彦山橋流出
九州	テクゴガワ 筑後川	コイシワラガワ 小石原川	タテアライマチ 大刀洗町	調査中		5				調査中	5.0	左岸0.2k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	2	3				越水	0.3	右岸0.2k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	10	20				越水	0.7	左岸0.7k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	25	145				越水	3.0	右岸1.6k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市									左岸1.8k 川沿いの小屋1戸流出
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市									2.7k JR久大線「鉄道橋」流出
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	70	180				越水	2.0	右岸3.0k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	150	200				越水	15.0	左岸3.7k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市									右岸5.9k坂本橋条件護岸流出
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	4	4				越水	3.0	右岸6.3k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	15	5				越水	6.0	左岸7.6k
九州	テクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	越水	6	5				越水	0.1	右岸7.6k
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市							溢水	1.4	右岸18.8k 国道212号一部損壊
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市									左岸20.1k 農業用水路橋流出
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	溢水		2				溢水	0.2	右岸25.4k
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市							溢水	0.2	右岸27.0k 国道212号一部損壊

※国管理河川においては、浸水は全て解消済み。

河川管理施設等被害

整備局	水系	河川	市町村	地点		被害状況		対策状況
				左右岸	KP	状態	数量(約)	
関東	アヲカワ	イルマダノ	カワゴエシ	右	0k	堤防法崩れ、すべり	L=14m	応急対策完了
北陸	シナノガワ	シノノガワ	ニイガタシ	左	6.0k+150m	堤防法崩れ、すべり	L=20m	応急対策完了
北陸	ヒメカワ	ヒメカワ	イトイガワシ	左	2.2k+10m	河岸侵食	L=60m	応急対策完了
北陸	クロベガワ	クロベガワ	クロベシ	左	7.4k	河岸侵食	L=25m	応急対策完了
北陸	クロベガワ	クロベガワ	クロベシ	右	16.0k	河岸侵食	L=55m	応急対策完了
北陸	カケハガワ	カケハガワ	コマツシ	右	10.7k	河岸の法崩れ	L=20m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	27.9k	護岸損壊	L=20m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	右	30.2k	河岸侵食	L=250m	応急対策中
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	右	30.7k	河岸侵食	L=100m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	31.2k	護岸損壊	L=100m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	31.5k	堤防洗掘	L=30m	緊急復旧完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	右	32.1k	河岸侵食	L=100m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	32.1k	河岸侵食	L=50m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	右	32.9k	河岸侵食	L=80m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	33.1k	河岸侵食	L=100m	応急対策完了
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	33.5k	河岸侵食	L=100m	道路災で対応(全面通行止中)
九州	オンガワ	ヒコサンガワ	ソエダマチ	左	34.3k	護岸損壊	L=100m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	チクゴガワ	アサクラシ	右	58.6k	護岸損壊	L=10m	調査中
九州	チクゴガワ	チクゴガワ	アサクラシ	左	60.6k	護岸損壊	L=40m	調査中
九州	チクゴガワ	サダガワ	アサクラシ	右	4.5k	護岸損壊	L=15m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	サダガワ	アサクラシ	右	8.5k	堤防洗掘	L=10m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	サダガワ	アサクラシ	右	14.8k	護岸崩壊	L=140m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	0.0k	護岸損壊	L=80m	応急対策中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	0.4k	河岸侵食	L=50m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	0.5k	護岸損壊	L=50m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	0.8k	護岸損壊	L=200m	調査中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	1.3k	河岸侵食	L=550m	応急対策中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	1.6k	護岸損壊	L=100m	調査中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	1.8k	堤防洗掘	L=120m	緊急復旧完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	2.8k	堤防洗掘	L=60m	緊急復旧完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	4.6k	河岸侵食	L=50m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	5.8k	堤防洗掘	L=80m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	6.4k	護岸損壊	L=20m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	右	6.4k	堤防洗掘	L=100m	緊急復旧完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	6.8k	護岸損壊	L=200m	応急対策中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	7.5k	護岸損壊	L=200m	応急対策中
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	8.6k	護岸損壊	L=40m	応急対策完了
九州	チクゴガワ	カゲツガワ	ヒタシ	左	8.7k	護岸損壊	L=70m	応急対策完了
九州	ヤマクニガワ	ヤマクニガワ	ナカツシ	右	18.8k	護岸損壊	L=20m	道路災で対応(本復旧中、全面通行止中)
九州	ヤマクニガワ	ヤマクニガワ	ナカツシ	右	19.8k	堤防洗掘	L=20m	応急対策完了
九州	ヤマクニガワ	ヤマクニガワ	ナカツシ	左	23.2k	護岸損壊	L=100m	応急対策完了
九州	ヤマクニガワ	ヤマクニガワ	ナカツシ	右	26.4k	護岸損壊	L=20m	応急対策完了
九州	ヤマクニガワ	ヤマクニガワ	ナカツシ	左	26.7k	護岸損壊	L=200m	応急対策完了
九州	オオイタガワ	オオイタガワ	ユフシ	右	15.7k	護岸崩壊	L=60m	応急対策完了
九州	オオイタガワ	ナナセガワ	オオイタシ	右	0.7k	河岸侵食	L=50m	応急対策完了
九州	オオイタガワ	ナナセガワ	オオイタシ	左	5.7k	護岸崩壊	L=30m	応急対策完了

Ⅰ 都道府県管理河川

一般被害

都道府県	水系	河川	市町村	浸水家屋数		家屋損壊数		田畑等浸水		被害状況		
				原因	床上(戸)	床下(戸)	原因	全壊(戸)	半壊(戸)		原因	面積(約ha)
秋田県	馬場目川	三種川	三種町	溢水	2	6	0	0	溢水	116.0	浸水解消	
秋田県	馬場目川	内川川	五城目町	溢水	0	1	0	0	溢水	5.0	浸水解消	
秋田県	米代川	小阿仁川	北秋田市	溢水	0	1	0	0	溢水	調査中	浸水解消	
福島県	阿賀野川	山入川	会津若狭市						決壊	0.3	浸水解消	
福島県	阿賀野川	田の口川	只見町	溢水	調査中	調査中			溢水	調査中	浸水解消	
新潟県	信濃川	三島川	魚沼市	決壊	調査中	調査中			決壊	調査中	浸水縮小中	
新潟県	信濃川	五里川	小千谷市	溢水	調査中	調査中			溢水	調査中	浸水縮小中	
新潟県	信濃川	渡辺川	小千谷市	溢水	調査中	調査中			溢水	調査中	浸水縮小中	
新潟県	信濃川	龍後川	五泉市						越水	調査中	浸水縮小中	
新潟県	信濃川	五郎一川	五泉市	越水	調査中	調査中			越水	調査中	浸水解消	
新潟県	信濃川	並井川	五泉市	越水	調査中	調査中			越水	調査中	浸水解消	
新潟県	前川	前川	糸魚川市	溢水		5					浸水解消	
新潟県	柿崎川	小河川	上越市						内水	0.5	浸水解消	
石川県	崎山川	崎山川	七尾市						溢水	0.5	浸水解消	
石川県	山田川	山田川	能登町						越水	0.2	浸水解消	
静岡県	富士川	沼川	沼津市	内水		3					浸水解消	
愛知県	庄内川	薬師川	犬山市	溢水	1	8			溢水	調査中	浸水解消	
愛知県	庄内川	薬師川	小牧市	溢水	1	15			溢水	調査中	浸水解消	
愛知県	庄内川	五条川	大口町	越水		4			越水	調査中	浸水解消	
愛知県	庄内川	五条川	岩倉市	溢水					越水	調査中	浸水解消	
岐阜県	矢作川	吉田川	恵那市	溢水		1					浸水解消	
広島県	戸田川	手城川	福山市						洪水内水	26.7	浸水解消	
福岡県	遠賀川	遠賀川	嘉麻市		1	1			洪水内水	0.1	浸水解消	
福岡県	筑後川	大刀洗川	大刀洗町						溢水	0.1	浸水解消	
福岡県	筑後川	陣屋川	大刀洗町						溢水	調査中	浸水解消	
福岡県	筑後川	荷原川	朝倉市	決壊	13	10			決壊	284.0	浸水解消	
福岡県	筑後川	赤谷川	朝倉市	溢水	101	14	溢水	調査中	18	溢水	75.0	浸水解消
福岡県	筑後川	日本谷川	朝倉市	溢水	30	8	溢水	調査中	13	溢水	15.0	浸水解消
福岡県	筑後川	乙石川	朝倉市	溢水	13	2	溢水		31	溢水	26.0	浸水解消
福岡県	筑後川	桂川	朝倉市	決壊	658	390	決壊	調査中	調査中	決壊	606.0	浸水解消
福岡県	筑後川	妙見川	朝倉市	決壊	15	27			決壊	191.0	浸水解消	
福岡県	筑後川	北川	朝倉市	溢水	12	10	溢水	調査中	16	溢水	31.0	浸水解消
福岡県	筑後川	宗盛ヶ谷川	朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消 (普通河川)
福岡県	筑後川	寒水川	朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消 (普通河川)
福岡県	筑後川	洗目川	朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	筑後川	佐田川	朝倉市	溢水	4	3	溢水	調査中	1	溢水	27.0	浸水解消
福岡県	筑後川	黒川	朝倉市	溢水	4	2	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	筑後川	大山川	朝倉市	溢水	9	2	溢水	調査中	調査中	溢水	5.0	浸水解消
福岡県	筑後川	新立川	朝倉市	溢水	8	11	溢水	調査中	0	溢水	28	浸水解消
福岡県	筑後川	宝珠山	東峰村	溢水	2	9	溢水	調査中	3	溢水	17	浸水解消
福岡県	筑後川	大肥川	東峰村	溢水	28	15	溢水	調査中	2	溢水	42	浸水解消
大分県	筑後川	大肥川	日田市	溢水	13	2	調査中		溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	有田川	日田市	溢水	10	3	調査中		溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	小野川	日田市	調査中	17	調査中	調査中		調査中		大規模な山麓斜面崩壊による河道閉塞に伴う浸水継続中	
大分県	筑後川	二串川	日田市	溢水	17	4			溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	渡里川	日田市	溢水		9			溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	鎌田川	日田市	溢水	1				溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	花月川	日田市	溢水	1				溢水	調査中	浸水解消	
大分県	筑後川	瀬谷川	日田市	溢水		1			溢水	調査中	浸水解消	
佐賀県	松浦川	松浦川	武雄市						溢水	1.5	浸水解消	

河川管理施設等被害

都道府県	水系	河川	市町村	被害状況		対策状況	進捗
				状態	件数		
新潟県	シノノガワ 信濃川	ミウガワ 三用川	ウオヌメ 魚沼市	決壊	1	応急対策中	19日午前完了予定
新潟県	シノノガワ 信濃川	ノウダイガワ 能代川	ゴホシ 五泉市	護岸損壊	1	応急対策中	要洗掘後、18日午前完了予定
福島県	アガノガワ 阿賀野川	ヤマイリガワ 山入川	カネヤママチ 金山町	決壊	1	応急対策中	19日中完了予定
新潟県	アガノガワ 阿賀野川	オホモガワ 小手茂川	アガマチ 阿賀町	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	ホリミソガワ 堀溝川	ミツケン 見附市	河岸侵食	1	応急対策完了	大型土のう、7/5完了
新潟県	シノノガワ 信濃川	ホリミソガワ 堀溝川	ミツケン 見附市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	ホリミソガワ 堀溝川	ミツケン 見附市	河岸侵食	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	タザワガワ 田沢川	ナガオカシ 長岡市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	タザワガワ 田沢川	ナガオカシ 長岡市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	トリヤスカワ 取安川	オヂヤン 小千谷市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	マツサワガワ 真人沢川	オヂヤン 小千谷市	護岸損壊	2	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	チヤゴウガワ 茶郷川	オヂヤン 小千谷市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	ウメノガワ 梅鉢川	トオカマチ 十日町市	護岸損壊	1	緊急復旧完了	大型土のう、7/7完了
新潟県	シノノガワ 信濃川	カインガワ 貝野川	トオカマチ 十日町市	護岸損壊	2	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	キタノマダガワ 北ノ又川	ウオヌメ 魚沼市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シノノガワ 信濃川	マスザワガワ 増沢川	ウオヌメ 魚沼市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ウカワ 鵜川	ウカワ 鵜川	カシワザキ 柏崎市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ナダチガワ 名立川	ナダチガワ 名立川	ジョウエツシ 上越市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	セキカワ 関川	オオクマガワ 大熊川	ジョウエツシ 上越市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	カキザキガワ 柿崎川	カキザキガワ 柿崎川	ジョウエツシ 上越市	堤防洗掘	1	経過監視	
新潟県	カキザキガワ 柿崎川	バイヤンシガワ 米山寺川	ジョウエツシ 上越市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ヒメカワ 姫川	イリコガワ 入心川	イトイガワシ 糸魚川市	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ノウガワ 能生川	ノウガワ 能生川	イトイガワシ 糸魚川市	堤防洗掘	2	応急対策完了	堤防盛土、ブロック投入
島根県	スフガワ 周布川	スフガワ 周布川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	2	応急対策完了	道路災害関連
島根県	スフガワ 周布川	ナガタカワ 長田川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	10	経過監視	
島根県	スフガワ 周布川	オダニガワ 小園川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	3	経過監視	
島根県	スフガワ 周布川	オトシダニガワ 落し谷川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	シヨダニガワ 鹿子谷川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	3	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	イガワ 井川川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	タハラカワ 田原川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	ホソガワ 細田川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	ミスミガワ 三隅川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	3	経過監視	
島根県	ミスミガワ 三隅川	ホンゴウガワ 本郷川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	6	経過監視	
島根県	オカミガワ 岡見川	オカミガワ 岡見川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	12	経過監視	
島根県	シモツカワ 下府川	シモツカワ 下府川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ハマダカワ 浜田川	ハマダカワ 浜田川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	シロツノガワ 白角川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	ツガワ 都川川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	タニガワ 谷川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	4	経過監視	

島根県	ゴウノカワ 江の川	コバヤシガワ 小林川	オオナンチヨウ 邑南町	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	ヤスダガワ 安田川	オオナンチヨウ 邑南町	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	フシタニガワ 伏谷川	オオナンチヨウ 邑南町	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	カコヤガワ 家古屋川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	キダガワ 木田川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	クサガワ 久佐川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	8	経過監視	
島根県	ゴウノカワ 江の川	オハラタニガワ 小原谷川	ハマダシ 浜田市	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ツチダガワ 土田川	ツチダガワ 土田川	マスダシ 益田市	護岸損壊	9	経過監視	
島根県	オキタガワ 沖田川	ウジガワ 宇治川	マスダシ 益田市	護岸損壊	3	経過監視	
岡山県	アサヒガワ 旭川	ヨウグウガワ 両宮川	アカイワシ 赤磐市	護岸損壊	1	経過監視	
広島県	ゴウノカワ 江の川	シジハラガワ 志路原川	キタロシマチヨウ 北広島町	護岸損壊	4	緊急復旧完了	7/8 15:00 土のう積完了
広島県	ゴウノカワ 江の川	タジヒガワ 多治比川	アキタカサシ 安芸高田市	護岸損壊	1	経過監視	
広島県	ゴウノカワ 江の川	ヤマダガワ 山田川	アキタカサシ 安芸高田市	護岸損壊	1	経過監視	
福岡県	オンガガワ 遠賀川	オンガガワ 遠賀川	カマシ 嘉麻市	護岸損壊	23	応急対策中	土のう製作・据付
福岡県	オンガガワ 遠賀川	フカクラガワ 深倉川	ソエダマチ 添田町	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	アカタニガワ 赤谷川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	アカタニガワ 赤谷川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	応急対策中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	シロキダニガワ 白木谷川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	シロキダニガワ 白木谷川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	応急対策中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	イノハラガワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	決壊	3	緊急復旧完了	築堤
福岡県	チクゴガワ 筑後川	イノハラガワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	21	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	イノハラガワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	復旧工事に向けて工法検討中	河道閉塞
福岡県	チクゴガワ 筑後川	カツラガワ 桂川	アサクラシ 朝倉市	決壊	1	緊急復旧完了	築堤
福岡県	チクゴガワ 筑後川	カツラガワ 桂川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	7	応急対策中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ノトリガワ 野鳥川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	シンカタガワ 新立川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	10	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	キタガワ 北川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	応急対策中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ミウケンガワ 妙見川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ミウケンガワ 妙見川	アサクラシ 朝倉市	決壊	1	緊急復旧中	築堤中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	サダガワ 佐田川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	41	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	オトシガワ 乙石川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	復旧工事に向けて工法検討中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	オオヤマガワ 大山川	アサクラシ 朝倉市	その他	2	復旧工事に向けて工法検討中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	オオヤマガワ 大山川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ヤマミガワ 山見川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ソネタガワ 曾根田川	チクセンマチ 筑前町	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	クロカワ 黒川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	復旧工事に向けて工法検討中	河道閉塞(流木・土砂撤去)
福岡県	チクゴガワ 筑後川	コシワラガワ 小石原川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	コシワラガワ 小石原川	トウホウムラ 東峰村	護岸損壊	10	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ホシヤマガワ 宝珠山川	トウホウムラ 東峰村	護岸損壊	15	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	カタアライガワ 大刀洗川	カタアライマチ 大刀洗町	護岸損壊	50	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ジシヤガワ 陣屋川	カタアライマチ 大刀洗町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ジシヤガワ 陣屋川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	3	復旧工事に向けて工法検討中	

福岡県	チクゴガワ 筑後川	ジンヤガワ 俣屋川	クルメシ 久留米市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	フルカワ 古川	クルメシ 久留米市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	コウラガワ 高良川	クルメシ 久留米市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ヤマノイガワ 山ノ井川	クルメシ 久留米市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ナカツエガワ 中津江川	クルメシ 久留米市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	クサバガワ 草場川	チクセンマテ 筑前町	護岸損壊	3	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	クサバガワ 草場川	オゴオリシ 小郡市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	ヒロカワ 広川	ヒロカワマテ 広川町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
福岡県	チクゴガワ 筑後川	オオヒガワ 大肥川	トウホウムラ 東峰村	護岸損壊	24	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	オオヒガワ 大肥川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	10	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	ツルコウチガワ 鶴河内川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	15	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	オノガワ 小野川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	22	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	アリタガワ 有田川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	20	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	カヅツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	3	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	クマノオガワ 熊尾川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	イチノセカ 一ノ瀬川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	ニクシガワ 二串川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	7	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	ワタリカワ 渡里川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	7	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	ウチコウカワ 内河野川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	クスガワ 玖珠川	クノエマテ 九重町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	ウツコウチガワ 浦河内川	クスマテ 玖珠町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	チクゴガワ 筑後川	オオタガワ 太田川	クスマテ 玖珠町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヤマクニガワ 山国川	カサヨシガワ 金吉川	クスマテ 玖珠町	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	12	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ハルタガワ 春田川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ナバキガワ 荻木川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヤマクニガワ 山国川	タノオガワ 田野尾川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ウスキガワ 臼杵川	カンバガワ 勘場川	ウスキン 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ウスキガワ 臼杵川	ナカウスキガワ 中臼杵川	ウスキン 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ウスキガワ 臼杵川	ウスキガワ 臼杵川	ウスキン 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	シタエガワ 下ノ江川	シタエガワ 下ノ江川	ウスキン 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	トクウラガワ 徳浦川	トクウラガワ 徳浦川	ツクミン 津久見市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	バンショウガワ 番匠川	ユカギガワ 床木川	サイキン 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	バンショウガワ 番匠川	イサキガワ 井崎川	サイキン 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	ヒアナガワ 戸穴川	ヒアナガワ 戸穴川	サイキン 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	サカイシガワ 酒井寺川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	イマシガワ 市万田川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	マタケガワ 真竹川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	タマガワ 玉田川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	セイフウジガワ 西風寺川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	クリガハガワ 栗ヶ畑川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	ヒライガワ 平井川	フシゴオノシ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	イナバガワ 稲葉川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	セリカワ 芹川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中
大分県	オオノガワ 大野川	イサカワ 市川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中

(5) 道路（国土交通省情報：7月19日7:30現在）

ア 高速道路

- ・被災による通行止め：なし
- ・雨量規制等による通行止め：なし

イ 直轄国道

- ・被災による通行止め：なし

ウ 公社有料

- ・被災による通行止め：なし

エ 補助国道

- ・被災による通行止め：5区間

路線名	区間名	被災状況	備考
国道186号	シマネケン ハマダシ カナギチョウオサダ 島根県浜田市金城町長田	土砂流出	・通行止め開始：7月5日 4:10～ 区間短縮15:10～ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道211号	フクオカケン アサクラグントウホウムラコイシワラ ツツミ 福岡県朝倉郡東峰村小石原鼓	法面崩落	・通行止め開始：7月5日 18:00～ ・人身物損不明、孤立不明、迂回路不明
	フクオカケンアサクラグントウホウムラフクイ 福岡県朝倉郡東峰村福井	橋台背面の洗掘 法面崩落	・通行止め開始：7月6日 17:00～ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり ・通行止め開始：7月6日 15:30～ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり
国道500号	フクオカケンタガワグンソエダマチ オチアイ 福岡県田川郡添田町落合～ アサクラグントウホウムラコイシワラ 朝倉郡東峰村小石原	法面崩落	・通行止め開始：7月5日 18:30～ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり ・緊急車両は通行可能
国道212号	オオイタケン ナカツシ ヤバケイマチ カキサカ ナ 大分県中津市耶馬溪町柿坂～中 カツシ ホンヤバケイマチ ソギ 津市本耶馬溪町曾木	路肩崩壊	・通行止め開始：7月5日 19:00～ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道496号	オオイタケン ナカツシ ヤマクニマチカサモト 大分県中津市山国町草本	法面崩落	・通行止め開始：7月5日 18:00～ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり

オ 都道府県道、政令市道

被災による通行止め：計40区間

※福岡県や大分県など一部不明あり

- ・新潟県 3区間（路肩崩壊2、法面崩落1）
- ・富山県 2区間（法面崩落1、土砂流出1）
- ・石川県 1区間（路肩崩壊1）
- ・愛知県 1区間（路肩崩壊1）
- ・島根県 2区間（土砂崩れ1、路肩崩壊1）
- ・広島県 5区間（路肩崩壊3、法面崩落2）

- ・福岡県 11 区間 (土砂流出 1、土砂崩れ 7、路肩崩壊 2、法面崩落 1)
- ・大分県 13 区間 (土砂崩れ 5、路肩崩壊 8)
- ・静岡市 1 区間 (法面崩落 1)
- ・広島市 1 区間 (落石 1)

(6) 交通機関

ア 鉄道 (国土交通省情報 : 7 月 19 日 6:30 現在)

(施設被害)

○新幹線の状況

- ・被害なし

○在来線の状況

- ・九州旅客鉄道 久大線 光岡駅～日田駅間で橋りょう流失
- ・九州旅客鉄道 日田彦山線 大行司駅構内で駅舎倒壊等

(運行状況)

- ・新幹線の状況 運転休止線区なし
- ・在来線の状況 2 事業者 7 路線 運転休止

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止	運転再開	主な被害状況等
九州旅客鉄道	日田彦山線	添田～夜明	7/5 12:55		大行司駅構内で駅舎倒壊等
九州旅客鉄道	久大線	光岡～日田	7/5 15:55		光岡～日田間で橋りょう流失
九州旅客鉄道	肥薩線	八代～人吉	7/18 14:44	7/18 16:36	
九州旅客鉄道	指宿枕崎線	瀬々串～指宿	7/19 始発		
九州旅客鉄道	日南線	南郷～志布志	7/19 始発		
東日本旅客鉄道	大船渡線	一ノ関～気仙沼	7/18 15:50	7/18 17:58	
東日本旅客鉄道	只見線	小出～大白川	7/18 9:35		
東日本旅客鉄道	只見線	大白川～只見	7/18 始発		
東日本旅客鉄道	只見線	会津川口～会津宮下	7/18 8:49	7/18 19:09	
東日本旅客鉄道	只見線	会津宮下～会津坂下	7/18 10:52	7/18 19:09	
東日本旅客鉄道	只見線	会津坂下～会津若松	7/18 10:52	7/18 17:40	
東日本旅客鉄道	上越線	浦佐～越後川口	7/18 12:57		
東日本旅客鉄道	上越線	越後川口～宮内	7/18 10:41		
東日本旅客鉄道	飯山線	十日町～越後川口	7/18 10:46		
西日本旅客鉄道	東海道線	米原～野洲	7/18 15:18	7/18 17:27	

※久大線については、バスによる代行輸送 (光岡駅～日田駅) を実施 (7/18～)

※久大線の橋りょう流失により運休中の特急「ゆふいんの森」については、経由する路線を変更して臨時運行 (7/15～)

イ 自動車関係 (国土交通省情報 : 7 月 19 日 7:30 現在)

(1) 路線バス関係

- ・2 事業者 2 路線運休

事業者名	路線(方面)名	被害状況	備考(運行休止区間等)
西鉄バス久留米(株)	杷木～宝珠山・小石原(杷木～浮羽線)	運休	
日田バス(株)	日田～皿山(小鹿田線)	運休	
日田バス(株)	日田～岩下(有田線)	通常運行	

(2)トラック関係

- 各県トラック協会の協力のもと、各県からの要請による緊急物資輸送を実施
福岡県で4件、大分県で4件

輸送日	件数等	輸送品目	輸送先
7/6	2件 (福岡県)	歯ブラシ、トイレトペーパー等	朝倉体育センター(朝倉市)、 甘木体育センター(朝倉市)
7/7	2件 (大分県)	日用雑貨、ブルーシート	日田市役所
7/8	2件 (福岡県)	簡易トイレセット、段ボールベットセット	朝倉光陽高校(避難所)、 東峰村小石原庁舎(避難所)
7/9	1件 (大分県)	簡易更衣室キット	日田市役所 他(日田市)
7/11	1件 (大分県)	段ボールベットセット	日田市中城体育館 (日田市)

ウ 海事関係 (国土交通省情報 : 7月19日 7:30 現在)

- 1事業者1航路で一部運休

事業者名	航路名	運航状況	備考
山畑運輸(有)	棚底~三角	一部運休	

エ 港湾関係 (国土交通省情報 : 7月19日 7:30 現在)

(ア) 港湾施設

都道府県名	管理者名	港格	港湾名	地区名	被害状況
新潟県	新潟県	地方	柏崎港		臨港道路(L=25m)が土砂崩れにより通行止め 応急復旧工事(切り直し道路)完了
熊本県	熊本県	重要	三角港	際崎	東港浮棧橋(2号待合所) ・連絡橋破損 ・渡橋水没等 [定期船1社が7/4から一部運休中] ・山畑運輸(有):棚底~三角(一部運休)
熊本県	熊本県	地方	田浦港	小田浦	浮棧橋のローラー破損 (定期航路への影響なし)
熊本県	熊本県	地方	鏡港	鏡	渡橋水没 (定期航路への影響なし)

オ 空港 (国土交通省情報 : 7月19日 7:30 現在)

(ア) 空港施設等

- 被害情報なし

(イ) 欠航便なし

(7) 文教施設関係（文部科学省情報：7月18日10:00現在）

ア 物的被害

都道府県名	国立学校施設 (校)	公立学校施設 (校)	私立学校施設 (校)	社会教育・体育、 文化施設等(施設)	文化財等 (件)	独立行政法人等 (施設)	計
福岡県	2	17	5	9	5		38
佐賀県	1			5			6
長崎県	1	1		3	3		8
熊本県	3	58	1	8	4		74
大分県	2	24	3	6	16		51
鹿児島県	1						1
計	10	100	9	31	28		178
6県	大学 8 高専 2	幼 4 小 37 中 21 高 28 中等 1 特別 5 大学 1 その他 3	幼 3 高 3 大学 1 こども園 2	社教 14 青少年 5 社体 9 文化 3	重文(建) 7 登録(建) 7 特史 1 史跡 9 名勝 1 天然 1 伝建 2		

・主な被害状況：グラウンド等への土砂流入、校舎の傾斜、校舎等の屋根・窓ガラス等の破損、床上浸水、雨漏り、倒木等

イ 休校・短縮授業となっている学校等

・現在、休校等となっている学校はなし。

※夏休みを繰り上げ実施中の学校は、休校の学校に含めず

東峰村（2校）：7月10日（月）～8月20日（月）

朝倉市（20校）：7月11日（火）～8月20日（月）

大分県日田市（2校）：7月15日（土）～8月17日（木）（7月14日終業式）

ウ 避難所となっている学校等

都道府県名	国立学校施設(校)	公立学校施設(校)	私立学校施設(校)	社会教育・体育、 文化施設等(施設)	文化財等(件)	独立行政法人等(施設)	計
福岡県		2		8			10
大分県		1		5			6
計		3		13			16

(8) 医療施設関係（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

①病院・有床診療所

・福岡県・避難指示又は避難勧告が出た9市町村に所在する全ての医療施設（病院64、診療所86）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。（朝倉市の1透析診療所が断水しており、近隣施設で対応中。）

7月7日6時30分以降、新たに避難指示又は避難勧告が出た2市1町に所在する全ての医療施設（病院103、診療所115）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

7月10日12時50分に、朝倉市の溜め池に決壊のおそれがあるとして、

朝倉市内の一部地域に新たに避難指示が出たが、当該区域に病院、有床診療所は所在しない。(無床診療所が1箇所所在するが、断水のため診療は既に中止中。)

- ・大分県・ 避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての医療施設(病院41、診療所56)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・ 避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての医療施設(病院34、診療所42)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・山口県・ 避難指示又は避難勧告が出た2市に所在する全ての医療施設(病院44、診療所50)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・佐賀県・ 避難勧告の出た1町に所在する全ての医療施設(病院3、診療所2)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

②無床診療所

各県と連携して引き続き情報収集に努める。

- ・福岡県・ 断水 2箇所(朝倉市)。診療不可だったが、うち1箇所は応急給水により診療を再開。
床上浸水 1箇所(朝倉市)。医療機器損傷で診療不可。
床下浸水 1箇所(朝倉市)。泥の堆積のため診療を中止していたが、診療を再開。
避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての診療所(1,410施設)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では上記を除き診療不可となる被害報告は無し。
- ・大分県・ 避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての診療所(104施設)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・ 避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての診療所(158施設)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では診療不可となる被害報告は無し。
- ・佐賀県・ 避難勧告が出た1町に所在する全ての診療所(9施設)と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

○DMATの状況

①福岡県

7月8日までDMAT計10隊が医療活動を実施していたが、病院搬送などが必要な急性期の医療ニーズが減少したことに伴い7月9日より体制を見直し。7月9日以降、病院搬送が必要な患者が発生した場合には、通常の医療体制の中で対応。

- ・7月9日までは福岡県内のDMAT1隊が福岡県災害対策本部(DMAT調整本部)で活動していたが、7月10日からはDMAT調整本部の活動を中断し、当面通常の体制で対応。
- ・福岡県内のDMATを朝倉市災害対策本部に派遣していたが、7月8日をもって終了。
- ・福岡県内のDMATを朝倉市甘木公園に派遣していたが7月8日をもって終了。避難させる住民のうち治療の必要がある住民を朝倉医師会病院へ搬送させる活動に従事。7月8日20時までに14名を搬送。

- ・福岡県内のDMATを朝倉医師会病院支援のために派遣していたが7月8日をもって終了。

②大分県

- ・7月8日に日田市小野地区の住民の医療ニーズの把握のためDMAT1隊を派遣。病院搬送などが必要な医療ニーズがないことを確認し、終了。

(9) 心のケア・精神科病院関係・障害児者支援関係（厚生労働省情報：7月18日17:30現在）

- ・福岡県、大分県ともに被害情報なし

○DPATの状況

①福岡県

7月10日から福岡DPAT1隊が朝倉市で活動中。11日は東峰村で活動。その際、精神科医療ニーズがなかったことから12日以降は待機。18日は朝倉市で1隊が活動。19日は東峰村で活動予定。

②大分県

7月9日から大分県DPAT1隊が大分県西部保健所（日田市・九重町・玖珠町を所管）を拠点として活動中。11日は引き継ぎも含めてDPAT2隊が活動。12日以降は1隊が活動。医療が必要なケースはすべて医療機関につないだため、18日で活動終了。

(10) 社会福祉施設関係（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

○高齢者関係施設

福岡県東峰村の特別養護老人ホーム2施設（宝珠郷・清和園）については、一時孤立していたが、6日朝に自衛隊が到着し、支援活動を実施。物的・人的被害はなし。清和園については、電力・ガス・水道が復旧し、通常のサービスが提供できている。宝珠の郷については、電力・ガスは復旧し、断水は継続していたが、14日（金）から水道が復旧し、通常のサービスが提供できている。

福岡県朝倉市において、山崩れのおそれのため、9日の午後、避難指示が発令され、有料老人ホームわかいちに入居する12名が福岡県小郡市（5名）及び佐賀県基山市（7名）のグループホームにそれぞれ避難していたが、11日（火）に避難指示が解除され、12日（水）に全員が有料老人ホームわかいちに戻った。

福岡県北九州市の介護老人保健施設1施設において床下浸水によりエレベータが故障したが、11日（火）に復旧済み。人的被害はなし。

大分県日田市の有料老人ホーム1施設において、一時床上浸水したが既に復旧済み。人的被害はなし。日田市の2施設（デイサービスセンター鳩友園、小野地区老人憩いの家）については、一時孤立していたが、自衛隊等ヘリにより避難所等へ全員搬送済み。

○障害児・者関係施設

大分県日田市で2施設において床下浸水の被害があったが、復旧済み。人的被害はなし。

○児童関係施設等

大分県日田市の保育所等4施設、中津市の保育所1施設で床上や床下浸水などの被害があったが、このうち、日田市の3施設については、復旧済み。福岡県朝倉市の

保育所 1 施設で給食室に土砂流入の被害あり。人的被害はなし。

(11) 職業能力開発施設関係（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

- ・福岡県、大分県内の公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設について、被害報告無し。訓練も通常どおり実施。

(12) 保健・衛生関係（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

(1) 人工透析

福岡県朝倉市の1透析医療施設で断水しており、給水量の関係で、同施設の外来患者の一部は近隣医療施設で透析を受療。引き続き情報収集に努める。（各県の透析医療施設数は、福岡県に215、大分県に73）

(2) 被災者の健康管理

① 保健師等の活動

<福岡県>

○朝倉市（常勤保健師数15人）

- ・7月24日（月）までは、県保健師及び市保健師合計6人で支援を継続する予定。
- 7月9日（日）（県保健師9人）
- 7月10日（月）（県保健師7人、福岡市保健師2人）
- 7月11日（火）～14日（金）（県保健師5人、福岡市保健師2人、久留米市保健師2人）
- 7月15日（土）以降は、県保健師及び他市（福岡市、久留米市、北九州市、大牟田市）保健師あわせて6人が支援に入る予定。
- 7月7日（金）から、避難所運営管理のため、福岡市職員10名が支援を実施。
- ・避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行うほか、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症予防のために、冷却効果のあるタオルを配布している。

○東峰村（常勤保健師数2人）

- ・7月24日（月）までは、県保健師及び市保健師合計4人で支援を継続する予定。
- 7月7日（金）～10日（月）2人、7月11日（火）3人、
- 7月12日（水）～13日（木）6人、14日（金）8人
- 7月15日（土）以降は、県保健師4人が支援に入る予定。
- ・避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行うほか、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症予防の啓発を防災無線により実施。

○福岡県北筑後保健福祉環境事務所

- ・朝倉市、東峰村を所管する福岡県北筑後保健福祉環境事務所支援のために、7月7日（金）より県内医師を毎日1名派遣。

<大分県>

○中津市（常勤保健師数25人）

- ・7月6日（木）に県保健師2名が支援に入り、7月9日（日）は1名が避難所を巡回し健康相談を実施。
- ・7月11日（火）から要支援者の自宅訪問を実施。
- ・7月11日（火）以降、家屋の消毒等にボランティアが参加するため、県保健師

が健康指導（熱中症予防等）を実施。

- ・地域を巡回する保健師より、がれき撤去など外で作業をしている方への熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防の啓発及びチラシの配布を行っている。

○日田市（常勤保健師数 23 人）

- ・7月6日（木）から県保健師が支援に入り、避難所を巡回し健康相談を実施。
- ・7月11日（火）から県保健師に加え、他市町村保健師2～3名が支援に入り、3班6名体制で避難所を巡回し健康相談を実施。
- ・避難所において、熱中症、エコノミークラス症候群、感染症予防に関する掲示等を行い、予防啓発を行っている。

○大分県西部保健所

- ・日田市を所管する大分県西部保健所支援のために、7月8日（土）から同月14日（金）まで、医師、保健師、獣医師を派遣。
- ②7月6日（木）に「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を福岡県庁と大分県庁にメールで送付。
- ③7月10日（月）に事務連絡「避難生活を過ごされる方々の深部静脈血栓症／肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防について」において、注意喚起のチラシを別添として、福岡県及び大分県にメールで送付。
- ④7月10日（月）に事務連絡「被災住民等の熱中症対策について」において、注意喚起のチラシを別添として、福岡県及び大分県にメールで送付。
- ⑤大規模な感染症発生を防ぐため、国立感染症研究所の専門家及び厚生労働省の職員が、福岡県の職員と共に、7月11日（火）に朝倉市及び東峰村の避難所の感染症対策の状況を確認した。衛生環境は概ね良好であるが、アルコール消毒などの手指衛生が十分に行われていない状況も見られたことから、手指衛生の周知を徹底するよう助言を行った。あわせて、がれき撤去時などに起こりうる粉塵等に関しても、マスク・手袋の着用を徹底するよう助言した。

(3) その他

①保健衛生施設の被害状況

<熊本県>

市町村保健センターにおいて、雨漏り被害の報告が4件あり。復旧済み。

<福岡県・大分県>

現時点で被害報告無し。

②感染症指定医療機関、病原体管理施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(13) 医薬品・医療機器関係（厚生労働省情報：7月19日7:30現在）

① 薬品卸売販売業・医療機器販売業関係

業界団体に確認したところ、現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害はない。

② 輸血用血液製剤

日本赤十字社に確認したところ、現時点では輸血用血液製剤の安定供給等に係る被害はない。

③ 薬局・薬剤師

【福岡県】

- ・床下浸水等の報告が9件（朝倉市8件、大牟田市1件）あり。うち1件（朝倉市）は営業できていない。
- ・チラシの配布等により、いつも服用している薬が手元になく、薬のことで困っている場合は、巡回している医師、薬剤師、保健師等に相談するよう周知を実施中。
- ・福岡県薬剤師会の薬剤師が避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、13日をもって終了。

【大分県】

- ・現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。
- ・大分県薬剤師会の薬剤師が日田市内の避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、9日をもって終了。

(14) 農林水産関係 (農林水産省情報 : 7月18日 10:00 現在)

区分	主な被害	被害数	被害額 (億円)	被害地域 (現在27府県から報告あり)
農作物等	農作物等	2,384ha	3.4	新潟、富山、石川、岐阜、島根、広島、高知、福岡、長崎、熊本、大分、沖縄
	樹体	6ha	0.0	熊本
	家畜の斃死	10頭	0.0	福岡
	農業用ハウス・畜舎等	2,465件	15.4	岐阜、三重、和歌山、岡山、広島、高知、長崎、熊本、大分
小計			18.9	
農用地施設・設 農関係	農地	2,542箇所	26.3	秋田、山形、福島、長野、新潟、富山、石川、岐阜、大阪、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
	農業用施設等	918箇所	30.2	秋田、山形、福島、栃木、長野、新潟、富山、石川、岐阜、大阪、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
小計			56.5	
林野関係	林地荒廃	332箇所	84.9	新潟、長野、岐阜、鳥取、島根、広島、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
	治山施設	9箇所	1.2	新潟、長野、熊本、大分
	林道施設等	1,107箇所	21.9	山形、福島、新潟、富山、石川、長野、岐阜、和歌山、島根、広島、愛媛、高知、福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島
	木材加工・流通施設	13箇所	0.3	熊本、大分
	特用林産物施設等	2箇所	調査中	福岡
小計			108.3	
水産関係	漁船	34隻	0.1	和歌山、島根、愛媛、佐賀、長崎、熊本、大分
	漁具	2件	0.0	大分
	養殖施設	16件	0.2	島根、愛媛、福岡、熊本、大分
	漁場	1.8ha	0.0	熊本、大分
	水産物	3件	0.0	福岡、熊本
	漁具倉庫等	5件	0.0	熊本、大分
	漁港施設等	6漁港	3.1	福岡、佐賀、長崎、大分
小計			3.4	
合計			187.2	

注：現時点で県等から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。

(15) 郵便関係 (総務省情報 : 7月19日 7:30 現在)

○窓口業務

- ・局舎床上浸水等の被害があり、以下の局において、臨時休業【直営局4局、簡易局2局 合計6局】

福岡県朝倉市内 3局（直営局）、2局（簡易局）
大分県日田市 1局

○郵便業務

- ・福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村の一部と大分県日田市の一部では、道路の損傷や橋脚の流出による通行止めや家屋の倒壊により、配達及び取集不能

(16) 小売業関係（経済産業省情報：7月19日8:15現在）

- ・営業を停止していた福岡県朝倉市内のコンビニエンスストア2店舗について営業を再開。

※コンビニエンスストア・スーパーマーケット等において、在庫逼迫や長蛇の列が起こる等の混乱は現状起こっていない。

※地方公共団体からの要請に基づき、コンビニエンスストア及び総合小売グループが、水のペットボトル約7,500本を避難所等に供給済み。(7/6)

(17) 中小企業等の被害状況（経済産業省情報：7月19日8:15現在）

①福岡県

被害合計件数198件

<うち災害救助法適用地域178件>

朝倉市136件、東峰村32件、添田町10件

(床上浸水、落雷被害（電気系統故障）、機器等流失、窯損壊、建屋全壊等)

②大分県

被害合計件数87件

<うち災害救助法適用地域61件>

日田市49件、中津市12件

(建物浸水、土砂崩れ、機器等流失、建物破損、宿泊キャンセル等)

③熊本県

被害件数62件

(床上・床下浸水、建物破損等)

(18) 金融機関関係（金融庁情報：7月13日9:00現在）

- ・郵便局6局が臨時休業。
- ・1箇所のATMが利用不可。

(19) 災害廃棄物等関係関係（環境省情報：7月19日8:30現在）

- ・被害情報なし

7 政府の主な対応

(1) 関係省庁災害警戒会議等の実施

- ・7月3日12:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害警戒会議」
- ・7月5日11:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」
- ・7月6日7:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に

係る関係省庁災害対策会議（第2回）」

- ・7月6日 16:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第3回）」
- ・7月7日 16:00 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第4回）」
- ・7月9日 11:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第5回）」
- ・7月10日 16:00 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第6回）」
- ・7月10日 「平成29年7月からの大雨で発生した流木等処理に関する関係省庁課長会議（第1回）」
- ・7月11日 「平成29年7月からの大雨で発生した流木等処理に関する関係省庁課長会議（第2回）」
- ・7月11日 「平成29年7月からの大雨で発生した流木等処理に関する関係省庁課長会議 現地対策チーム（第1回）」
- ・7月13日 16:00 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第7回）」
- ・7月13日 「平成29年7月からの大雨で発生した流木等処理に関する関係省庁課長会議 現地対策チーム（第2回）」
- ・7月14日 「平成29年7月からの大雨で発生した流木等処理に関する関係省庁課長会議（第3回）」

(2) 政府調査団の派遣

- ・7月7日 松本内閣府副大臣を団長とする政府調査団を福岡県へ派遣
- ・7月9日 松本内閣府特命担当大臣（防災）を団長とする政府調査団を大分県、福岡県へ派遣

(3) 政府現地連絡調整室の設置

- ・政府現地連絡調整室（福岡県）を設置（7月7日）

(4) 災害救助法の適用

- ・平成29年7月5日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、福岡県は県内3市町村に、大分県は県内2市に災害救助法の適用を決定

【福岡県】（適用日：7月5日）

朝倉市、朝倉郡東峰村、田川郡添田町

【大分県】（適用日：7月5日）

中津市、日田市

(5) 被災者生活再建支援法の適用

- ・平成29年7月5日からの大雨により、住宅に多数の被害が生じたことから、福岡県は県内2市村に、大分県は県内1市に被災者生活再建支援法の適用を決定

【福岡県】（適用日：7月5日）

朝倉市、朝倉郡東峰村（7月11日 15:00 公表）

【大分県】(適用日：7月5日)

日田市(7月12日15:00公表)

(6) 災害ボランティア等の活動状況

ア 社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターに関する状況(厚生労働省
情報：7月18日17:30現在)

①福岡県

福岡県社会福祉協議会が災害救援本部を設置(7月5日)。

朝倉市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置(7月7日)。

- ・ボランティア募集開始：7月9日(日)
- ・7月17日までの活動延べ人数：7,041名

添田町社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置(7月10日)。

- ・ボランティア募集開始：7月11日
- ・7月17日までの活動延べ人数：635名

東峰村社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置(7月14日)

- ・ボランティア募集開始：7月14日
- ・7月17日までの活動延べ人数：1,914名

※人数は速報値であり変動の可能性あり

②大分県

大分県社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置(7月6日)。

日田市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置(7月8日)。

- ・ボランティア募集開始：7月8日(土)
- ・7月17日までの活動延べ人数：2,969名

③厚生労働省及び全国社会福祉協議会

7月6日、福岡県及び大分県に職員を派遣し、県社会福祉協議会と被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置及び運営を支援。

イ NPO/NGO等のボランティア団体の活動(JVOAD提供情報)

※JVOAD：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

【主な動き】

○行政とNPO等との連携・協働

- ・7月9日：福岡県庁にて支援団体の情報共有会議(主催：JVOAD)が開催され、県内外からの支援団体、内閣府及び福岡県の担当者等計約50名が参加し、ボランティア活動に関する情報共有を実施。
- ・7月10日：朝倉市役所にて、内閣府、福岡県庁、朝倉市、JVOADで情報共有会議を開催した。今後、JVOADの拠点を朝倉市庁舎内に置くこと、定期的な情報共有会議を開催することとされた。
- ・平成29年7月九州北部豪雨支援者情報共有会議
JVOAD、NPO等ボランティア団体、福岡県庁、朝倉市、全国社会福祉協議会、内閣府等が参加。同会議は18:00~20:00に7月11日から毎日開催されることとなった。

8 各省庁等の対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報連絡室設置（7月3日 12:30）
- ・松本内閣府特命担当大臣（防災）から国民への呼びかけ（6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号への対応について）（7月3日）
- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（7月3日 14:06）
- ・内閣府情報対策室設置（7月5日 5:55）
- ・内閣府災害対策室設置（7月5日 19:41）
- ・内閣府情報先遣チームを派遣（福岡県 7/6～、大分県庁 7/6～）
- ・7月6日付けで、福岡県及び大分県に対し「避難所の生活環境の整備等について（留意事項）」の通知を发出
- ・7月6日付けで、福岡県及び大分県に対し「平成29年7月5日からの大雨による災害における被災者支援の適切な実施について」の通知を发出
- ・7月9日付けで、福岡県及び大分県に対し「平成29年7月5日からの大雨による災害における避難所の暑さ対策について」の通知を发出
- ・災害救助法、住家の被害認定調査等に関する自治体職員への説明会を実施（福岡県 7月12日～13日、大分県 7月12日）

(2) 警察庁の対応

【警察庁の体制】

- 警察庁では、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置（7/3 16:46）
- 警察庁、管区警察局では、台風第3号及び梅雨前線停滞に伴い全国警察から被害関連情報を収集（7/3～）
- 島根県における大雨特別警報の発表を受け、同県西部の情報収集を強化（7/5 5:55 発表）
- 福岡県及び大分県における大雨特別警報の発表を受け、被害が集中している九州北部の情報収集を強化（福岡県 7/5 17:50 発表、大分県 7/5 19:55）
- 警備課長を長とする災害警備連絡室に改組（7/5 18:46）
- 警備局長を長とする災害警備本部に改組（7/5 19:41）

【部隊派遣指示】

- 島根県内における特別警報発表に伴い中国管区の広域緊急援助隊に待機指示（7/5 6:40）待機解除（7/5 10:40）
- 福岡県全域における大雨特別警報発表に伴い近畿、中国、四国及び九州各管区局内の広域緊急援助隊に待機指示（7/5 17:35）
- 熊本県及び宮崎県の広域緊急援助隊（警備部隊）に出動を指示（7/5 20:00）
- 長崎県及び佐賀県の広域緊急援助隊（警備部隊）に出動を指示（7/5 20:28）
- 鳥取、島根、岡山、広島県警察の広域緊急援助隊（警備部隊）に出動を指示（7/6 15:45）
- 大阪府警察広域緊急援助隊（警備部隊）に出動を指示（7/9 13:00）
- 四国管内の緊急災害警備隊及び熊本県警察鑑識課員に出動を指示（7/11 12:40）
- 近畿管区及び中国管内の緊急災害警備隊に出動指示（18日 11:25）

【警察災害派遣隊等】 7/19 現在

○3 管区局 18 府県警察延べ 2,315 人

- ・ 広域緊急援助隊（警備部隊）
大阪、鳥取、島根、岡山、広島、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
- ・ 緊急災害警備隊
徳島、香川、高知
- ・ 広域警察航空隊
京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、広島、香川、佐賀、宮崎、鹿児島
- ・ 機動警察通信隊
近畿管区、中国管区、九州管区、佐賀、鹿児島

○警察による救助者数（避難誘導、救出救助等他機関との合同も含む。）

441 人（福岡県警察 195 人、大分県警察 243 人、佐賀県警察 3 人）

【特別警報が発表された被災地警察の体制等】

○島根県警察

- ・ 警備部長を長とする災害警備本部を設置（7/4 23:52）
- ・ 情報通信部モバイル隊が出動して官邸等に映像配信（7/5 6:55）
- ・ 島根県警察機動隊長以下 24 人が浜田警察署で前進待機（7/5 8:15）
- ・ 警察航空隊は、上空から情報収集を実施（7/5 12:30）
- ・ 情報通信部は、ヘリテレ映像を官邸等に配信（7/5 12:30）

○福岡県警察

- ・ 情報通信部は、ヘリテレ映像及びモバイル映像を官邸等に送信（7/5～）
- ・ 福岡県警察機動隊は、被災地における捜索・救助活動等を実施（7/5～）
- ・ 警察航空隊は、上空から情報収集するとともに、捜索・救助活動を実施（7/6～）
- ・ 県本部生活安全部員で編成する「さくらサポート隊」が避難所において、被災者に対する声掛け・防犯指導・相談受理、避難所の警戒を実施（7/7～）
- ・ 自動車警ら部隊及び職質専門班で編成する「被災地警戒部隊」が被災地周辺において車両による警戒活動を実施（7/9～）
- ・ 安否確認を専従で調査する「追跡専従班」を設置して運用（7/10～）

○大分県警察

- ・ 警備第二課長を長とする災害警備連絡室（約 300 人体制）を設置（7/4 4:21～14:20）
- ・ 警備第二課長を長とする災害警備連絡室（約 30 人体制）を設置（7/5 11:04）
- ・ 警備部長を長とする丙号災害警備本部（約 340 人体制）に改組（7/5 16:45）
- ・ 本部長を長とする乙号災害警備本部（約 1,500 人体制）に改組（7/5 19:55）
- ・ 本部長を長とする甲号災害警備本部（約 1,500 人体制）に改組（7/6 10:15）
- ・ 警備部長を長とする丙号災害警備本部（約 200 人体制）に改組（7/15 17:00）
- ・ 情報通信部は、ヘリテレ映像及びモバイル映像を官邸等に送信（7/5～）
- ・ 大分県警察機動隊は、被災地における捜索・救助活動等を実施（7/5～）
- ・ 警察航空隊は、上空からの情報収集をするとともに、捜索・救助活動を実施（7/6～）
- ・ 県本部及び署員で編成する「あやめ部隊」が被災者に対する声掛け・防犯指導・相談受理、避難所の警戒等を実施（7/8～）

- ・ ツイッター、まもめーる（大分県警察メール配信システム）を利用した広報啓発（災害に便乗した犯罪の防止）を実施（7/10～）
- ・ 自動車警ら隊を中心に編成する「セキレイ部隊」が被災地周辺の警戒を実施（7/10～）

(3) 消 防 庁の対応

- ・ 7月3日 12時30分 関係省庁災害警戒会議に应急管理室長が出席
- 15時08分 全都道府県に対し「梅雨前線及び台風による大雨警戒情報」を発出
- ・ 7月4日 6時30分 应急管理室にて情報収集体制を強化
- ・ 7月5日 5時55分 应急管理室長を長とする災害対策室設置（第1次応急体制）
- 11時30分 関係省庁災害対策会議に应急管理室長が出席
- 17時51分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部を設置（第2次応急体制）
- ・ 7月6日 5時25分 現地活動支援及び現地広報のため、消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名を派遣
- 7時30分 関係省庁災害対策会議に消防庁次長が出席
- 8時00分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部を設置（第3次応急体制）
- 9時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
- 16時30分 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席
- 17時00分 政府調査団として、地域防災室長を福岡県に派遣
- ・ 7月7日 10時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
- 16時00分 関係省庁災害対策会議に総務課長が出席
- ・ 7月9日 9時30分 政府調査団として、震災対策専門官を大分県に派遣
- 11時30分 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席
- ・ 7月10日 16時00分 関係省庁災害対策会議に総務課長が出席
- ・ 7月11日 15時50分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
- ・ 7月12日 総務大臣と消防庁長官が、福岡県、大分県の現地を視察
- ・ 7月13日 16時00分 関係省庁災害対策会議に应急管理室長が出席

ア 消防機関等の活動体制

《7月19日の活動》

【福岡県】

地元消防本部 約700名
 地元消防団 約1000名
 県内消防応援等及び緊急消防援助隊 613名（ヘリ3機）7時20分現在

【大分県】

地元消防本部 約100名
 地元消防団 約100名
 大分県ヘリ 6名（ヘリ1機）7時20分現在

(4) 海上保安庁の対応

- ・情報収集及び地方自治体等との連絡を密にしつつ、引き続き巡視船艇・航空機の即応態勢を維持

(ア) 対応体制

- 7月5日17:55 第七管区海上保安本部対策室を設置
- 7月5日19:41 海上保安庁対策本部を設置
- 7月5日19:41 第七管区海上保安本部対策室を第七管区海上保安本部対策本部に改組

(イ) 対応勢力 (7月19日8:30現在)

①現状

- 巡視艇 1隻
- 固定翼航空機 1機

②のべ数

- 巡視船艇 47隻 (巡視船8隻、巡視艇39隻)
- 航空機 53機 (固定翼航空機 15機、回転翼航空機38機)
- 機動救難士38名
- 特殊救難隊16名

(ウ) 対応状況

6日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船3隻配備
- 航空機による被害状況調査及び孤立者救助

7日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船2隻配備
- 航空機による被害状況調査及び孤立者支援

8日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船1隻配備
- 航空機による沿岸部被害状況調査及び孤立者支援
- 有明海にて巡視艇により漂流遺体1体揚収(本件大雨との関連性は不明) ※件数は警察庁が計上

9日

- 巡視艇2隻、回転翼航空機2機及び固定翼航空機1機により有明海及び別府湾周辺海域等の被害状況調査

10~18日

- 巡視艇及び航空機により有明海周辺海域等の被害状況調査

19日

- 巡視艇1隻及び航空機1機により有明海周辺海域等の被害状況調査

(エ) リエゾン (情報連絡員) 派遣

①政府調査団派遣

政府調査団(福岡県)に本庁警備救難部環境防災課防災対策官派遣(7日対応終了)

②リエゾン派遣

- 福岡県庁ヘリエゾン派遣 (のべ18名)
- 大分県庁ヘリエゾン派遣 (のべ13名)
- 熊本県庁ヘリエゾン派遣 (のべ4名)

(オ)警戒配備状況

- 第十一管区海上保安本部 (那覇市)
 - 7月2日18:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月3日08:00 警戒配備解除
- 第七管区海上保安本部 (北九州市)
 - 7月4日03:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月4日14:30 警戒配備解除
- 第十管区海上保安本部 (鹿児島市)
 - 7月4日04:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月4日14:00 警戒配備解除
 - 7月4日08:00 非常配備発令 (一部部署)
 - 7月4日12:00 非常配備解除
- 第六管区海上保安本部 (広島市)
 - 7月4日08:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月4日18:00 警戒配備解除
- 第五管区海上保安本部 (神戸市)
 - 7月4日09:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月4日19:00 警戒配備解除
- 第八管区海上保安本部 (舞鶴市)
 - 7月4日10:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月4日13:00 警戒配備解除
 - 7月5日06:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月5日13:00 警戒配備解除
- 第四管区海上保安本部 (名古屋市)
 - 7月4日13:00 警戒配備発令 (全部署)
 - 7月4日21:00 警戒配備解除
- 第三管区海上保安本部 (横浜市)
 - 7月4日16:00 警戒配備発令 (一部部署)
 - 7月5日03:00 警戒配備解除

(5) 金融庁の対応

- 7月3日、金融庁災害情報連絡室を設置。
- 7月6日、福岡県及び大分県内の金融機関等に対し、福岡財務支局長及び日本銀行福岡支店長並びに九州財務局大分財務事務所長及び日本銀行大分支店長の連名により、「平成29年7月5日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を发出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講じるよう要請。

(6) 消費者庁の対応

- ・相談対応のできない市町村の消費生活センター等については、消費者ホットライン（188）の接続先を県の消費生活センターに変更。（大分県玖珠町（7/6）、福岡県東峰村（7/10～））

(7) 総務省の対応

- ・7月2日(日)17時10分、大臣官房総務課に情報連絡室を設置。
- ・7月5日(水)06時01分、大臣官房総務課に災害警戒室を設置。
- ・7月5日(水)19時46分、総務省災害対策本部（長：官房長）を設置。
- ・7月6日(木)、総務大臣出席により、総務省災害関係局長級会議開催。
- ・7月6日(木)、福岡県災害対策本部ヘリエゾンを派遣予定（九州総合通信局 部長級1名・課長級1名）。
- ・7月7日(金)、近畿総通局が東峰村役場（宝珠山庁舎）に入り、ICTユニット等の「総務省災害対策用移動通信機器」の設置、貸出。
- ・7月7日(金)、総務大臣出席により、総務省災害関係局長級会議（第2回）開催。
- ・7月7日(金)、福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加。
- ・7月8日(土)、四国総通局が「総務省災害対策用移動通信機器」（ICTユニット）の設置、貸出に向けて、福岡県入り。
- ・7月9日(日)、大分県・福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加。
- ・7月12日(水)、高市総務大臣が福岡県、大分県を訪問。
- ・7月12日(水)、総務副大臣出席により、総務省災害関係局長級会議（第3回）開催。

○職員派遣の状況（7月19日現在）

		要請数	派遣数	派遣者の職種
福岡県	朝倉市	70名	70名	避難所運営、行政窓口、保健師等
	東峰村	31名	31名	避難所運営、罹災証明業務、行政窓口、保健師等
大分県	日田市	12名→17名	12名→17名	避難所運営、罹災証明業務、保健師
	中津市	2名	2名	保健師

※要請は、朝倉市及び東峰村は福岡県、福岡県内市町村に、日田市は大分県に要請
派遣は、朝倉市は県職員及び福岡県内市町村職員、東峰村はすべて福岡県職員で、
また、日田市は大分県職員及び大分県内市町村職員、中津市はすべて大分県職員で
対応

○7月11日(火)、九州管区行政評価局及び大分行政評価事務所において、被災者の困りごとに対応する支援措置を講じている関係機関の窓口リストである「平成29年九州北部豪雨被災者への生活支援」を作成し、ホームページで公表。同日以降、被災した3市村（朝倉市、東峰村、日田市）へ持参し、避難所への備え付けや配布を依頼。

○7月13日(木)、災害救助法の適用を受けた福岡県内3市町村及び大分県内2市に対し、応急対策など当面の様々な対応に係る資金繰りを円滑にするため、9月に定例交付すべき普通交付税の一部（23.8億円）を繰り上げて交付することを決定。

(8) 防衛省の対応

○災害派遣の概要

【福岡県】

- (1) 要請日時 平成29年7月5日(水) 19時00分
- (2) 要請元 福岡県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第4師団長(福岡)
- (4) 要請の概要 人命救助及び物資輸送
- (5) 発生場所 福岡県朝倉市(あさくらし)及び東峰村(とうほうむら)

【大分県】

- (1) 要請日時 平成29年7月5日(水) 19時30分
- (2) 要請元 大分県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第4戦車大隊長(玖珠)
- (4) 要請の概要 人命救助
- (5) 発生場所 大分県日田市
- (6) 撤収要請日時 平成29年7月13日(木) 08時00分

○災害派遣までの経緯

平成29年7月5日(水)、大雨により道路が冠水し、福岡県東峰村で孤立者が発生し、警察及び消防等による対応が困難であることから、福岡県知事から陸上自衛隊第4師団長に対し、人命救助及び物資輸送に係る災害派遣要請があった。

また、大分県日田市においても大雨により道路が冠水し、孤立者が発生したことから陸上自衛隊第4戦車大隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

○防衛省・自衛隊の対応(7月14日18:00現在)

- (1) 活動部隊 陸 自 第41普通科連隊(別府)、第40普通科連隊(小倉)、第24普通科連隊(えびの)、第16普通科連隊(大村)、第4後方支援連隊(福岡)、第2高射特科団(飯塚)、第3高射特科群(飯塚)、西部方面特科隊(湯布院)、第4特科連隊(久留米)、第5施設団(小郡)、第4戦車大隊(玖珠)、第4施設大隊(大村)、第4飛行隊(目達原)、第4通信大隊(福岡)、第4師団司令部(福岡)、第4偵察隊(福岡)、第8後方支援連隊(北熊本)、第8通信大隊(北熊本)、西部方面通信群(健軍)、西部方面航空隊(目達原)、第6後方支援連隊(神町)、第3後方支援連隊(千僧)、第14後方支援隊(善通寺)、第1後方支援連隊(練馬)、東部方面航空隊(立川)、自衛隊福岡地方協力本部、自衛隊大分地方協力本部
- 海 自 第22航空隊(大村)、第72航空隊(大村)
- 空 自 芦屋救難隊(芦屋)、新田原救難隊(新田原)、春日ヘリコプター空輸隊(春日)、西部航空警戒管制団(春日)、第2高射群(春日)
- 地 防 九州防衛局
- (2) 活動規模 人 員 約4,060名
- 航空機 23機(最大50機)

- (3) 活動実績
- 人命救助：(延べ658名)
 - 行方不明者捜索等(朝倉市、東峰村)：(延べ8名)
 - 道路啓開(東峰村)：(延べ1.25km)
 - 物資輸送(朝倉市、日田市)：食料・水・日用品等を輸送
 - 給食支援(朝倉市、東峰村)：0食(延べ2,309食)
 - 入浴支援(朝倉市、東峰村、日田市)：426名(延べ3,258名)
 - 給水支援(朝倉市、東峰村、日田市)：60.6t(602.7t)
 - 人員等輸送(朝倉市、日田市)：8名(延べ301名)

(9) 財務省の対応

- 福岡県、大分県に未利用国有地等の利用可能リストを提供
- 災害救助法の適用決定を踏まえ、被災中小企業への対応として、親身な窓口対応、資金の円滑な融資等を、日本政策金融公庫等に要請(7/6 厚労省、中小企業庁と連名)
- 本災害について、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫の危機対応融資の対象に追加(7/6 農水省、中小企業庁と連名)
- 被災農業者等への対応として、親身な窓口対応、資金の円滑な融通等を、日本政策金融公庫等に要請(7/6 農林水産省と連名)

(10) 文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室(室長：施設企画課長)を設置(6月30日16時20分)
- ・各都道府県教育委員会等に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(6月30日、7月2日、3日、4日、5日、6日、7日)
- ・6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害警戒会議に防災推進室担当官が出席(7月3日)
- ・6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議に防災推進室担当官が出席。(7月5日、6日、7日、9日、10日、13日)
- ・各都道府県教育委員会に対し、学校における避難所運営の協力に関する留意事項について再周知し、必要な対応を要請。(7月6日)
- ・被災した公立学校施設の早期復旧を図るため事前着工の着手等について、関係教育委員会宛に事務連絡を発出。(7月6日)
- ・政府調査団に文部科学省職員を派遣。(福岡県1名：7月6日、大分県1名：7月9日)
- ・政府現地連絡調整室に文部科学省職員1名を派遣。(福岡県：7月8日～)
- ・福岡県及び関係市町村教育委員会に対して、公立学校施設の災害復旧に係る事務手続きに関する現地説明会を福岡県で開催。(7月18日)

ア 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

- ・台風第3号と類似した経路を取った過去に災害をもたらした台風の情報をウェブサイトで公開。(7月3日)
- ・台風第3号に対する熊本県での降雨状況調査、被害確認及び県庁に対して地すべりのモニタリング状況報告を実施。(7月3日、7月4日)
- ・災害対策チームを設置。(7月5日)
- ・災害関連情報を集約したクライシスレスポンスサイトを公開。(7月5日)

- ・以下の調査等に職員を派遣。
 - －情報共有システム（SIP4D）を用いた災害対策本部等への業務支援及び情報収集のために、職員を派遣。
 - 現時点6名（累計18名）
 - 福岡県福岡市（福岡県庁）現時点6名、累計13名：7月6日～順次派遣
 - 大分県大分市（大分県庁）累計5名：7月6日～順次派遣
 - －斜面変動の発生場所と地質調査のために、職員を派遣。
 - 現時点5名、（累計5名）
 - 福岡県・佐賀県・大分県・山口県・島根県の各県内
 - 現時点5名、累計5名：7月15日～順次派遣
 - ・福岡県、大分県の大雨についての解析結果をウェブサイトで公開。（7月6日）

(11) 厚生労働省の対応

- ・厚生労働省災害対策本部設置（7月6日7:00）
- ・厚生労働省災害対策本部第1回会合開催（7月6日10:20）
- ・省内課長級会議開催（7月7日18:00）
- 塩崎厚生労働大臣の被災地視察
 - ・7/12、福岡県朝倉市と東峰村を訪問して、避難所、特養、浄水場を視察。福岡県知事、福岡県議会議長、東峰村村長と意見交換。
- 馬場大臣政務官の政府調査団派遣
 - ・7/7、内閣府松本副大臣を長とする政府調査団（福岡県）に馬場大臣政務官、九州厚生局長ほか1名を派遣。
- 職員の現地等への派遣状況
 - ・7月6日から、医療・福祉・水道等の被災状況を確認するため、政府調査団、政府現地連絡調整室、県庁等に対して、厚生労働省及び現地の厚生局、労働局職員を6名派遣中。（累計41人）
- 労働関係
 - (1) 労働災害発生状況等
 - ・現時点で労働災害発生の情報なし（福岡局、大分局）。
 - ・災害復旧工事等に当たる労働者等の安全衛生確保のため、防じんマスク、熱中症防止飴等の保安用品について、企業からの無償提供を受けて配布予定。
 - (2) 事業場の被災状況

災害救助法の適用となる地域の事業場に対して、被害状況の聞き取り調査を実施中。現時点で休業等の可能性のある事業場は10件。引き続き情報収集すると共に必要な支援を実施。
 - (3) 労災保険関係
 - ・7月6日付 今回の大雨による被害により、労災保険給付請求書における事業主証明や医療機関の証明が受けられなくとも請求書を受理するよう、都道府県労働局に指示。
 - ・7月11日付 今回の大雨による被害により、健康管理手帳を提示できない場合でもアフターケアの受診ができる旨の周知を行うこと等を都道府県労働局に指示。
 - ・7月13日付 労災給付の振込先金融機関の通帳・キャッシュカードを紛失した場合

の取り扱い弾力化につき、厚労省HP内災害特設ページに掲載。

- ・7月13日付 労災年金の年金証書を紛失した場合は、再交付申請書の提出で再発行を受けることができる旨、厚労省HP内災害特設ページに掲載。

(4) 福岡労働局の対応状況について

- ・福岡労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日（月）から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。現時点の相談件数は115件（雇用保険関係44件、雇用調整助成金24件、休業手当関係14件等）。7月15～7月17日にも相談実施予定。
- ・大雨に伴う事業主及び労働者向けの特例などをまとめたリーフレットを作成し、周知に活用。
- ・災害復旧工事の発注機関等に対し労働災害防止対策や熱中症防止対策の徹底を要請（7月11日）。
- ・熱中症防止用飴について、配布予定。

(5) 大分労働局の対応状況について

- ・大分労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日（月）から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。現時点の相談件数は15件（雇用保険関係3件、労働保険適用等関係2件、雇用調整助成金関係2件等）。7月15～7月17日にも相談実施予定。
- ・大雨に伴う事業主及び労働者向けの特例などをまとめたリーフレットを作成し、周知に活用。
- ・災害復旧工事の発注機関等に対し労働災害防止対策や熱中症防止対策の徹底を要請（7月11日）。
- ・熱中症防止用飴について、ボランティアセンター、建設業協会、森林組合等を通じて配布（7月14日）。

○雇用関係

(1) 雇用保険

① 特例的な失業給付の支給

7月5日の災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付（基本手当）を支給する特別措置を実施。

○関係団体への協力要請

(1) 勤労者退職金共済機構

災害救助法が適用された地域の共済契約者及び被共済者に対し、一般の中小企業退職金共済制度の掛金納付期限の延長手続や、特定業種退職金共済制度の共済手帳等の再発行手続を実施。

事業主等を通じて財形持家融資を受け、災害により返済が困難となった勤労者に対し、その返済負担を軽減するための措置を実施（7月6日）。

(2) 九州労働金庫（九州ろうきん）

預金通帳・証書・届出印を紛失した場合でも本人確認をした上で支払いを行う、被災した勤労者に対する災害復旧資金の融資を取扱う等の対応を実施。

今回の被災の影響により、住宅ローン等の返済が困難となった方に対する相談の実施（7月6日）。

(12) 農林水産省の対応

1. 通知の発出

- (1) 農村振興局が「梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について」を通知(平成 29 年 5 月 18 日)
- (2) 林野庁が「林野に係る山地災害等の未然防止について」を通知(平成 29 年 6 月 16 日)
- (3) 農村振興局が「台風第 3 号接近に伴う事前点検及び災害発生時の復旧箇所における応急対策の実施について」を通知(平成 29 年 7 月 3 日)
- (4) 水産庁が「台風 3 号に対する備えと被害報告等について」を通知(平成 29 年 7 月 3 日)
- (5) 生産局及び政策統括官が「台風 3 号の通過による強風及び大雨並びに高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」を通知(平成 29 年 7 月 3 日)
- (6) 経営局が「台風 3 号の通過による強風及び大雨並びに高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について」を通知(平成 29 年 7 月 3 日)
- (7) 大臣官房文書課が「今後の気象動向(台風、大雨等)を踏まえた農林水産業共同利用施設の事前点検及び災害発生時の応急対策の実施について」を通知(平成 29 年 7 月 3 日)
- (8) 経営局が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風 3 号等による農作物等の被害に係る迅速かつ適切な損害評価の実施、共済金の早期支払等について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (9) 経営局が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号による被害農林漁業者に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (10) 水産庁が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号による漁業被害等に係る迅速かつ適切な損害評価等の実施及び共済金等の早期支払について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (11) 水産庁が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号による被害漁業者等に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (12) 水産庁が「平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (13) 九州農政局が「平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- (14) 水産庁が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨による流木等の被害報告について」を通知(平成 29 年 7 月 7 日)

2. 対策本部・各種会議の開催等

- (1) 「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号に係る関係省庁災害警戒会議」に大臣官房の担当官が出席(平成 29 年 7 月 3 日)
- (2) 「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号に係る関係省庁災害対策会議」(第 1 回)に大臣官房の担当官が出席(平成 29 年 7 月 5 日)

- (3) 九州農政局が九州農政局長を本部長とする「九州農政局災害対策本部」を設置し第1回会議を開催（平成29年7月5日）
- (4) 九州森林管理局が九州森林管理局長を本部長とする「九州森林管理局災害対策本部」を設置し第1回、第2回、第3回、第4回会議を開催（平成29年7月5日）
- (5) 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」（第2回、第3回）に大臣官房の担当官が出席（平成29年7月6日）
- (6) 九州農政局が「九州農政局災害対策本部」の第2回、第3回会議を開催（平成29年7月6日）
- (7) 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」（第4回）に大臣官房の担当官が出席（平成29年7月7日）
- (8) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第5回、第6回、第7回会議を開催（平成29年7月7日）
- (9) 九州農政局が「九州農政局災害対策本部」の第4回会議を開催（平成29年7月7日）
- (10) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第8回、第9回会議を開催（平成29年7月8日）
- (11) 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」（第5回）に大臣官房の担当官が出席（平成29年7月9日）
- (12) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第10回会議を開催（平成29年7月9日）
- (13) 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」（第6回）に大臣官房の担当官が出席（平成29年7月10日）
- (14) 「流木等処理に関する関係省庁課長級会議」（第1回）に大臣官房文書課、林野庁及び水産庁の担当官が出席（平成29年7月10日）
- (15) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第11回会議を開催（平成29年7月10日）
- (16) 「平成29年福岡県・大分県等の大雨に関する農林水産省緊急自然災害対策本部」を設置し、第1回会合を開催（平成29年7月10日）
- (17) 「平成29年福岡県・大分県等の大雨に関する水産庁災害情報連絡会議」を設置し、第1回会合を開催（平成29年7月10日）
- (18) 九州農政局が「九州農政局災害対策本部」の第5回会議を開催（平成29年7月10日）
- (19) 磯崎農林水産副大臣が「福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議」に出席（平成29年7月11日）
- (20) 流木等処理に関する関係省庁課長級会議（第2回）に農村振興局、林野庁及び水産庁の担当官が出席（平成29年7月11日）
- (21) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第12回会議を開催（平成29年7月11日）
- (22) 「平成29年福岡県・大分県等の大雨に関する農林水産省緊急自然災害対策本部」の第2回会合を開催（平成29年7月12日）
- (23) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第13回会議を開催（平成29

年7月12日)

- (24) 九州農政局が「九州森林管理局災害対策本部」の第6回会議を開催（平成29年7月12日）
- (25) 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」（第7回）に大臣官房から担当官が出席（平成29年7月13日）
- (26) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第14回会議を開催（平成29年7月13日）
- (27) 九州森林管理局が「九州森林管理局災害対策本部」の第15回会議を開催（平成29年7月14日）
- (28) 「平成29年福岡県・大分県等の大雨に関する水産庁災害情報連絡会議」の第2回会合を開催（平成29年7月14日）

3. 被害状況の調査

- (1) 松本内閣府副大臣を団長とする政府調査団の現地調査（福岡県）に、大臣官房文書課及び林野庁の担当官を派遣（平成29年7月6日～7日）
- (2) 九州森林管理局が福岡県及び大分県の被害状況確認のためヘリコプター調査を実施（平成29年7月8日）
- (3) 松本防災担当大臣を団長とする政府調査団の現地調査（大分県）に、大臣官房文書課、農村振興局及び林野庁の担当官を派遣（平成29年7月9日）
- (4) 九州森林管理局が福岡県及び大分県の被害状況確認のためヘリコプター調査を実施（平成29年7月10日）
- (5) 山本農林水産大臣が福岡県下に出張し、農林業被害の状況を調査（平成29年7月11日）
- (6) 農業・食品産業技術総合研究機構の農村工学研究部門の専門家と九州農政局の職員が合同で、被災ため池の調査を実施（平成29年7月12日～14日）
- (7) 磯崎農林水産副大臣が福岡県及び大分県下に出張し、農林業被害の状況を調査（平成29年7月13日～14日）

4. 人材派遣

- (1) 九州森林管理局が連絡調整役として福岡県庁、大分県庁、熊本県庁に職員を派遣（平成29年7月6日）
- (2) 林野庁が「政府現地連絡調整室」（福岡県庁）に職員を派遣（平成29年7月7日）
- (3) 林野庁が「災害対策本部」（大分県庁）に職員を派遣（平成29年7月7日）
- (4) 九州農政局が「政府現地連絡調整室」（福岡県庁）に職員を派遣（平成29年7月10日）
- (5) 朝倉市との連絡調整役として北部九州土地改良調査管理事務所筑後川中流支所長を派遣（平成29年7月13日）
- (6) 北部九州調査管理事務所員10名程度が三連水車のある堀川用水他の被災状況調査に着手。今後、工事発注に必要な積算等についても支援予定（平成29年7月13日）
- (7) 水産庁が福岡県、佐賀県へ担当官を派遣し、漁港の災害査定に向けて技術的助言（平成29年7月14日～15日）

(13) 経済産業省の対応

- 7月6日 09:45 各局の主任防災担当官により構成される経済産業省防災連絡会議を開催。
- 7月6日 12:00 福岡県、大分県及び両県内市町村の防災担当部局に対し、水没した太陽電池発電設備による感電防止について、注意喚起文書を発出
- 16:40 福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村、並びに大分県日田市及び中津市に災害救助法が適用されたことを踏まえ、以下の被災中小企業・小規模事業者対策をプレスリリース。
- ①特別相談窓口の設置
 - ②災害復旧貸付の実施
 - ③セーフティネット保証4号の実施
 - ④既往債務の返済条件緩和等の対応
 - ⑤小規模企業共済災害時貸付の適用
- 7月6日 21:40 災害救助法の適用を踏まえ、九州電力の要請に対し、以下の措置を講ずることを認可。
- ①電気料金の支払期限の延長
 - ②電気の不使用月の料金免除 等
- 7月7日 6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風3号に係る政府調査団に5名の職員を派遣（福岡県）
- 7月8日 政府現地連絡調整室（福岡県）に1名の職員を派遣
- 7月9日 6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る政府調査団に6名の職員を派遣（大分県）
- 7月14日 経済産業大臣現地視察

(14) 国土交通省の対応

- ・国土交通省として、引き続き被害の情報の収集・把握に努める。
 - ・関係省庁災害警戒会議を受け、国土交通省災害対策連絡調整会議を開催（7/3）。
 - ・地方整備局等へ、台風第3号の接近に伴う注意喚起を発出（7/3）。
 - ・中国地方整備局は、被災状況の把握のためヘリコプターにより調査を実施。（7/5）
 - ・九州地方整備局は、被災状況の把握のためヘリコプター2機により調査を実施。（7/6～）
 - ・関係省庁災害対策会議を受け、国土交通省災害対策連絡調整会議を開催（7/5、7/9、7/11、7/13）。
 - ・国土交通省災害対策本部会議を開催（7/5、7/7、7/10）。
 - ・東峰村、朝倉市にて携帯電話3社による通話が不通となっているため、東峰村、朝倉市に九州技術事務所から衛星通信車を派遣（7/6～）。
 - ・九州、中国地方整備局は、有明海及び周防灘にて海洋環境整備船等5隻により流木等漂流物の回収を実施（7/6～）。
 - ・国土技術政策総合研究所から44人・日の専門家を派遣（7/7～）。
 - ・土木研究所からのべ12人・日の専門家を派遣（7/7～7/8）。
- 流木・土砂等への対応
- ・国土地理院は、防災ヘリで撮影した写真から流木が堆積した箇所を判読した、「流木堆積箇所判読図」を作成、公開及び関係機関へ提供。（7/11）

- ・有明海及び周防灘において海洋環境整備船 4 隻及び港湾業務艇・調査船 3 隻により漂流物を回収（流木 850 本、漂流物 407m³）。現時点で船舶航行への支障無し。（7/6～）
- ・国土交通省と福岡県合同チームにより、赤谷川等の流木堆積状況を緊急調査。（7/13）
- ・関係自治体に対し、災害復旧事業の査定前着工として流木除去が可能であることの周知徹底を既に実施（7/9、7/12）
- ・早期の復旧支援、災害復旧の迅速化、技術支援のため本省災害査定官 5 人を派遣（7/9～）
- ・佐賀県において、有明海の東与賀海岸外 2 海岸（水管理・国土保全局所管）に漂着した流木等の回収処理作業を実施。（7/14～）
- ・福岡県が査定前着工として 4 箇所、流木除去を実施中。（7/7～）
- ・国土交通省が筑後川本川での二次災害防止のため、県管理河川等に堆積する流木の除去に着手。（7/14）
- 砂塵飛散防止のため、土砂撤去後の路面清掃のため、関東地整、近畿地整、四国地整から九州地整に散水車、路面清掃車を派遣。（7/14～）
- リエゾン（情報連絡員）派遣【のべ 284 人・日派遣（6/30～）】
 - ・九州地方整備局より長崎県庁へ、のべ 2 名派遣（6/30）。
 - ・九州地方整備局より福岡県庁、朝倉市、久留米市、うきは市、添田町、東峰村、大分県庁、日田市、中津市へのべ 233 名派遣（7/5～）。
 - ・北陸地方整備局より糸魚川振興局、糸魚川市へ、のべ 2 名派遣（7/1～7/2）。
 - ・北陸地方整備局より新潟県庁、三条市へ、のべ 3 名派遣（7/3）。
 - ・北陸地方整備局より新潟県三条市、新潟県五泉市、新潟県小千谷市、福島県只見町へ、のべ 5 名派遣（7/18）。
 - ・中国地方整備局より島根県庁、浜田市、益田市、広島県庁、安芸高田市、三次市へのべ 11 名派遣（7/5～7/6）
 - ・中部地方整備局より愛知県庁、犬山市、小牧市、大口町へのべ 5 名派遣（7/14）。
 - ・東北地方整備局より福島県只見町へ、のべ 2 名派遣（7/18）。
 - ・九州運輸局より福岡県・大分県災害対策本部へリエゾンをのべ 21 名派遣（7/6～）。
- TEC-FORCE 等の派遣【のべ 2,657 人・日派遣（7/5～）】（7/19 現在 217 人）
 - ・TEC-FORCE 2,601 人・日派遣（7/5～）（7/19 現在 215 人）
 - ・専門家等 56 人・日派遣（7/7～）（7/19 現在 2 人）
- 災害対策用機械等出動状況
 関東地整、北陸地整、近畿地整、中国地整、四国地整、九州地整より、排水ポンプ車 6 台、照明車 26 台、散水車 16 台、路面清掃車 6 台、対策本部車 4 台、待機支援車 1 台、衛星通信車 2 台、衛星通信装置等 6 台、計 67 台派遣

(15) 国土地理院の対応

- ・UAV（ドローン）による被災状況撮影のため、国土地理院ランドバード（GSI-LB）を大分県日田市に派遣（7/6）
- ・国土地理院ランドバード（GSI-LB）が大分県日田市の鉄橋流出現場を UAV（ドローン）で撮影（7/7）
- ・国土地理院ランドバード（GSI-LB）が大分県朝倉市内の被害状況を UAV（ドローン）

で撮影 (7/7)

- ・ 国土地理院ランドバード (GSI-LB) が福岡県朝倉郡東峰村及び朝倉市内の被害状況を UAV (ドローン) で撮影 (7/8)
- ・ 国土地理院ランドバード (GSI-LB) が大分県日田市小野川の被害箇所を UAV (ドローン) で撮影 (7/13)
- ・ 地方整備局防災ヘリで撮影したヘリサット画像から正射画像を作成 (7/8~)
- ・ 国土地理院ランドバード (GSI-LB) が UAV (ドローン) で撮影した動画及び地方整備局撮影のヘリサット画像を用いて土砂崩壊地及び道路損壊を判読した、「UAV 動画判読図」を作成 (7/9~)
- ・ 「東峰地区」の空中写真を撮影 (7/13)
- ・ 「東峰地区」の空中写真から正射画像を作成 (7/16) ・ 「朝倉地区」の空中写真を撮影 (7/13)
- ・ 「朝倉地区」の空中写真を撮影 (7/13)
- ・ 「朝倉地区」の空中写真から正射画像を作成 (7/15)
- ・ 「福岡・大分地区」の斜め空中写真の一部を撮影 (7/11~13)
- ・ 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室に職員を派遣して、情報提供を実施 (7/10~)

(16) 環境省の対応

- ・ 環境省災害対策チーム設置 (7月5日 (水) 20:50)
- ・ 九州地方環境事務所災害対策本部設置 (7月6日 (木) 8:00)

【災害廃棄物等関係】

7月5日~

○各地方環境事務所において、災害廃棄物の発生状況、廃棄物処理施設の被害状況について地方自治体へ確認中

7月6日

○福岡県災害対策本部に九州地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク (D. Waste-Net) の廃棄物処理の専門家を派遣し、被災状況の確認及び今後の支援方針について確認

○福岡県朝倉市に現地支援チームを派遣し、被災状況の確認及び今後の支援方針について確認

○災害廃棄物処理に関して以下の事務連絡を発出

- ・ 災害廃棄物の処理等に係る補助制度の円滑な活用
- ・ 災害廃棄物に起因する害虫及び悪臭への対策
- ・ 水害による災害廃棄物処理の留意点
- ・ 被災した家電リサイクル法対象品目の処理
- ・ 被災したパソコンの処理

7月7日

○政府調査団に本省廃棄物対策課長及び担当官を派遣し、被害状況を調査 (福岡県)

○福岡県朝倉市に関東地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク (D. Waste-Net) の専門家を追加派遣 (概ね1週間を目処に常駐予定。)

○福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場を3カ所確保。分別区分について、技

術的な助言を実施。

7月8日

○福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場候補地を事前調査。運営体制等について、技術的な助言を実施。

7月9日

○政府調査団に本省廃棄物対策課長を派遣し、被害状況を調査（大分県日田市、福岡県東峰村）

○福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場における受け入れ状況を確認し、分別等について助言を実施。

7月10日

○福岡県東峰村に現地支援チームを派遣し、被災状況の確認及び今後の支援方針について確認

○福岡県と連携して、朝倉市、東峰村において、今後の災害廃棄物処理の方針、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施。

○福岡県朝倉市に中国四国地方環境事務所職員を追加派遣（概ね1週間を目処に常駐予定。）

7月11日

○福岡県と連携して、添田町、東峰村において、今後の災害廃棄物処理の方針、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施予定。

7月12日

○福岡県東峰村に近畿地方環境事務所職員を追加派遣。

○大分県中津市、日田市に九州地方環境事務所職員を派遣し、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施。

7月13日

○福岡県福岡市及び北九州市において、朝倉市の災害廃棄物（可燃物）の広域処理を開始。

7月15日

○福岡県北九州市から27台のごみ収集車が派遣され、災害廃棄物（可燃物）の搬出を開始。

7月16日

○福岡県福岡市から30台のごみ収集車が派遣され、災害廃棄物（可燃物）の搬出を開始。

7月18日

○これまでの福岡県下の市町村における災害廃棄物の発生状況及び処理状況を振り返り、改めて福岡県と今後の災害廃棄物の処理方法について協議。

○廃家電の処理に関する被災自治体からの相談窓口を家電製品協会に設置。

7月19日

○全国都市清掃会議の調整により京都市と長崎市からごみ収集車を朝倉市に派遣。災害廃棄物の収集を支援予定。

(17) 気象庁の対応

- ・梅雨前線及び台風第3号に関して報道等への説明を実施（7月3日 17:20）

- ・ 島根県の邑南町、浜田市、益田市、津和野町に大雨特別警報を発表（7月5日05:55）
- ・ 気象庁災害対策本部設置（7月5日05:55）
- ・ 島根県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施（7月5日07:00）
- ・ 島根県の大雨特別警報を解除（7月5日11:15）
- ・ 福岡県の16市町村に大雨特別警報を発表（7月5日17:51）
- ・ 福岡県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施（7月5日19:00）
- ・ 大分県の15市町に大雨特別警報を発表（7月5日19:55）
- ・ 大分県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施（7月5日21:00）
- ・ 福岡県の3市町について大雨特別警報から注意報へ切替発表（7月5日23:48）
- ・ 大分県の1市について大雨特別警報から注意報へ切替発表（7月6日02:55）
- ・ 福岡県の7市町に大雨特別警報を追加発表（7月6日03:10）
- ・ 大分県の2市について大雨特別警報から注意報へ切替発表（7月6日06:15）
- ・ 福岡県、大分県の大雨特別警報を解除（7月6日14:10）
- ・ 九州北部地方の大雨の見通しについて記者会見を実施（7月6日15:30）
- ・ 気象庁ホームページに「7月5日からの梅雨前線による九州北部地方の大雨の関連情報」のポータルサイトを設置（7月7日）
- ・ 政府調査団（7日、9日）に職員を派遣
- ・ 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室（8日～）、朝倉市（9日～）、日田市（11日～）に職員を派遣して、詳細な気象解説を実施
- ・ 上記のほか、各地の気象台では、地方公共団体等の地元関係機関へ説明を実施
- ・ 気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める